

# 福島県立医科大学要覧



令和 4 年

— シンボルマークについて —

福島県立医科大学らしさを視覚化したもので緑とサクラとFの文字を組み合わせている。

立志哲洋氏（東京都在住）の作品

平成20年11月2日制定





光ヶ丘キャンパス



福島駅前キャンパス

# 目 次

1	理 念 等	1
2	沿 革	9
3	歴代理事長、部局長等	1 7
4	施設の概要	2 4
	(1) 名称及び所在地	2 4
	(2) 校 地	2 4
	(3) 校舎等建物	2 4
5	組織機構図	2 6
6	役 職 員	2 8
7	名 誉 教 授	3 4
8	運 営 概 況	3 6
	(1) 所属別職員数	3 6
	(2) 医学部・看護学部・保健科学部の主な研究題目	3 7
	(ア) 医学部	3 7
	(イ) 看護学部	4 5
	(ウ) 保健科学部	4 6
	(3) 大学学生数	4 9
	(4) 大学院学生数	4 9
	(5) 学位授与者数	5 0
	(6) 卒業生の状況	5 1
	(7) 解剖件数	5 2
	(8) 教員等の海外出張状況	5 3
	(9) 図書館現況	5 5
	(10) 令和3年度図書館利用状況	5 5
	(11) 令和3年度文献相互貸借状況（光が丘のみ）	5 5
	(12) 科学研究費助成事業	5 6
	(13) 厚生労働科学研究費補助金額	5 6
	(14) 医科大学附属病院の状況	5 7
	① 病類別病床数	5 7
	② 等級別病室数病床数室料差額	5 7
	③ 分娩取扱件数	5 7

④	臨床検査件数	5 8
⑤	病理部検査件数	5 8
⑥	X線等照射件数	5 8
⑦	手術件数	5 9
⑧	調剤薬処方数	6 0
⑨	薬剤管理指導算定数	6 1
⑩	病理解剖件数	6 2
⑪	診療科別患者数	6 3
⑫	診療項目別稼働額	6 5
(15)	会津医療センター附属病院の状況	6 6
①	病類別病床数	6 6
②	等級別病室数病床数室料差額	6 6
③	臨床検査件数	6 6
④	病理部検査件数	6 6
⑤	X線等照射件数	6 7
⑥	手術件数	6 7
⑦	調剤薬処方数	6 8
⑧	薬剤管理指導算定数	6 9
⑨	病理解剖件数	6 9
⑩	診療科別患者数	7 0
⑪	診療項目別稼働額	7 2
(16)	公立大学法人福島県立医科大学令和3年度決算に係る貸借対照表及び 損益計算書	7 3
(17)	公立大学法人福島県立医科大学予算・決算及び収支計画	7 4
9	配 置 図	7 6
10	施 設 概 要	7 7
11	位 置 図	8 3

# 1 理 念 等

## 福 島 県 立 医 科 大 学 の 理 念

(令和元年6月26日制定)

福島県立医科大学は、県民の保健・医療・福祉に貢献する医療人の教育および育成を目的に設立された大学である。同時に、研究機関として、不断の研究成果を広く世界に問いかけるという重要な使命を担っている。

もとより医療は、すべての医療人が共に手を携えて、すべてのひとのいのちと健康の問題に真摯に向き合い、その未来を拓く営為である。その基盤とすべきところは、個人の尊厳に対する深い配慮と、高い倫理性である。

福島県立医科大学は、以下に掲げることを本学の理念として、教育、研究および医療を幅広く推進していくものとする。

- 1 ひとのいのちを尊び倫理性豊かな医療人を教育・育成する。
- 2 最新かつ高度な医学、看護学および保健科学を研究・創造する。
- 3 県民の基幹施設として、全人的・統合的な医療を提供する。

# 福島県立医科大学ビジョン2014

－ 忘れない。そして希望の未来を拓く－

(平成26年6月1日制定)

## 1 「私たちは福島の復興を牽引します。 全ての県民の復興が達成される日まで支え続けます。」

私たちは、ふくしま国際医療科学センターを中心に総力をあげて、長期にわたる県民一人ひとりの心身の健康の増進、新しい医療産業の創出、地域医療の支援を通して安全で安心な生活基盤を確立し、福島の復興を前進させます。たとえ長期にわたるとしても、私たちは、誰もが復興の達成を感じられる日が来るまで福島県民を支え続けることを誓います。

## 2 「私たちは福島の復興を担う優れた医療人を育成します。 高度な知識、技術と高い倫理性を備えた医療人を育てます。」

私たちは、建学の原点を再確認し、福島の復興を担うことができる高度な知識と技術、そして高い倫理性を備えた医療人の育成を続けます。医学部、看護学部及び大学院の教育カリキュラムを整え、教育力を不断に高め、知識、技能、態度において実践的能力を備えた医療人を輩出します。附属病院と会津医療センターでは、医療の実践により診療・教育力を高め、魅力ある研修プログラムを提供し、総合性と専門性のバランスに優れた医療人を育む生涯教育を行います。さらに、災害に際して世界中から差しのべられた多くの支援に報いるため、将来起こりうる複合災害に備え、災害医療と被ばく医療に精通し、社会コミュニケーション能力を備えた医療人の育成に取り組みます。

## 3 「私たちは優れた価値ある研究成果を世界に向かって発信します。 本学に課せられた歴史的使命を果します。」

私たちは、全ての人々が抱える健康に関する課題を解決するために医学と看護学に関する研究を推進し、その成果を世界に発信します。さらには、原子力災害を経験した本学の歴史的使命として、低線量放射線被ばくの影響と心の健康を含む災害医療に関する科学的知見を、人類の未来のために記録し発信します。

## 4 「私たちは県民の健康長寿を実現します。 高水準の医療の提供と根拠に基づく疾病予防に取り組めます。」

私たちは、生涯にわたる健康な暮らしを願う県民の期待に応え、多様な職種の専門性を生かしたチームとして、病める人の自己決定を尊重し、高水準の診断・治療とケアを提供し心温まる医療を実現します。日々研鑽に努め、人々の声に耳を傾け、正しい知識と情報を提供します。県民が健康長寿を実感できるよう、地域と連携し、科学的根拠に基づく疾病予防と健康増進および抗加齢医学の研究と実践を推進します。

## 5 「私たちは持続的に進化する大学を創ります。 ここに集うすべての人々の思いに応えられる大学を目指します。」

私たちは、現状に満足せず、常にあるべき将来像を見据え、組織として進化を続けます。激動する社会の変化に対応し、県民には安心の医療を、学びを求める人々には魅力ある教育と研修の場を、働く人々には誇りを持って仕事に打ち込める環境を提供し続けます。



# 福島県立医科大学の3つの方針（ポリシー）

## 1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、次のような能力を身につけた者に学位を授与します。

- 医療に携わるプロフェッショナルとしての知識・技能および倫理観を習得した者
- 福祉と医療の分野において社会貢献できる能力を有する者
- 科学的思考力および自律的に生涯学習を継続する姿勢を習得し、医療の発展に寄与する成果を発信する基礎的な能力を持つ者
- 本学履修規程に則り、卒業までに所定の単位を授与された者

## 2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、次のような方針で教育を実施します。

- 高度化する医療の諸問題を自ら進んで学習し、問題発見・解決能力を養う。  
また、生涯学習の姿勢を身につける。
- 医療を体系的に学び、疾患の深い理解に基づいて医療人として見識を養う。  
また、コミュニケーション能力や協調性の育成を図る。
- 臨床の現場を知り、医療人としての自覚を持ち、患者様に寄り添う心を身につける。
- 福島の地域医療の現状を学び、人々の健康を守る方法論を学ぶ。
- 科学的探究心と創造性に基づく研究を目指し、世界に飛躍する志を養う。

## 3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、次のような資質を持つ学生を求めます。

- 高い倫理観と豊かな人間性をもち、命を尊ぶ心を備えた人
- 十分な基礎学力を有し、医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
- コミュニケーション能力にすぐれ、協調性を持つ人
- 地域の発展や東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を持つ人
- 科学的探究心と創造性を備え、医療の分野で、世界に飛躍しようとする志を持つ人

---

---

## 医学部の3つの方針（ポリシー）

### 1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

福島県立医科大学医学部では、教育理念・目標として「心・知・技・和・地」を掲げ、患者に寄り添う医療人、保健・医療・福祉に貢献できる医師・医学研究者の育成に努めてきました。

それを受け、本学では以下を満たす者に学士を授与します。

1. 患者と地域社会のために、患者を主体とした最善の医療を実践するプロフェッショナルとして、必要な倫理観の基盤・知識と技術を習得した者
2. 医学、医療の視点から、地域から世界に広がる社会貢献ができる医師・医学研究者の基礎として、科学的思考力および自律的に生涯学習を継続する姿勢を習得した者
3. 医学部履修規程に則り、卒業までに所定の単位を授与され、授業科目の修了認定を受けた者

### 2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

卒業認定に必要な能力を身につけるため、医学教育モデル・コア・カリキュラムに提示された教育内容に発展的科目群をらせん型に配置し、1-6年次にわたる体系的な一貫らせん型カリキュラムを構築しています。

一貫らせん型カリキュラムでは、総合科学系科目、生命科学・社会医学系科目、臨床医学系科目からなる全人的医療人教育を基盤とし、それら科目を緊密に行き来しながら、融合した総合教育科目を成長・習得度に合わせ6年間を通して繰り返し発展的に学ぶことができます。

さらに協力病院と共に、卒業後初期研修・専門研修につながる一貫した臨床実習からなるカリキュラムとなっています。

増大する医学的知識に対応するためには、能動学習を継続する姿勢の修得が必須であることから、縦横に統合型の講義・実習を取り入れ、また能動的プログラムを十分に確保することで、学生の自己研鑽能力を高めて生涯学習の姿勢を培います。

これらカリキュラムの修得、到達目標の達成度は、出席・授業態度・試験結果・発表内容・レポート・実習の自己評価などから、総合的に、本学の履修規程に則って評価します。

#### ●カリキュラム概要

1. 医師としてのプロフェッショナリズムとコミュニケーション力
2. 科学的探究心（生涯教育と医学/科学の発展への貢献）
3. 医学的知識とその応用、診療の実践
4. 医療と社会・地域（福島をモデルとした地域理解）

### 3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

心を感じ、知を持ち、技を活かし、和を育み、地域を創造する医師を養成します。

#### ●求める学生像

1. いのちを尊ぶ心を持った人
2. 高い倫理観と豊かな人間性を備えた人
3. 広い視野と適切な判断力を備えた人
4. 科学的探究心と創造性を備えた人
5. 地域の発展や東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を備えた人

#### ●入学者選抜の基本方針

入学後の修学のために、高等学校において以下の入試科目に該当する科目を修得していることが望まれます。

国語：『国語』

地理歴史・公民：『世界史B』、『日本史B』、『地理B』、『倫理、政治・経済』のうちから1科目

数学：『数学I・数学A』に加えて『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』のうちから1科目

理科：『物理』、『生物』、『化学』のうちから2科目

外国語：『英語』

#### 1. 一般選抜（前期日程試験）

医師を目指すものとして高い学力を有し、人格的に優れた者で、特に論理的思考力と探究心を備えた学生を求めています。

大学入学共通テストに加え、個別学力検査（数学、理科、外国語）、及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜します。

#### 2. 学校推薦型選抜

学業・スポーツ・文化活動等において、特に優れた成績又は実績を有し、人格的に優れた者で、他の模範となり、将来福島県内の医療を担うという強い意欲と情熱を持つ者を求めています。

総合問題、大学入学共通テスト、及び面接試験の結果、並びに高等学校長の推薦書、調査書等の出願書類を総合的に評価して選抜します。

#### 3. 総合型選抜

医学を志す者として高い学力を有し、人格的に優れており、特に能動的で、リーダーの素養を有する学生を求めています。

総合問題、自己推薦書、調査書、特別活動に関する報告書等の出願書類、及び面接（MMI（※））を総合して選抜します。

※MMI（Multiple Mini Interview）とは、1回の面接ではなく、受験者が評価項目別の面接室を移動しながら、各々独立した短時間の面接を複数回行って多面的に評価する面接手法。

#### 4. 海外教育プログラム選抜

入学者の多様性を確保し、自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、海外教育プログラム選抜を行います。

医師を目指す者として高い学力を有し、能動的で、国際的なコミュニケーション能力と優れた協調性を有する学生を求めています。総合問題、自己推薦書・特別活動に関する報告書等の出願書類、及び面接を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストは課しません。

#### 5. 私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験し、かつ出入国管理及び難民認定法において大学生生活に支障のない在留資格を有し、大学の定める諸要件に該当するものに対して、私費外国人留学生選抜を行います。

医師を目指す者として高い学力を有し、国際的なコミュニケーション能力と優れた協調性を有する学生を求めています。個別学力検査、面接、出願書類及び日本留学試験の結果を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストは課しません。

---

---

## 看護学部の3つの方針（ポリシー）

### 1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

福島県立医科大学看護学部では、教育理念として「豊かな感性と高い倫理観を持ち、ニーズに対応しうる実践能力を備えた看護専門職者の養成」を掲げています。この教育理念の下、地域の保健・医療・福祉に貢献する看護専門職者の育成に努めてきました。それを受け、本学では以下を満たす者に学士を授与します。

1. 地域社会の人々のために、人々が生活するあらゆる場において、あらゆる健康レベルの人々のニーズに基づいた看護を実践する看護専門職者に必要な倫理観の基盤・知識と技術を修得した者
2. 地域社会への貢献ができる看護専門職者の基礎として、科学的思考力および自律的に生涯学習を継続する姿勢を修得した者
3. 看護学部履修規程に則り、卒業までに所定の単位を授与され、授業科目の修了認定を受けた者

### 2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

#### ●カリキュラム概要

1. 豊かな感性と倫理観を持つ看護専門職者となるために
2. 創造性豊かな看護専門職者となるために
3. ニーズに対応する実践能力を備えた看護専門職者となるために

#### ●評価方法

履修した授業科目の成績は、「福島県立医科大学看護学部履修規程」に基づき、筆記試験、レポートおよび出席等の方法により総合的に評価します。

### 3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

豊かな感性と倫理観を持ち、ニーズに対応する実践能力を備えた創造性豊かな看護専門職者の養成をします。

#### ●求める学生像

1. 人間への関心を持ち、「いのち」と「健康」を積極的に守ろうとする人
2. いろいろな観点からものごとを理解することができる人
3. 対人関係を通して、ともに成長することができる人
4. 地域の保健医療を担うという情熱と意欲を有する人
5. ものごとを論理的に考え、表現することができる人
6. 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、探求心を有する人

#### ●入学者選抜の基本方針

入学後の修学のために、高等学校において以下の科目を修得していることが望まれます。

国語：『国語』（必須）

地理歴史・公民：『世界史B』、『日本史B』、『地理B』、『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理、政治・経済』のうちから1科目

数学：『数学I・数学A』（必須）、『数学II・数学B』（必須）

理科：『物理』、『生物』、『化学』のうちから2科目ないしは「物理基礎」「生物基礎」「化学基礎」のうちから2科目選択及び「物理」「生物」「化学」のうちから1科目

外国語：『英語』（リスニングを含む）（必須）

#### 1. 一般選抜（前期・後期）

看護師を目指すものとして基礎的学力を有し、人間への関心を持ち、論理的思考力と探究心を備えた学生を求めています。

大学入学共通テストに加え、総合問題、面接及び調査書の結果を総合して選抜します。

#### 2. 学校推薦型選抜

福島県の保健・医療・福祉への貢献の意思および看護職者として意欲を持つ学生を求めています。

総合問題（英文・科学的資料の読解を含む）および面接の結果、並びに出願書類の審査結果を総合して選抜します。大学入学共通テストは課しません。

- 3 私費外国人留学生選抜  
日本国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験し、かつ出入国管理及び難民認定法において大学生活に支障のない在留資格を有し、大学の定める諸要件に該当するものに対して、私費外国人留学生選抜を行います。  
総合問題、面接、出願書類及び日本留学試験の結果を総合して選抜します。大学入学共通テストは課しません。

## 保健科学部の3つの方針（ポリシー）

### 1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 専門医療技術者として、それぞれの専門領域に求められる倫理観と体系的な知識・技術、コミュニケーション能力を身につけている。
2. 地域社会への貢献ができる専門医療技術者の基礎として、科学的思考及び自律的に生涯学習を継続する姿勢を身につけている。
3. 専門医療技術者として、福島の地域医療や災害医療を理解し、それらへの取り組みを能動的に行える基礎的な能力を身につけている。

### ●各学科のディプロマポリシー

#### □理学療法学科

1. 理学療法の実践に必要な体系的専門知識を用いて、対象者の身体機能の維持・改善を図るための理学療法を実践できる。
2. 理学療法の対象者やその家族、多職種と倫理観を持って接し、十分なコミュニケーションをとって良好な人間関係を築くことができる。
3. 理学療法士として常に自身の資質を向上させるために、生涯にわたり学習する姿勢を身につけ、最新の知識と技術を吸収し、科学的思考を持ち、研究・自己研さんすることができる。
4. 福島の地域医療や災害医療を的確に把握し、理学療法士として地域と災害に関する様々な課題に対し、能動的に対応できる基礎的な能力を身につけている。

#### □作業療法学科

1. 作業療法の実践に必要な倫理観と体系的専門知識・技術、コミュニケーション能力を身につけ、対象者の生活を支援するための作業療法を実践できる。
2. 作業療法の対象者やその家族、多職種と良好な人間関係を構築し、連携・協働することができる。
3. 科学的思考を持ち、保健・医療・福祉の発展に寄与する作業療法の研究を実践することができる。
4. 福島の地域医療や災害医療を的確に把握し、作業療法士として地域と災害に関する様々な課題への取り組みを能動的に行うための基礎的な能力を身につけている。

#### □診療放射線学科

1. 診療放射線技師に必要なコミュニケーション能力と倫理観、専門知識や技術を身につけ、患者に寄り添い、的確な説明と診療を行うことができる。
2. 電離・非電離放射線の特性を熟知し、画像診断検査や放射線治療・放射線管理等において放射線の適正利用による利益を患者を含めた社会に提供できる。
3. 診療放射線技師としての役割を理解・認識し、多職種と連携・協働し、医療技術の発展や情報・放射線管理の進歩のため、科学的思考に基づく自己研さんを生涯にわたり継続的に実施できる。
4. 福島の地域医療や災害医療、および放射線に関する状況を的確に把握・分析し、様々な課題に対し、能動的に対応できる基礎的な能力を身につけている。

#### □臨床検査学科

1. 臨床検査技師に必要な倫理観、知識、技術、コミュニケーション能力を身につけ、自ら実践できる。
2. 臨床検査のスペシャリストとして、多職種と連携したチーム医療において自らの役割を果たすことが出来る。
3. 様々な臨床検査学に関する課題に対し、科学的思考を持ち、生涯にわたり取り組むことができる。
4. 福島の地域医療や災害医療における臨床検査の役割を認識し、能動的に行動するための基礎的な能力を身につけている。

### 2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教育課程の基本  
豊かな人間性を涵養するため、人や人の営みについて広く学ぶとともに、専門医療技術者として専門性を獲得し、かつ、他者に対して敬意と倫理観を持って接することができる能力を身につけられるよう教育課程を体系化する。
2. 専門教育の段階的配置  
学修意欲や自覚を高めるために、早期から専門教育に関わる科目を開講し、年次進行に合わせて段階的に専門性を高めていく漸進的な科目配置にする。
3. プロフェッショナルリズムを育む実践的科目  
保健・医療・福祉の直接の担い手となる専門医療技術者を育成するため、実体験に基づき倫理観、知識、技術、態度、コミュニケーション能力を習得できるように専門的な演習や実習に重点を置いた科目と研究を行う基礎

を身につける科目を開講する。

4. 地域医療・災害医療から学ぶ  
複合災害の経験をこれからの医療現場に活かしていくため、専門医療技術者として地域医療や災害医療の中でどのような役割を果たせるかについて学ぶ科目を開講する。各学科では、養成する人材像を実現するため、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけることができるよう、カリキュラムを編成する。

各学科では、養成する人材像を実現するため、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけることができるよう、カリキュラムを編成する。

### ●各学科のカリキュラム・ポリシー

#### □理学療法学科

1. 人間と社会及び自然について広く学び、豊かな教養と倫理観を持つ理学療法士として対象者や家族に対して、敬意を持って接することができる資質を培う科目と専門性を獲得できる科目を開講する。
2. 基礎医学と臨床医学を深く理解し、また、関連領域の知識も取り入れ、疾病と障害の特性に応じた理学療法を提供するための科目を早期から開講し、年次進行に合わせて段階的に専門性を高めていく科目を配置する。
3. 理学療法士として実践力を身につけるため、専門的な技術を高めるよう演習や実技練習、臨床講義などを取り入れた科目と研究の基礎を学ぶ科目を開講する。
4. 理学療法士がチーム医療の中で、専門性を発揮しつつ、多職種協働する能力を身につけるための科目を開講する。
5. 複合災害の経験を基に、理学療法士が地域医療や災害医療の中でどのような役割を果たせるかについて学ぶ科目を開講する。

#### □作業療法学科

1. 対象者とその家族及び地域生活における多様な問題に対して、作業療法士として誠意をもって対応できるよう豊かな教養と倫理観を身につけ、良好な人間関係を形成する能力を培う科目と専門性を獲得できる科目を開講する。
2. 作業療法学を意欲的に学習し、確かな専門性を修得できるよう、作業療法の科目を早期から開講し、年次進行に合わせて段階的に専門性を高めていく科目を配置する。
3. 作業療法学を深く理解し、また、関連領域の知識を取り入れ、疾病と障害の特性に応じた臨床実践能力を修得できるよう、実践かつ専門的な演習や実習を取り入れた科目と研究の基礎を学ぶ科目を開講する。
4. 作業療法士がチーム医療の中で、専門性を発揮しつつ、多職種協働する能力を身につけるための科目を開講する。
5. 複合災害の経験を基に、作業療法士が地域医療や災害医療の中でどのような役割を果たせるかについて学ぶ科目を開講する。

#### □診療放射線科学科

1. 診療放射線科学が含有する幅広い学問領域を学ぶため、豊かな教養と倫理観を身につけるための科目と診療放射線技師としての専門性を獲得できる科目を開講する。
2. 診療放射線技師として、自律的に行動できる能力を身につけるために、診療放射線科学の科目を早期から開講し、年次進行に合わせて段階的に専門性を高めていく科目を配置する。
3. 保健・医療・福祉に関わる診療放射線技師を育成するために、実体験に基づき知識、技術、態度を習得できるように学内、病院及び専門機関等での実践かつ、専門的な演習や実習を行う科目と研究の基礎を学ぶ科目を開講する。
4. 診療放射線技師がチーム医療の中で、専門性を発揮しつつ、多職種協働する能力を身につけるための科目を開講する。
5. 複合災害の経験を基に、放射線災害や危機管理等で診療放射線技師が担うべき役割について学ぶ科目を開講する。

#### □臨床検査学科

1. 医療者としての豊かな教養と倫理観を培う科目と臨床検査技師としての専門性を獲得できる科目を開講する。
2. 臨床検査技師として、基礎医学と臨床医学を深く理解するため、早期から専門教育に関わる科目を開講し、年次進行に合わせて段階的に専門性を高めていく科目を配置する。
3. 臨床検査学の専門的な演習や実習、研究活動を通して科学的な思考力や創造性を身につけることにより、検査技術の実践能力および問題解決能力を養う科目を開講する。
4. 臨床検査技師がチーム医療の中で、専門性を発揮しつつ、多職種協働する能力を身につけるための科目を開講する。
5. 複合災害の経験を基に、臨床検査技師が地域医療や災害医療の中でどのような役割を果たせるかについて学ぶ科目を開講する。

### 3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

保健・医療・福祉分野において重要な役割を担い、いのち、健康および生活を守り、かつ、生涯にわたって学習・科学する意欲を持ち続ける専門医療技術者（理学療法士、作業療法士、診療放射線技師および臨床検査技師）を養成します。

#### ●求める学生像

1. 専門医療技術者として「いのち」、「健康」および「生活」を支える意欲を有する人



- 科学的探究心と創造性を備え、高度な専門知識と技術を主体的に学ぶ姿勢を有する人
- コミュニケーション能力にすぐれ、高い倫理観と協調性を有する人
- 東日本大震災を経験した福島で学修するという意欲を有する人
- 本学部で学ぶための十分な基礎学力を有する人

#### ●各学科の求める学生像

##### □理学療法学科

- 理学療法士として「いのち」「健康」および「生活」を支える意欲を有する人
- 科学的探究心と創造性を備え、理学療法学に関する高度な専門知識と技術を主体的に学ぶ姿勢を有する人
- コミュニケーション能力にすぐれ、高い倫理観と協調性を有する人
- 東日本大震災を経験した福島で理学療法学を学ぶ意欲を有する人
- 理学療法学科で学ぶための十分な基礎学力を有する人

##### □作業療法学科

- 作業療法士として「いのち」「健康」および「生活」を支える意欲を有する人
- 科学的探究心と創造性を備え、作業療法学に関する高度な専門知識と技術を主体的に学ぶ姿勢を有する人
- コミュニケーション能力にすぐれ、高い倫理観と協調性を有する人
- 東日本大震災を経験した福島で作業療法学を学ぶ意欲を有する人
- 作業療法学科で学ぶための十分な基礎学力を有する人

##### □診療放射線科学科

- 診療放射線技師として「いのち」「健康」および「生活」を支える意欲を有する人
- 科学的探究心と創造性を備え、診療放射線科学に関する高度な専門知識と技術を主体的に学ぶ姿勢を有する人
- コミュニケーション能力にすぐれ、高い倫理観と協調性を有する人
- 東日本大震災を経験した福島で診療放射線科学を学ぶ意欲を有する人
- 診療放射線科学科で学ぶための十分な基礎学力を有する人

##### □臨床検査学科

- 臨床検査技師として「いのち」「健康」および「生活」を支える意欲を有する人
- 科学的探究心と創造性を備え、臨床検査学に関する高度な専門知識と技術を主体的に学ぶ姿勢を有する人
- コミュニケーション能力にすぐれ、高い倫理観と協調性を有する人
- 東日本大震災を経験した福島で臨床検査学を学ぶ意欲を有する人
- 臨床検査学科で学ぶための十分な基礎学力を有する人

#### ●入学者選抜の基本方針

入学後の修学のために、高等学校等で学ぶ国語、社会、数学、理科、英語について、十分な基礎学力を身につけていることが望まれます。

- 一般選抜 専門医療技術者を指すものとして基礎的学力を有し、人間への関心をもち、論理的思考力と探究心を備えた学生を求めています。  
大学入学共通テストに加え、総合問題もしくは個別学力試験、および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜します。
- 学校推薦型選抜 福島県の保健・医療・福祉への貢献の意志および専門医療技術者として意欲を持つ学生を求めています。  
総合問題（英文・科学的資料の読解を含む）および面接、並びに高等学校長の推薦書、調査等の出願書類を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストは課しません。

## 大学院医学研究科医学専攻(博士課程)の3つの方針(ポリシー)

### 1 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

以下を満たす者に博士(医学)の学位を授与します。

- 所定の単位を取得したうえで博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格する。
- 医学とくに自身の研究分野に関する高度かつ広範な専門的知識を有する。
- 独創的な立案、高い研究技能、データの解析と的確な解釈をする能力を備え、と共に、研究に関する倫理を深く理解し、これらを以って先駆的な研究や医療を遂行することができる。
- 自身の研究成果を正確に発表、縦横に討論し、学術誌に論文を執筆・発表する力を備えている。
- 大学・研究機関の研究者として、あるいは地域の医療機関において臨床医として指導的な役割を果たすことができる能力と人格を備えている。
- 先進的な研究あるいは高度な医療技術を以って世界に貢献できる力を備えている。そのための国際的に活発に交流できる高いコミュニケーション能力と多様な価値観を容認する包容力を有する。

### 2 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

- 高度医学研究者コースと専門医研究者コースのいずれかを履修する。前者は医学部以外からの学生にも広く門戸を開放している。
- 倫理を含む研究の基礎を学んだ後、専攻分野の専門教育を行う。前者の

- コースでは医学研究者になることを目標とし、将来の医学を支え新たな医学の創造ができるような人材を育成する。後者では高度で専門的な臨床能力と医療の現場へ貢献できる研究能力を兼ね備えた臨床医を育成する。
- 専攻分野と関連して必要とされる内容を専攻外の分野から選択し、専門研究の拡充や展開を促し、広い視野からの問題解決能力の育成を行う。
- 医学全体の動向を知るために、各方面での先駆的な研究内容を学習する「大学院セミナー」を履修する。
- 研究成果を学会等で発表し、学術誌に論文を執筆する論文研究指導を行う。

### 3 入学者の受入に関する方針(アドミッション・ポリシー)

#### ●求める学生像

高い倫理観と豊かな人間性を備え、共に新しい医学を創造し、社会に貢献する次のような学生を求めています。

- 医学・医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
- 新たな分野に踏み込み、先駆的な研究活動を志す人
- 地域の医学・医療水準の向上を目指し、指導的な役割を担おうとする人
- 大学・研究機関の指導者、研究者として活躍する意欲を持つ人
- 医学・医療の分野で、世界に飛躍しようとする熱意を持つ人

#### ●入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、4月入学、10月入学の試験を入学時期に合わせて実施している。社会人を含む様々な立場の方に門戸を開放しています。試験は筆記試験(小論文)、面接、成績証明書及び志望理由書により学力や相応しい資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

## 大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)の3つの方針(ポリシー)

### 1 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

以下を満たす者に修士(医科学)の学位を授与します。

- 本研究科に所定の単位を修得したうえで修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格する。
- 医科学の高度化と国際化に対応できる研究倫理、専門的知識及び学識を修得し、博士課程に進学できる水準に達している。
- 医科学に関連した研究・教育・実務分野で活躍し、地域社会に貢献できる。

### 2 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

- 社会人を含む様々な立場の方が受講できる。
- 研究倫理を身につける。
- 医科学の高度化・国際化に対応できる専門的な知識を修得する。
- 実験系の医科学分野又は人を対象とした社会科学分野において、研究・教育・実務に従事する人材となる。
- 高度な専門的知識や研究方法を修得することで研究者としての水準を向上させ、博士課程への進学を視野に入れる。

### 3 入学者の受入に関する方針(アドミッション・ポリシー)

#### ●求める学生像

高い倫理観と豊かな人間性を備え、共に新しい医学を創造し、社会に貢献する次のような学生を求めています。

- 医学以外の専門分野を学んだ多様な知識的背景や発想を持ち、国際的な視点に立つ人。
- 医科学の専門知識を体系的、集中的に学びとる意欲を持ち、地域社会に貢献する人。
- 研究・教育・実務分野において、指導者を志す人。

#### ●入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、年2回(8月・12月)入学試験を実施しています。社会人を含む様々な立場の方に門戸を開放します。試験は筆記試験(小論文)、面接、成績証明書及び志望理由書により学力や相応しい資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

## 大学院医学研究科災害・被ばく医療科学共同専攻(修士課程)の3つの方針(ポリシー)

### 1 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を取得し、

- 高度医学研究者コースと専門医研究者コースのいずれかを履修する。前者は医学部以外からの学生にも広く門戸を開放している。
- 倫理を含む研究の基礎を学んだ後、専攻分野の専門教育を行う。前者のコースでは医学研究者になることを目標とし、将来の医学を支え新たな医学の創造ができるような人材を育成する。後者では高度で専門的な臨床能力と医療の現場へ貢献できる研究能力を兼ね備えた臨床医を育成する。

3. 専攻分野と関連して必要とされる内容を専攻外の分野から選択し、専門研究の拡充や展開を促し、広い視野からの問題解決能力の育成を行う。
  4. 医学全体の動向を知るために、各方面での先端的な研究内容を学習する「大学院セミナー」を履修する。
  5. 研究成果を学会等で発表し、学術誌に論文を執筆する論文研究指導を行う。
- と認められた者に対し、医科学コースにあつては修士（医科学）、保健看護学コースにあつては修士（看護学）の学位を授与します。

## 2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

### 【医科学コース】

1. 基礎科目で、災害・被ばく医療科学の基盤となる放射線医科学、リスクコミュニケーション学、救急・災害医学に関連する科目群を学びます。学修の到達度は、主にレポートやプレゼンテーション、ディスカッションにより評価します。
2. 専門科目で、災害・被ばく医療科学に関連する専門的知識を習得するための科目群を学びます。放射線災害を含む災害の発災前から復興期にわたる長期的な課題に対応する実践力を育成するための知識・技術を学びます。学修の到達度は、主にレポートやプレゼンテーション、ディスカッションにより評価します。
3. 専門実習で、福島県立医科大学、長崎大学における実習を通じて、習得した専門知識を活用し、災害・被ばく医療の専門家として実践、教育できる力を養います。保健看護学コースとの共修により、他職種との連携・協働を学びます。学修の到達度は主に実習内容およびそれに関するディスカッション、レポートを通じて評価します。
4. 課題研究で、それまでに習得した知識と実習による実践能力を基盤として、学位論文の作成に向けた研究を行います。評価は研究のプロセスにおけるディスカッション、プレゼンテーション、提出された論文により行います。

### 【保健看護学コース】

1. 基礎科目で、災害・被ばく医療科学の基盤となる放射線医科学、リスクコミュニケーション学、救急・災害医学に関連する科目群を学びます。学修の到達度は、主にレポートやプレゼンテーション、ディスカッションにより評価します。
2. 専門科目で、看護学の学問基盤および災害・放射線看護学に関連する専門的知識を習得するための科目群を学びます。放射線被ばくによる健康問題に対して保健医療、行政、国際機関などの分野での実践力を育成するための知識・技術を学びます。学修の到達度は、主にレポートやプレゼンテーション、ディスカッションにより評価します。
3. 専門実習で、福島県立医科大学、長崎大学における実習を通じて、習得した専門知識を活用し、放射線看護の高度専門家・実践家として力を養います。医科学コースとの共修により、他職種との連携・協働を学びます。学修の到達度は主に実習内容およびそれに関するディスカッション、レポートを通じて評価します。
4. 課題研究で、それまでに習得した知識と実習による実践能力を基盤として、学位論文の作成に向けた研究を行います。評価は研究のプロセスにおけるディスカッション、プレゼンテーション、提出された論文により行います。

## 3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

入学者に以下の資質・素養を求めます。

### ● 求める学生像

1. 災害医学や被ばく医療学、放射線国際医療保健学、放射線保健看護学への強い関心と学ぶ意欲がある。小論文試験により災害・被ばく医療学の基礎的知識や論理性を評価する。  
長崎大学保健看護学コースでは英語により語学力を評価する。
2. 国際的・学際的視野から災害・被ばく医療における実践、教育・研究に貢献しうる資質と意欲を有する。小論文試験、書類審査、面接試験により評価する。
3. 専門職業人として協調性とリーダーシップを発揮し、災害・被ばく医療に貢献しうる資質と意欲、倫理観を有する。書類審査、面接試験により評価する。
4. 災害時における調整力やコミュニケーション能力の研鑽を積もうとする高い志を有する。書類審査、面接試験により評価する。

## 大学院看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）の3つの方針（ポリシー）

### 1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

所定の期間在学し、修了要件となる単位を取得するとともに、学位論文審査および最終試験に合格し、下記の条件を満たす者に学位（修士（看護学））を授与します。

1. 専門分野における専門的知識、技術を修得している。
2. 看護学の学問の発展に寄与する実践・研究・教育に取り組むための基礎的能力を修得している。
3. 高い倫理観を有した専門職者として専門分野の課題を探索できる能力を有している。
4. 看護実践・研究・教育の場において地域に貢献できる能力を修得している。

### 2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

専門分野の高度な実践者、看護学研究者、看護学教育者を育成します。

1. 専門性の高い看護職の基盤となる理論・知識が修得できる。
2. 専門領域における高度な知識と実践能力が修得できる。
3. 専門領域と関連する内容を学び、社会の要請に応え学問的成果をあげる能力を修得できる。

### 3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

高い倫理観と豊かな人間性を備え、専門性の高い看護学の修得を志向し、熱意を持って主体的に学んでいこうとする人を求めています。

#### ● 求める学生像

1. 看護学に関する専門的知識と技術を修得し、その発展に寄与する人
2. 専門看護師として高度な知識と卓越した実践能力を修得しようとする人
3. 保健・医療・福祉領域で多様な人と協働して地域貢献に尽力しようとする人

#### ● 入学者選抜の基本方針

求める学生像に沿った人材を選抜するために入学試験を実施します。試験は、筆記試験（看護学共通、専門領域、英語）、口述試験、面接および出願書類等により総合判定します。

## 大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）の3つの方針（ポリシー）

### 1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

所定の期間在学し、修了要件となる単位を取得するとともに、学位論文審査および最終試験に合格し、下記の条件を満たす者に学位（博士（看護学））を授与します。

1. 人々のニーズに応えるケアおよびケアシステム開発を志向した新規性の高い独創的な看護研究の基盤となる知識や方法論を修得している。
2. 実践開発看護学の体系化と発展に寄与する看護研究を自立して計画、遂行し、看護実践に還元できる研究力と研究指導力を修得している。
3. 高度な看護実践力と研究力・研究指導力を基盤に、看護教育・研究者、あるいは看護実践指導者として、研究活動の組織的な取り組みを推進し、看護実践に還元、その変革を指導・牽引できる能力を修得している。

### 2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 人々のニーズに応えるケアおよびケアシステム開発の看護実践上の意義、その方法論について学修する。
2. 看護実践上の課題を明確にし、課題解決のためのケアおよびケアシステム開発につながる研究課題および方法論を探索する。
3. 看護現象と看護理論を吟味し、科学的な知見を理論へと発展させ、看護実践に活用できる方法を学修する。
4. 看護実践上の課題の明確化、研究課題および研究方法論の構築を多彩な視点から深化させる。
5. 人々のニーズに応える新規性のある独創的なケアおよびケアシステムを考究し、看護実践の場に適用させ、その成果の検証を通して、地域の保健医療福祉の課題解決ならびに人々のQOLの向上に寄与できる研究を学位論文として産出する。

### 3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

#### ● 求める学生像

1. 社会のニーズに呼応したケアおよびケアシステム開発に関心を持ち、博士後期課程における学修の基盤となる看護学の専門知識を有する人。
2. 基礎的な研究能力を有し、自ら課題解決に取り組む意欲を有する人。
3. 国内外の文献を読み解く語学力と読解力を有し、グローバルな視点から課題を分析する能力を有する人。
4. 看護教育・研究者、看護実践指導者としてコミュニケーション能力、論理的思考力を有する人。
5. 博士後期課程修了後、看護教育・研究者、看護実践指導者として保健医療福祉の変革を牽引する意思のある人。

#### ● 入学者選抜の基本方針

求める学生像に沿った人材を選抜するために入学試験を実施します。試験は、筆記試験（英語）、口述試験、面接および出願書類等により総合判定します。

## ● 医学部

### ○教育理念

福島県立医科大学医学部は、心を感じ、知を持ち、技を活かし、和を育み、地域を創造する医師を養成します。

### ○教育目標

“君の持つ力を見つけ出して育てよう”

- 心：真摯な心、共感する心、探求する心
- 知：命を救う知識、病める人を癒す知恵、明日を生きる知性
- 技：確かな技、未知に挑む技、未来へ繋ぐ技
- 和：患者や家族との和、働く仲間との和、地域や世界の人々との和
- 地：地域に学ぶ、地域を創る、地域から発信する

## ● 看護学部

### ○教育理念

学生が主体的に学ぶことを基本とし、人間の存在と生命の尊厳を深く理解することのできる豊かな感性と倫理観を形成し、柔軟で論理的な思考力を培う。

また、あらゆる場で、あらゆる健康レベルの人々のニーズと必要な看護ケアを、人と人のかかわりを通して把握し、学生が自らの知識と技術を統合して、健康の回復から増進にむけた援助を提供できる能力を養う。

さらに、社会の変化に対応した看護専門職の役割を認識し、保健・医療・福祉に関わる広い領域で様々な人々と連携・協働を図りながら、看護の対象となる人々自らが健康問題を解決し健康状態を高めていく過程を援助できる、創造性豊かな看護専門職の育成を目指す。

### ○教育目標

学部の教育理念に基づき、次のような学生を育成することを教育の目標とする。

- 1 人間や文化に対する幅広い関心をもち、人間と生命、健康、生活について深く洞察することができる。
- 2 生命の尊厳や人権について理解し、人々の意思決定を支え、擁護に向けた行動をとることができる。
- 3 医療やケアの倫理について熟知し、倫理観に基づく判断や行動をとることができる。
- 4 自己を内省する力を養うとともに、他者とのコミュニケーションを通して、よりよい人間関係を築くことができる。
- 5 人々の健康レベルを、成長発達や日常生活を取り巻く環境の観点で捉え、健康の回復から増進に向けた援助過程で、看護専門職が果たす役割について理解することができる。
- 6 安全で効果的なケアを探求し、批判的思考に基づく臨床判断や根拠に基づく看護を実践できる。
- 7 地域社会の人々の健康に関するニーズを把握し、地域の専門職者と協働して人々がその課題を解決するために利用できる社会資源を探索することができる。
- 8 協働によるチーム医療を構築し、施設内および地域での看護の対象となる人々の状況にあわせたケアのマネジメントと看護専門職が果たす役割を理解することができる。
- 9 看護専門職者としての自らの能力を、自己評価、他者評価を通して振り返ることができ、看護専門職者として研鑽する基本的姿勢を修得する。

## ● 大学院医学研究科

### ○理念

大学院医学研究科は、医学・医療の発展に自立して寄与することができる研究者及び専門職者を育成するとともに、新しい医学の創造を行うことを目的とします。

### ○教育目標

- 1 医学研究を推し進め新たな医学の創造を目指す研究者を育成する。
- 2 研究の方法論を正しく身につけた専門性の高い臨床医を育成する。
- 3 医学・医療に関連した多彩な分野で活躍できる研究者や高度な専門職として活躍する人材を育成する。

## ● 大学院看護学研究科

### ○理念

福島県立医科大学大学院看護学研究科は、看護の実践・研究・教育の場で活躍できる高度な専門知識、技術、実践能力を有する人材の育成を行い、看護学の創造と発展に貢献することを目的とする。

### ○教育目標

#### 〔博士前期課程〕

- 1 高度な専門知識・技術と卓越した実践能力を持つ看護専門職者を育成する。
- 2 看護援助方法論の開発と研究を担う人材を育成する。
- 3 看護職のキャリア開発プログラムを構築できる人材を育成する。

#### 〔博士後期課程〕

- 1 看護系大学等の教育・研究機関において、複雑多様な人々のニーズに応えるケアやケアシステム開発の方法論を考究し、その体系化と発展に寄与する研究を自立して行い、その研究成果を看護実践に還元できる研究者で、その研究成果や研究指導力を以って質の高い看護学教育を展開できる看護教育・研究者を育成する。
- 2 病院や施設等の看護実践の場で、研究活動を自立して行うとともに、組織における研究活動や看護系大学等教育・研究機関との共同研究を推進し、その成果を看護実践に還元することを牽引できる指導者（看護実践指導者）を育成する。



## 2 沿 革

- 明治4.8.10 白河仮病院開院。
- 〃 4.9. 病院内に医術講議所開設。
- 〃 5.2.27 須賀川に移転し、福島県病院と改称。医術講議所は須賀川医学所に。
- 〃 5.10. 県立須賀川病院と改称。
- 〃 6.4.21 福島県公立須賀川病院と改称。
- 〃 7.2.2 須賀川医学所へ、後に東京市長などを歴任した後藤新平(1857-1929)が入学。
- 〃 8.1. 須賀川医学所は須賀川医学講習所と改称。
- 〃 12.5. 福島県公立須賀川病院の支病院は福島県立福島病院、同須賀川病院、同若松病院、同平病院に独立。
- 〃 12.10.20 須賀川講習所は須賀川医学校と改称。
- 〃 15.1.22 須賀川医学校を福島に移転。福島医学校開校。
- 〃 23.3.31 福島県立福島病院が廃止され、三郡(信夫・伊達・安達)共立福島病院となる。
- 大正14.4.1 三郡共立福島病院は公立福島病院と改称。
- 昭和19.1.10 福島県立女子医学専門学校設立認可。
- 〃 19.4.1 1学年定員120人と決定(4年制)。  
公立福島病院は福島県立女子医学専門学校附属医院となる。
- 〃 22.6.18 医科大学(旧制)設立認可。医科大学予科開設認可。学則制定。1学年定員40人(修業年限3年)。
- 〃 25.3.30 医科大学医学部(旧制)開設認可。1学年定員40人(修業年限4年)。  
本部、基礎医学教室(解剖学、生理学、生化学、薬理学、細菌学)福島市三河北町に置く。  
基礎医学教室(病理学、法医学、衛生学)、臨床医学教室(附属病院)、  
附属中央研究所福島市杉妻町に置く。
- 〃 25.6.18 医科大学開学記念行事挙行。
- 〃 26.3.31 女子医学専門学校廃止。女子医学専門学校附属医院廃止。医科大学予科廃止。
- 〃 26.4.1 旧女子医学専門学校附属医院は、福島県立医科大学附属病院となる。
- 〃 26.10.16 精神科学教室、同病棟を福島市渡利に新築移転。
- 〃 27.2.20 医科大学(新制)設置認可。
- 〃 27.4.1 医科大学(新制)開設認可。1学年定員40人(修業年限4年)。  
県立高等厚生学院が医科大学附属高等厚生学院となる。
- 〃 28.1.28 公衆衛生学教室福島市三河北町に新築。
- 〃 28.6.29 医科大学本部福島市三河北町に新築移転。本部跡に衛生学教室を移転。  
法医学教室、細菌学教室を福島市三河北町に新築移転。
- 〃 29.3.10 附属高等厚生学院を医科大学附属看護学校と改称。
- 〃 30.1.20 医科大学進学課程設置認可。
- 〃 30.4.1 医科大学進学課程開設。1学年定員40人(修業年限2年)。病理学第二教室開設。
- 〃 30.11.1 福島県立飯坂病院が医科大学附属病院飯坂分院となる。
- 〃 33.4.1 解剖学第二講座開設。
- 〃 33.9.30 福島県行政組織規則の改正により教室は講座と改称。
- 〃 34.4.1 生理学第二講座開設。
- 〃 34.5.25 医科大学本部(福島市三河北町)福島市上町に移転。
- 〃 34.10.31 学位審査権認可。
- 〃 35.4.6 R I 研究室設置認可。
- 〃 35.12.2 医科大学本部(福島市上町)福島市舟場町に移転。
- 〃 36.3.24 附属病院改築第7期工事完了(この工事により附属病院の改築は全館完了)。
- 〃 36.3.31 医科大学大学院設置認可。

- 昭和36.4.29 大学院開設並びに附属病院改築工事落成記念式挙行。
- ” 36.5.19 解剖学第一講座(福島市三河北町)福島市舟場町(医科大学本部建物)に移転。
- ” 37.3.22 解剖学第二講座(福島市三河北町)福島市舟場町(医科大学本部建物)に移転。
- ” 37.12.15 基礎医学校舎第1次建築工事完了。
- ” 37.12.20 学生定員増承認(40名を60名に増員)。
- ” 38.8.1 町名改正により、医科大学本部及び基礎校舎の所在地は福島市杉妻町5番75号に、附属病院は杉妻町4番45号に変更。
- ” 41.4.1 麻酔科学講座新設。
- ” 41.10.8 看護婦寄宿舍完成。
- ” 42.4.1 泌尿器科学講座分離新設。
- ” 42.7.31 附属病院特殊放射線棟完成。
- ” 42.10.18 飯坂分院廃止。
- ” 43.4.1 新学則を制定。進学課程は教養課程と名称変更。がん診療部開設。
- ” 44.1.22 大学院学生定員変更協議書受理される。(25人を27人に変更。実施時期昭和44年4月1日)
- ” 44.2.28 校舎(本館)第2次建築工事完了。
- ” 44.9.1 附属リハビリテーション研究所(福島市飯坂町)新設。
- ” 45.8.31 図書館、体育館完成。
- ” 45.10.15 附属中央研究所内に公害医学研究室新設。
- ” 46.1.12 学生定員増承認(60名を80名に増員)。
- ” 46.2.15 学生クラブ棟完成。
- ” 46.3.19 附属看護学校が総合衛生学院内(福島市渡利)に移転。
- ” 46.10.9 創立20周年記念式典挙行。
- ” 46.12.9 武道館完成。
- ” 47.10.25 神経精神科病棟を本院に吸収。渡利神経精神科病棟を解体。
- ” 48.6.15 R I 棟完成。
- ” 57.4.1 脳神経外科学講座新設。
- ” 58.4.1 核医学講座新設。
- ” 58.9.16 大学歌「光の鳥」制定。
- ” 62.4.1 附属研究所内に実験動物研究室新設。
- ” 62.6.1 事務局の病院課を廃止し、施設管理課と医事課を新設。附属中央研究所を附属研究所と改称。附属放射性同位元素研究室を放射線生物学研究室に改称し、附属研究所に編入。附属研究所に実験動物研究室を新設。附属病院に歯科、集中治療部、病理部、輸血部、材料部、病歴部を新設。附属病院中央臨床検査部を検査部に、中央レントゲン部を放射線部に、中央手術部を手術部に改称。附属病院(福島市杉妻町)福島市光が丘に移転。
- ” 63.4.1 医科大学本部(福島市杉妻町)福島市光が丘に移転。
- ” 63.10.29 開学40周年記念式典挙行。
- 平成元.4.1 生化学第二講座新設。病院に神経内科、心臓血管外科新設。生化学講座は生化学第一講座に名称変更。
- ” 5.4.1 病院に救急科を新設。同窓会から同窓会館(光が丘会館)を寄附受領。
- ” 6.4.1 附属研究所を生体情報伝達研究所、放射性同位元素研究施設及び実験動物研究施設に再編整備。
- ” 6.6.11 創立50周年記念祝賀会開催。
- ” 7.4.1 神経内科学講座、心臓血管外科学講座、臨床検査医学講座を新設。病院に新生児集中治療部を新設。
- ” 8.3.31 核医学講座廃止。
- ” 8.4.1 放射線科学講座を放射線医学講座と改称。
- ” 9.3.31 がん診療部廃止。
- ” 9.9.6 開学50周年記念式典挙行。
- ” 9.12.19 看護学部設置認可。
- ” 10.4.1 看護学部開設。1学年定員80人、3年次編入学定員10人(修業年限4年)。

- 平成10.4.1 学則を改正。医学部の基礎医学は生命科学・社会医学系に、臨床医学は臨床医学系に、教養は総合科学系に名称変更。  
 附属図書館・附属展示館は大学附属施設、附属病院・附属生体情報伝達研究所・附属放射性同位元素研究施設・附属実験動物研究施設・附属リハビリテーション研究所・附属看護学校は医学部附属施設となる。  
 細菌学講座を微生物学講座と改称。  
 病院の歯科は歯科口腔外科に、輸血部は輸血・移植免疫部に改称。
- // 10.8.1 病院に形成外科を新設。
- // 11.4.1 病院に呼吸器科を新設。医学部附属生体情報伝達研究所に生体機能研究部門を新設。
- // 11.10.30 医学部附属看護学校50周年記念式典挙行。
- // 13.3.31 医学部附属看護学校廃止。
- // 13.12.20 大学院看護学研究科設置認可。
- // 14.4.1 大学院看護学研究科開設(入学定員15人、収容定員30人、修業年限2年)。  
 病院に総合周産期母子医療センターを新設(新生児集中治療部を廃止)。
- // 15.4.1 病院に安全管理部を新設。  
 F・F型行政組織の導入により事務局を再編。総務課・会計課・施設管理課・医事課を廃止し、総務領域(総務企画グループ・予算経理グループ・施設管理グループ)と病院領域(管理グループ・経営企画グループ・医事グループ)を新設。
- // 16.4.1 大学院医学研究科を再編整備(5研究課程を4専攻に再編。入学定員を27名から37名に増員)。
- // 16.6.26 創立60周年記念祝賀会開催。
- // 17.4.1 解剖学第一講座を神経解剖・発生学講座と、解剖学第二講座を解剖・組織学講座と、生化学第一講座を生化学講座と、生化学第二講座を免疫学講座と改称。呼吸器科学講座、形成外科学講座を新設。  
 病院に総合診療・地域医療部、内視鏡診療部、医療情報部を新設。病歴部を廃止。
- // 18.4.1 福島県が公立大学法人福島県立医科大学を設立。  
 公立大学法人福島県立医科大学は福島県立医科大学を設置。  
 法人に役員会を設置。法人の審議機関として、経営審議会を法人に、教育研究審議会を大学に設置。  
 担当役員を責任者とする企画室、評価室、知的財産管理活用オフィス、危機管理室を設置。  
 監事を補助する監査室を設置。  
 看護学部の領域を廃止し、7部門に再編(総合科学部門、生命科学部門、基礎看護学部門、生態看護学部門、家族看護学部門、ケアシステム開発部門、応用看護学部門)。  
 事務局の総務領域、病院領域を廃止し、総務グループ、財務管理グループ、企画グループを新設。  
 事務局の附属施設として、大学健康管理センターを新設。  
 学生部、学生課を廃止し、学務部、学務グループを新設。医学部附属病院が大学附属病院となる。  
 病院に患者サービス・病院機能改善担当(看護部長兼務)の副病院長職を新設。  
 病院に治験センター、事務部を新設。事務部に病院経営グループ、医事グループを新設。  
 附属図書館、附属展示館を再編し、附属学術情報センターとなる。  
 附属学術情報センターに、学術情報グループを新設。
- // 18.5.1 病院の総合診療・地域医療部を地域・家庭医療部と改称。
- // 18.10.1 大学院医学研究科に地域医療・加齢医科学専攻長、機能制御医科学専攻長、神経医科学専攻長、分子病態医科学専攻長を設置。  
 病院の神経精神科を心身医療科と、麻酔科を麻酔・疼痛緩和科と改称。
- // 19.2.1 病院に中央部門機能強化担当の副病院長職を新設。
- // 19.4.1 生理学第一講座を細胞統合生理学講座と、生理学第二講座を神経生理学講座と、衛生学講座を衛生学・予防医学講座と、呼吸器科学講座を呼吸器内科学講座と改称。  
 病院にリハビリテーションセンター、救命救急センター、臨床腫瘍センター、医療支援部を新設。安全管理部を医療安全管理部と、呼吸器科を呼吸器内科と改称。
- // 20.1.1 臨床検査医学講座を感染制御・臨床検査医学講座と改称。
- // 20.1.28 附属病院4階東病棟に整備した救命救急センター運用開始。  
 ドクターヘリ運航開始。

- 平成20.4.1 一部事務職を除き職員全員が法人職員となり、完全法人化する。  
法人組織にトランスレーショナルリサーチ(TR)センターを新設。  
医学部学生入学定員増(80名を95名に増員)。  
大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)開設(入学定員10人、修業年限2年)。  
医学部に副医学部長職を新設。医学部人文社会科学講座と外国語講座を人間科学講座に再編。数学講座、化学講座、生物学講座、物理学講座を自然科学講座に再編。  
総合科学教育研究センターを新設し、人文社会科学系領域と自然科学系領域を設置。  
事務局総務グループ、財務管理グループ、企画グループ及び学務部学務グループを再編し、事務局総務課、企画財務課、学生課を設置。学術情報グループは学術情報室として学生課の課内室となる。  
学務部を学生部と改称、副学務部長職を廃止し、医学学生部長と看護学学生部長職を新設。  
医療人育成・支援センターを新設し、医学教育部門と臨床医学教育研修部門を設置。  
附属病院に性差医療センター、診療支援部、感染制御部を新設。  
附属病院診療科の第一内科を循環器内科、血液内科に、第二内科を消化器内科、リウマチ・膠原病内科に、第三内科を腎臓・高血圧内科、糖尿病・内分泌代謝内科に、第一外科及び第二外科を呼吸器外科、消化器・一般外科、乳腺・内分泌・甲状腺外科、小児外科、低侵襲・最先端外科に、産科婦人科を産科及び婦人科にそれぞれ再編。  
附属病院診療科の泌尿器科を泌尿器科・副腎内分泌外科と、耳鼻咽喉科を耳鼻咽喉科・頭頸部外科と改称。  
中央部門を中央診療施設と、医療支援部を臨床工学センターと改称。  
病院事務部病院経営グループ、医事グループを再編し病院経営課、医事課を設置。病院経営課の課内室として医療連携・相談室を新設。
- 〃 20.6.22 光が丘キャンパス移転20周年、看護学部設置10周年。  
完全法人化記念事業「アニバーサリー2008」記念式典挙行。
- 〃 20.11.2 本学イメージマーク制定。「福島県立医科大学ビジョン2008」制定。学生歌「ラララ光の丘」制定。
- 〃 21.4.1 医学部学生定員増(95名を100名に増員)。大学院医学研究科を再編(4専攻を医学専攻に再編)。  
大学院医学研究科に医学専攻長を設置。  
医学部の内科系講座、外科系講座に内科学部門長、外科学部門長を新設。  
内科学第一講座は循環器・血液内科学講座に、内科学第二講座は消化器・リウマチ膠原病内科学講座に、内科学第三講座は腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座に、外科学第一講座は臓器再生外科学講座に、外科学第二講座は器官制御外科学講座に改称。  
病理学第一講座は病理病態診断学講座に、病理学第二講座は基礎病理学講座に改称。  
附属病院に地域連携部を新設。附属病院診療科に病理診断科を新設。  
低侵襲最先端外科を低侵襲・先端治療科に改称。  
病院経営課の課内室である医療連携・相談室を、医事課の課内室に改編。
- 〃 21.11.11 医学部学生定員の変更届出(1学年定員105名)。
- 〃 21.12.3 医学部学生定員増承認(100名を105名に増員)。
- 〃 22.4.1 医学部学生定員増(100名を105名に増員)。理事を4名から5名に増員。会津医療センター準備室を新設。  
医学部に救急医療学講座、輸血・移植免疫学講座、地域・家庭医療学講座を新設。  
看護学部に副看護学部長職を新設。  
事務局企画財務課の課内室として、ふくしま医療一産業リエゾン推進室を新設。  
附属病院事務部長が事務局次長(業務担当)を兼務、附属病院事務部全体が事務局兼務。  
医療人育成・支援センター内に女性医師支援センターを設置。
- 〃 22.9.1 役員の所掌業務の追加に伴い、役員(会津医療センター担当)を役員(地域医療担当)に改称。
- 〃 22.10.1 附属病院診療科の再編により、消化器・一般外科及び低侵襲・先端治療科を廃止し、消化管外科及び肝胆膵・移植外科を新設。
- 〃 23.2.1 法人組織に産学官共同研究センターを新設。
- 〃 23.4.1 法人組織に研究推進戦略室を新設。医学部学生定数増(105名を110名に増員)。  
先端医療研究推進・支援センターを新設し、基盤研究支援部門と臨床研究推進・支援部門を設置。  
看護学部の生態看護学部門、家族看護学部門、ケアシステム開発部門、応用看護学部門を、療養支援看護学部門、家族看護学部門、地域・在宅看護学部門、母性看護学・助産学部門に再編。



- 平成23.4.1 事務局に研究推進課を新設。  
 企画財務課の課内室であるふくしま医療－産業リエゾン推進室を、研究推進課の課室に改編。  
 附属病院の中央診療施設に人工透析センター、栄養管理部を新設。  
 治験センターの次長を2名から3名に増員し、総務担当次長1名、業務担当次長2名とした。
- 〃 23.5.10 事務局の附属施設として、病児・病後児保育所を新設。
- 〃 23.6.1 東日本大震災及び原発事故後の県民の健康管理対応のため、副学長を複数制にし、副学長(業務担当)を新設。
- 〃 23.7.1 医学部の附属施設として医療制度研究センターを新設。
- 〃 23.9.1 法人組織に放射線医学県民健康管理実施本部を新設。大学組織に放射線医学県民健康管理センターを新設。  
 放射線医学県民健康管理センターに情報管理部門、疫学部門、臨床部門を新設。
- 〃 23.10.1 医学部の生命科学・社会医学系に放射線生命科学講座、臨床医学系に放射線健康管理学講座を新設。  
 大学院医学研究科医学専攻(博士課程)10月入学開始。
- 〃 24.2.1 医療人育成・支援センター内に災害医療総合学習センターを設置。
- 〃 24.3.30 附属病院の救命救急センターを高度救命救急センターとして指定。
- 〃 24.4.1 役員の所掌業務の追加に伴い、役員(教育研究担当)を役員(教育研究・県民健康管理担当)に、役員(地域医療担当)を役員(復興・地域医療担当)に改称。  
 法人組織に地域医療支援本部、広報戦略室、復興事業推進本部を新設。  
 知的財産管理活用オフィスを知的財産管理オフィスに改称し、知財部門と外部資金部門を新設。  
 トランスレーショナルリサーチセンターと産学官共同研究センターを統合し、産学官連携推進本部を新設し、リエゾン支援拠点部門と創薬関連トランスレーショナルリサーチ部門と医産連携部門を新設。  
 研究推進戦略室に研究基盤部門と臨床研究・治験部門を新設。  
 放射線医学県民健康管理センターに広報部門と国際連携部門を新設。  
 医学部の附属リハビリテーション研究所と先端医療研修推進・支援センターを廃止。  
 事務局に復興事業推進室と健康調査課を新設。  
 事務局を一本化し、附属病院には運営・管理部を置き、事務局次長(業務担当)、病院経営課、医事課、医療連携・相談室が兼務。  
 医学部学生定員増(110名を125名に増員)。看護学部学生定員増(80名を84名に増員)。  
 附属病院の副院長を4名から6名に増員。専門看護技師(専門助産技師)を副看護師長(副助産師長)へ職名変更。
- 〃 24.6.1 「感染制御・臨床検査医学講座」を「感染制御医学講座」に変更。  
 附属病院の内部組織として「放射線災害医療センター」を新設。  
 会津医療センター準備室に「準備副室長」を新設。  
 放射線医学県民健康管理センター臨床部門を、甲状腺検査部門、健康診査部門、ころの健康度・生活習慣調査部門、妊産婦調査部門に再編するとともに、基本調査部門を新設。  
 市内栄町に放射線医学県民健康管理センター栄町オフィスを開設。
- 〃 24.7.31 第6号館完成。
- 〃 24.11.20 大学組織に「ふくしま国際医療科学センター」を新設。  
 復興事業推進本部を廃止し、ふくしま国際医療科学センター整備運営本部を設置。  
 ふくしま国際医療科学センターの下部組織に「放射線医学県民健康管理センター」を置き、「先端臨床研究センター」、「医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター」を新設。  
 医療－産業トランスレーショナルリサーチセンターの中に「臨床リソース・データ基盤分野」、「ゲノム解析分野」、「遺伝子発現解析分野」、「プロテオーム解析分野」、「トランスクリプトーム解析分野」、「遺伝子機能解析分野」、「ケミカルバイオロジー分野」、「インフォマティクス分野」、「動物実験分野」及び「臨床研究・治験分野」を新設。
- 〃 25.3.1 「副理事」を新設。「臨床検査医学講座」及び「甲状腺内分泌学講座」を新設。
- 〃 25.4.1 医学部学生定員増(125名を130名に増員)。復興事業推進室を「復興事業推進課」へ拡充。  
 ふくしま医療－産業リエゾン推進室を「医療－産業連携推進室」へ改編。  
 「臨床研究イノベーションセンター」を新設。  
 附属病院 乳腺・内分泌・甲状腺外科を乳腺外科及び甲状腺・内分泌外科へ改称。



- 平成25.4.1 放射線医学県民健康管理センター広報部門を広報コミュニケーション部門に変更するとともに、線量評価部門を新設。  
事務局に復興担当の事務局次長職を新設。
- 〃 25.5.1 理事を増員し、「復興担当」、「県民健康管理担当」、「教育研究・人材開発担当」、「経営・渉外担当」、「医療・臨床教育担当」、「企画・地域医療担当」、「管理運営担当」に改編。
- 〃 25.5.12 「会津医療センター準備室」を廃止し「会津医療センター」を設置。
- 〃 25.7.1 医学部の「神経生理学講座」を「システム神経科学講座」に改編。  
放射線医学県民健康管理センターに「事業管理部門」を新設。
- 〃 25.8.1 医学部に「疫学講座」及び「放射線物理化学講座」を新設。
- 〃 25.10.1 医学部に「災害こころの医学講座」を新設。  
放射線医学県民健康管理センターの「基本調査部門」と「線量評価部門」を「基本調査・線量評価部門」に改編。「こころの健康度・生活習慣支援部門」を新設。
- 〃 25.12.1 附属病院の「医療情報部」の内部組織として「第三次システム開発室」を新設。
- 〃 25.12.3 附属病院に「甲状腺センター」を新設。
- 〃 26.4.1 大学に「総括副学長」を新設。また、副学長を「総務担当」、「学務担当」、「臨床教育担当」、「企画・地域医療担当」へ改称。  
「法人経営室」を事務局より法人組織へ改編。法人組織の「企画室」と「広報戦略室」を「企画広報戦略本部」へ改編し、大学に「広報コミュニケーション室」を新設。  
法人組織として「男女共同参画推進本部」を、大学に「男女共同参画支援室」を新設。  
大学に「地域医療支援センター」を新設。  
大学の附属施設として「附属死因究明センター」を新設。  
医療人育成・支援センターに「看護学教育研修部門」を新設。  
「災害医療総合学習センター」を内部組織に改編。「学術情報室」を総務課の課内室へ改編。  
健康調査課の課内室として「甲状腺検査室」を新設。  
「学生課」に研修支援係を加えて、「教育研修支援課」に改編。  
附属病院の副院長を6名から7名に増員。附属病院の診療科に「小児腫瘍内科」を新設。  
放射線医学県民健康管理センターの11部門を「甲状腺検査部門」、「国際連携・コミュニケーション部門」、「健康調査部門」、「疫学・統計部門」の4部門に改編。  
先端臨床研究センターに「分子イメージング部門」、「臨床研究・治験部門」及び「環境動態調査部門」を新設。
- 〃 26.7.1 附属病院の診療科に「漢方内科」、「リハビリテーション科」を新設。
- 〃 26.8.1 医学部に「放射線腫瘍学講座」を新設。附属病院の診療科に「放射線治療科」を新設。
- 〃 26.9.1 医学部に「腫瘍内科学講座」を新設。附属病院の診療科に「腫瘍内科」を新設。
- 〃 26.10.1 医学部に「放射線災害医療学講座」を新設。
- 〃 27.1.1 医学部に「健康リスクコミュニケーション学講座」を新設。
- 〃 27.4.1 ふくしま国際医療科学センターに「総括副センター長」を新設。  
放射線医学県民健康管理センターの部門を「甲状腺検査部門」、「健康調査部門」、「健康調査支援部門」の3部門に改編。  
総合科学教育研究センターの領域名称変更に伴い、医学部人間科学講座「人文社会科学」を「生命倫理学分野」に、同講座「外国語」及び看護学部総合科学部門「外国語」を「言語学分野」に、医学部自然科学講座「数学」を「数理情報学分野」に、同講座「化学」を「先端化学分野」に、同講座「生物学」を「分子細胞生物学分野」に、同講座「物理学」を「数理物質科学分野」に、看護学部総合科学部門「社会学」を「行動科学分野」に名称変更。  
附属病院の中央診療施設に「臨床研究教育推進部」を新設。会津医療センターに「麻酔科学講座」を新設。
- 〃 27.8.26 附属病院が「高度被ばく医療支援センター」、「原子力災害医療・総合支援センター」に指定。
- 〃 27.10.1 先端臨床研究センターに「分子治療学部門」を新設し、「分子イメージング部門」を「分子画像学部門」に名称変更。
- 〃 27.11.1 附属病院に「災害医療部」を新設。「災害医療部」の内部組織として「基幹災害医療センター」、「原子力災害医療・総合支援センター」、「高度被ばく医療支援センター」、「二次被ばく医療室」を新設。
- 〃 28.1.29 「先端臨床研究センター棟」、「環境動態解析センター棟」完成。

- 平成28.3.1 附属病院の中央診療施設に「痛み緩和医療センター」を新設。
- // 28.3.22 「学生寮」完成。
- // 28.4.1 理事を復興担当、県民健康管理担当、研究・地域医療担当、教育担当、医療・臨床教育担当、経営・渉外担当、企画・管理運営担当に再編。  
法人組織の「研究推進戦略室」を「医療研究推進本部」へ名称変更。  
大学に「国際交流室」、「ふくしま子ども・女性医療支援センター」及び「医療研究推進センター」を新設、学生部を医療人育成・支援センターの内部組織として統合。  
医学部に「リハビリテーション医学講座」を新設し、「循環器・血液内科学講座」を「循環器内科学講座」及び「血液内科学講座」に再編。  
大学院医学研究科に「災害・被ばく医療科学共同専攻」を新設。  
附属病院の副病院長を7名から5名に減員。  
附属病院の診療科に「甲状腺・内分泌内科」を新設。中央診療施設に「甲状腺・内分泌診療センター」「人工関節センター」を新設。  
内部組織として「ふたば救急総合医療支援センター」を新設。  
「災害医療部」の内部組織として「事務部」を新設。  
「治験センター」を「臨床研究センター」に名称変更。  
ふくしま国際医療科学センターに「甲状腺・内分泌センター」及び「健康増進センター」を新設。  
事務局教育研修支援課の課内室として「新医療系学部設置準備室」を新設。  
「研究推進課」を「医療研究推進課」に名称変更。
- // 28.5.1 附属病院の中央診療施設に「遺伝診療部」を新設。
- // 28.6.30 「災害医学・医療産業棟」完成。
- // 28.7.1 医学部の「腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座」を「腎臓高血圧内科学講座」及び「糖尿病内分泌代謝内科学講座」に再編。
- // 28.8.1 医学部の「消化器・リウマチ膠原病内科学講座」を「消化器内科学講座」及び「リウマチ膠原病内科学講座」に再編。
- // 28.10.1 附属病院に「総合内科」を新設。
- // 28.10.28 「ふくしま いのちと未来のメディカルセンター棟」完成。
- // 28.11.1 医学部「臓器再生外科学講座」(旧外科学第一講座)及び「器官制御外科学講座」(旧外科学第二講座)を、「消化管外科学講座」「肝胆膵・移植外科学講座」「呼吸器外科学講座」「乳腺外科学講座」に再編。  
附属病院に「核医学科」を新設。
- // 28.12.1 放射線医学県民健康管理センター栄町オフィスを閉所し、事務所を光が丘へ移転。
- // 28.12.11 ふくしま国際医療科学センター開設記念式典挙行。
- // 29.12.1 附属病院に「こども医療センター」を新設。
- // 29.3.31 附属病院「第三次システム開発室」を廃止。
- // 29.4.1 大学に「看護師特定行為研修センター」を新設。  
法人組織の「医療研究推進本部」、「産学官連携推進本部」及び「知的財産管理活用オフィス」を統合して「医療研究推進戦略本部」を設置。  
「復興事業推進課」を「復興推進課」に名称変更。  
附属病院に「脳疾患センター」、「移植医療部」を新設。「地域連携部」を「患者サポートセンター」に名称変更。  
会津医療センター「糖尿病・代謝・腎臓内科学講座」を「糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座」に名称変更。会津医療センター附属病院に「研修教育センター」を新設。
- // 29.7.21 「手術室棟」完成。
- // 30.4.1 法人組織に「新医療系学部設置推進本部」を新設。放射線医学県民健康管理センターの「健康調査部門」を「健康調査基本部門」と「健康調査県民支援部門」に改編。  
医学部「医療制度研究センター」を廃止。「薬理学講座」を「病態制御薬理医学講座」へ名称変更。  
附属病院に「心臓血管センター」を新設。  
先端臨床研究センターの「分子画像学部門」、「分子治療学部門」を廃止し、「製造・合成部門」、「非臨床試験部門」、「PET検査部門」を新設。

- 平成30.10.29 多目的医療用ヘリの運用開始。
- // 30.12.1 理事(経営担当)を理事(経営・内部統制担当)へ改称。
- // 30.12.1 附属病院に「小児・AYAがん長期支援センター」及び「がんゲノム医療診療部」を新設。
- // 31.4.1 理事(復興担当)を理事(復興・国際担当)へ改称。  
 医学部に「附属教育評価室」を新設。「神経内科学講座」を「脳神経内科学講座」へ名称変更。  
 附属病院に「臨床研究管理部」、「生殖医療センター」を新設。「神経内科」を「脳神経内科」に名称変更。  
 事務局教育研修支援課の課内室として「助産師養成課程設置準備室」を新設。  
 事務局医事課の課内室として「経営企画室」を新設、「病院経営課」を「病院管理課」に名称変更。
- 令和元.6.1 法人組織に「国際連携戦略本部」を新設。
- // 元.7.1 大学組織「国際交流室」を廃し、「国際交流センター」を新設。
- // 2.4.1 理事(県民健康管理担当)を理事(県民健康・新学部担当)へ、理事(地域医療・新学部担当)を理事(地域医療担当)へ改称。  
 医学部「感染制御医学講座」を「感染制御学講座」へ名称変更。  
 看護学部を総合科学部門、生命科学部門、基礎看護学部門、母性看護・助産学部門(旧 母性看護学・助産学部門)、小児・精神看護学部門(旧 家族看護学部門)、成人・老年看護学部門(旧 療養支援看護学部門)、地域・公衆衛生看護学部門(旧 地域・在宅看護学部門)の7部門に再編。  
 学生部について医療人育成・支援センターの内部組織から大学組織へ改編。  
 医療人育成・支援センター内に「医療手技教育研修開発センター」を新設。  
 附属病院に「病院経営戦略部」、「臨床医学教育研修センター」を新設。
- // 2.10.23 保健科学部設置認可。
- // 3.4.1 理事(県民健康・新学部担当)を「理事(県民健康・保健科学部担当)」へ改称。  
 「保健科学部」を開設。1学年定員145人(理学療法学科40人、作業療法学科40人、診療放射線科学科25人、臨床検査学科40人)(修業年限4年)。  
 法人組織新医療系学部設置推進本部及び事務局教育研修支援課の課内室新医療系学部設置準備室を廃止。  
 学生部に「保健科学学生部長」を新設。  
 医療人育成・支援センターに「保健科学教育研修部門」を新設。  
 医学部に「総合診療医センター」を新設。  
 放射線医学県民健康管理センター健康調査支援部門広報推進室及び国際連携室を「広報・国際連携室」に改編。  
 事務局に「保健科学部事務室」を新設。教育研修支援課に「学生総務係」を新設。  
 会津医療センター診療部神経内科を「脳神経内科」に名称変更。  
 附属学術情報センター図書館に保健科学部分室を新設。  
 先端臨床研究センターの「製造・合成部門」と「非臨床試験部門」を統合し、「基盤研究部門」に名称変更、「受託研究部門」を新設。
- // 4.4.1 法人組織男女共同参画推進本部を「ダイバーシティ推進本部」に改称。  
 法人組織「国際教育研究拠点準備本部」を設置。  
 理事(県民健康・保健科学部担当)を「理事(県民健康担当)」に改称。  
 大学院看護学研究科看護学専攻の「修士課程」を「博士前期課程」に名称変更、「博士後期課程」を開設(入学定員2名、修業年限3年)。  
 男女共同参画支援室を「ダイバーシティ推進室」に改称。  
 事務局保健科学部事務室教務・入試係を「教務係」「入試・企画係」に改編。  
 附属病院中央診療施設に「先端的低侵襲手術センター」及び「呼吸器センター」を新設。

※創立は昭和19年が起点、開学は昭和22年が起点。

### 3 歴代理事長、部局長等

(令和4年6月1日現在)

#### ○ 理事長

平成18.4.1	～	20.3.31	高	地	英	夫
" 20.4.1	～	29.3.31	菊	地	臣	一
" 29.4.1	～		竹	之	誠	一

#### ○ 副理事長

平成18.4.1	～	20.3.31	菊	地	臣	一
" 20.4.1	～	22.3.31	丹	羽	真	一
" 22.4.1	～	26.4.30	竹	之	誠	一
" 26.5.1	～	28.3.31	大	戸	攻	一
" 28.4.1	～	31.3.31	谷	川	章	一
" 31.4.1	～	令和3.3.31	齋	藤		清
令和3.4.1	～		挾	間		博

#### ○ 学長 (昭和22.6.17までは学校長)

昭和19.4.1	～	20.12.14 (事務取扱)	八	木	精	一
" 20.12.15	～	22.2.28	八	木	精	一
" 22.2.9	～	25.3.31	池	田	龍	一
" 25.4.1	～	36.4.30	大	里	俊	吾 (初代)
" 36.5.1	～	42.4.30	武	藤	完	雄 (第2代、第3代)
" 42.5.1	～	43.4.30	勝	又		正 (第4代)
" 43.5.1	～	44.6.12 (心得)	藤	原	留	造
" 44.6.13	～	44.7.31 ( " )	辻		義	人
" 44.8.1	～	45.11.1 ( " )	楠		信	男
" 45.11.2	～	51.11.1	楠		信	男 (第5代、第6代)
" 51.11.2	～	55.11.1	辻		義	人 (第7代)
" 55.11.2	～	61.11.1	松	川		明 (第8代、第9代)
" 61.11.2	～	平成4.11.1	伊	藤		司 (第10代、第11代)
平成4.11.1	～	8.11.1	若	狭	治	毅 (第12代)
" 8.11.2	～	12.11.1	元	木	良	一 (第13代)
" 12.11.2	～	16.11.1	茂	田	士	郎 (第14代)
" 16.11.2	～	20.3.31	高	地	英	夫 (第15代)
" 20.4.1	～	29.3.31	菊	地	臣	一 (第16代、第17代、第18代)
" 29.4.1	～		竹	之	誠	一 (第19代、第20代)

#### ○ 副学長

平成16.5.1	～	16.11.30	丸	山	幸	夫
" 16.12.1	～	18.3.31	鈴	木	仁	三
" 18.4.1	～	22.3.31	藤	田	禎	文
" 22.4.1	～	23.7.14	阿	部	正	文 (総務担当)
" 23.7.15	～	26.3.31	阿	部	正	一 (業務担当)
" 23.7.15	～	30.3.31	山	下	俊	二 ( " )
" 23.7.15	～		神	谷	研	一 ( " )
" 24.10.1	～	27.10.31	福	原	俊	一 ( " )
" 25.5.1	～	26.3.31	大	戸		斉 ( " )
" 26.4.1	～	28.3.31	棟	方		充 ( " )
			大	戸		斉 (総務担当)
			紺	野	慎	一 (臨床教育担当)
			福	島	哲	仁 (学務担当)
			八	木	洋	行 (企画・地域医療担当)
			谷	沼	攻	一 (業務担当)
" 26.4.1	～	28.11.1	阿	川	正	文 (総括副学長)
" 27.7.1	～		吉	村	泰	典 (業務担当)

平成27.11.1	～	福大	原平	俊弘	一(医師確保・健康長寿担当)
" 28.4.1	～ 30.3.31	齋橋	藤本	正(総務担当)	
" 28.4.1	～ 31.3.31	宇安	川村	清(臨床教育担当)	
" 28.4.1	～ 29.3.31	紺大	野戸	弘(学務担当)	
" 29.4.1	～ 令和 2.3.31	八木	沼谷	一(研究・地域医療担当)	
" 29.4.1	～	錫山	下木	司(学務担当)	
" 30.4.1	～ 令和 2.3.31	鈴安	村谷	一(地域医療担当)	
" 30.4.1	～	錫竹	石石	斉(総括副学長)	
" 31.4.1	～ 令和 4.3.31	竹竹	石石	行(県民健康担当)	
令和 2.4.1	～	竹鈴	木野	夫(特命担当)	
令和 2.4.1	～ 令和 4.3.31	河錫	谷	一(国際担当)	
				行(臨床教育担当)	
				司(県民健康担当)	
				夫(学務担当)	
				知(地域医療担当)	
				知(臨床教育担当)	
				行(学務担当)	
				二(地域医療担当)	
				夫(医産連携担当)	

### ○ 医学部長

平成10.4.1	～ 12.3.31	茂高	田地	士英	郎
" 12.4.1	～ 16.3.31	菊阿	地部	臣正	夫一
" 16.4.1	～ 18.3.31	大錫	戸谷		文
" 18.4.1	～ 22.3.31	竹藤	石森	達	文
" 22.4.1	～ 26.3.31			恭	夫
" 26.4.1	～ 30.3.31			敬	知
" 30.4.1	～ 令和 4.3.31				也
令和 4.4.1	～				

### ○ 看護学部長

平成10.4.1	～ 22.3.31	中鈴	山木	洋順	子
" 22.4.1	～ 26.3.31	真真	壁山	玲と	造
" 26.4.1	～ 28.3.31	嶋太	山田	も	子
" 28.4.1	～ 30.3.31	坂	本	祐	操
" 30.4.1	～ 令和 2.3.31				子
令和 2.4.1	～				

### ○ 保健科学部長

令和 3.4.1	～	矢吹	省	司	
----------	---	----	---	---	--

### ○ 医学研究科長

平成11.4.1	～ 12.3.31	茂高	田地	士英	郎
" 12.4.1	～ 16.3.31	菊阿	地部	臣正	夫一
" 16.4.1	～ 18.3.31	和挾	田間	郁章	文
" 18.4.1	～ 22.3.31	橋竹	本石	康恭	夫
" 22.4.1	～ 24.3.31	小藤	林森	和敬	博
" 24.4.1	～ 26.3.31	鈴	木	弘	弘
" 26.4.1	～ 28.3.31				知
" 28.4.1	～ 30.3.31				人
" 30.4.1	～ 令和 2.3.31				也
" 30.4.1	～ 令和 4.3.31				行
令和 2.4.1	～				
令和 4.4.1	～				

### ○ 看護学研究科長

平成14.4.1	～ 16.3.31	中荒	山川	洋唱	子
" 16.4.1	～ 18.3.31	真	壁	玲	子
" 18.4.1	～ 20.3.31				子

平成20.4.1	～	24.3.31	横	田	素	美	美
〃 24.4.1	～	26.3.31	結	城	美	智	子
〃 26.4.1	～	28.3.31	真	壁	玲	も	子
〃 28.4.1	～	28.4.30	阜	山	と		子
〃 28.5.1	～	30.3.31	後	藤	あ		や
〃 30.4.1	～	令和 2.3.31	坂	本	祐		子
令和 2.4.1	～		高	橋	香		子

○ 学生部長 (昭和37.9.30までは学生課長、平成18.4.1から平成20.3.31までは学務部長)

昭和26.4.1	～	29.3.31	福	山	右	門
〃 29.4.1	～	32.3.31	山	本	寛	一
〃 32.4.1	～	34.3.31	鈴	木	武	彦
〃 34.4.1	～	36.7.31	横	山	正	松
〃 36.8.1	～	38.11.30	辻		義	人
〃 38.12.1	～	40.9.30	中	村	逸	雄
〃 40.10.1	～	42.10.10	藤	原	留	造
〃 42.10.11	～	45.6.30	鶴	見	膠	一
〃 45.7.1	～	47.6.30	黒	田		直
〃 47.7.1	～	49.8.31	塚	原		進
〃 49.9.1	～	49.10.31(事務取扱)	楠		信	男
〃 49.11.1	～	51.10.31	星	島	啓	郎
〃 51.11.1	～	53.10.31	小	島		瑞
〃 53.11.1	～	56.4.30	大	崎	丈	夫
〃 56.5.1	～	58.4.30	中	村	久	也
〃 58.5.1	～	61.11.1	伊	藤		司
〃 61.11.2	～	平成 元.4.30	茂	田	士	郎
平成 元.5.1	～	4.11.12	若	狭	治	毅
〃 4.11.13	～	7.4.30	福	島	匡	昭
〃 7.5.1	～	9.4.30	高	地	英	夫
〃 9.5.1	～	11.4.30	清	水		強
〃 11.5.1	～	13.4.30	菅	井	尚	則
〃 13.5.1	～	15.4.30	平	岩	幸	一
〃 15.5.1	～	17.4.30	藤	田	禎	三
〃 17.5.1	～	18.3.31	阿	部	正	文
〃 18.4.1	～	22.3.31	藤	田	禎	三
〃 22.4.1	～	24.3.31	阿	部	正	文
〃 24.4.1	～	26.3.31	錫	谷	達	夫
〃 26.4.1	～	28.3.31	岡	田	達	也
〃 28.4.1	～	令和 4.3.31	松	岡	有	樹
令和 4.4.1	～		亀	岡	弥	生

○ 附属病院長 (平成10.4.1から平成18.3.31までは医学部附属病院長)

昭和19.4.1	～	26.5.27	池	田	龍	一
〃 26.5.28	～	29.6.19	丸	井	琢	郎
〃 27.6.20	～	29.7.28	若	林	次	一
〃 29.7.29	～	31.5.14	九	嶋	俊	司
〃 31.5.15	～	34.4.30	楠		勝	男
〃 34.5.1	～	36.4.30	梶	浦	信	男
〃 36.5.1	～	38.4.30	栗	野	睦	武
〃 38.5.1	～	40.4.30	貴	家	佐	而
〃 40.5.1	～	42.4.30	大	原	寛	明
〃 42.5.1	～	44.4.30	松	川	徳	明
〃 44.5.1	～	44.7.31	楠			男
昭和 44.8.1	～	46.4.30	遠	藤	信	郎
〃 46.5.1	～	48.4.30	飯	島	辰	進
〃 48.5.1	～	50.4.30	大	内		仁
〃 50.5.1	～	52.4.30	本	多	憲	児
〃 52.5.1	～	54.3.31	吉	田	赳	夫
〃 54.5.1	～	56.4.30	奥	秋		晟



昭和 56.5.1	～	59.4.30	大白	内		仁
" 59.5.1	～	63.4.30	熊	岩	康	夫
" 63.5.1	～	平成2.4.30	白	代		永
平成 2.5.1	～	4.4.30	阿	部	康	夫
" 4.5.1	～	8.4.30	加	藤	力	哉
" 8.5.1	～	10.4.30	大	谷	桂	郎
" 10.5.1	～	12.4.30	鈴	木		巖
" 12.5.1	～	14.4.30	丸	山	幸	仁
" 14.5.1	～	16.4.30	丹	羽	真	夫
平成 16.5.1	～	18.3.31	菊	地	臣	一
" 18.4.1	～	20.3.31	竹	下	誠	一
" 20.4.1	～	22.3.31	村	川	雅	一
" 22.4.1	～	24.3.31	棟	方		洋
" 24.4.1	～	26.3.31	紺	野	慎	充
" 26.4.1	～	28.3.31	齋	藤		一
" 28.4.1	～	31.3.31	鈴	木	弘	清
" 31.4.1	～	令和4.3.31	竹	石	恭	行
令和 4.4.1	～					知

○ 総合科学教育研究センター長

平成 20.4.1	～	22.3.31	藤	田	禎	三
" 22.4.1	～	24.3.31	安	村	誠	司
" 24.4.1	～	26.3.31	錫	谷	達	夫
" 26.4.1	～	28.3.31	和	栗		聡
" 28.4.1	～	令和4.3.31	永	福	智	志
令和 4.4.1	～		松	岡	有	樹

○ 医療人育成・支援センター長

平成 20.4.1	～	22.3.31	藤	田	禎	三
" 22.4.1	～	26.3.31	福	島	哲	仁
" 26.4.1	～	27.9.30	大	森	孝	一
" 27.10.1	～	28.3.31	大	津		晶
" 28.4.1	～	29.1.31	橋	留	康	弘
" 29.2.1	～		大	本	晃	司
				谷		

○ 附属学術情報センター長 (平成18.3.31からまでは附属図書館長)

昭和 25.4.1	～	26.9.5	宮	路	重	嗣
" 26.10.19	～	30.4.30	穴	戸	仙	郎
" 30.5.1	～	32.4.30	横	山	正	松
" 32.5.1	～	35.11.30	北	村	四	郎
" 35.12.1	～	38.4.30	藤	原	留	造
" 38.5.1	～	40.4.30	小	島		瑞
" 40.5.1	～	43.10.24	星	島	啓	郎
" 43.10.25	～	46.3.31	辻		一	人
" 46.4.1	～	48.3.31	鶴	見	義	一
" 48.4.1	～	50.3.31	大	崎	丈	夫
" 50.4.1	～	52.3.31	鈴	木	武	彦
" 52.4.1	～	54.3.31	中	村	久	也
" 54.4.1	～	56.3.31	黒	田		直
" 56.4.1	～	58.3.31	伊	藤		司
" 58.4.1	～	60.3.31	長	井		靖
" 60.4.1	～	平成元.3.31	若	狭	治	毅
平成 元.4.1	～	3.3.31	茂	田	士	郎
" 3.4.1	～	5.3.31	高	地	英	夫
" 5.4.1	～	7.3.31	中	西	弘	則
" 7.4.1	～	9.3.31	菅	井	尚	則
" 9.4.1	～	11.3.31	福	島	匡	昭
" 11.4.1	～	13.3.31	香	山	雪	彦

平成13.4.1	～	15.3.31	清	水		強
" 15.4.1	～	17.3.31	鈴	木		光
" 17.4.1	～	20.3.31	平	岩	利	一
" 20.4.1	～	22.3.31	八	沼	幸	行
" 22.4.1	～	24.3.31	上	田	洋	毅
" 24.4.1	～	26.3.31	大	平	和	正
" 26.4.1	～	29.3.31	和	田	弘	夫
" 29.4.1	～	令和2.3.31	黒	田	郁	人
令和 2.4.1	～	令和4.3.31	河	野	直	二
令和 4.4.1	～		矢	部	浩	興
					博	

○ 附属展示館長 (平成18.4.1 附属学術情報センターに統合)

昭和63.4.1	～	平成6.3.31	菅	井	尚	則
平成 6.4.1	～	8.11.5	杉	浦	康	夫
" 8.11.6	～	12.3.31	平	岩	幸	一
" 12.4.1	～	18.3.31	八	木	洋	行

○ 医学部附属生体情報伝達研究所長

(昭和62.3.31までは附属中央研究所長、平成6.3.31までは附属研究所長、平成10.3.31までは生体情報伝達研究所長)

昭和29.5.1	～	36.4.30	大	里	俊	吾
" 36.5.1	～	42.4.30	武	藤	完	雄
" 42.5.1	～	43.4.30	勝	又		正
" 45.10.14	～	51.11.1	楠		信	男
" 51.11.2	～	55.11.1	辻		義	人
" 55.11.2	～	61.11.1	松	川		明
" 61.11.2	～	平成4.11.1	伊	藤		司
平成 4.11.2	～	8.11.1	若	狭	治	毅
" 8.11.2	～	10.3.31	元	木	良	一
" 10.4.1	～	12.3.31	茂	田	士	郎
" 12.4.1	～	14.3.31	高	地	英	夫
" 14.4.1	～	18.3.31	小	林	和	人
" 18.4.1	～	令和3.3.31	本	間		好
令和 3.4.1	～		和	田	郁	夫

○ 医学部附属放射性同位元素研究施設長 (平成10.3.31 までは放射性同位元素研究施設長)

平成 6.4.1	～	13.3.31	藤	田	禎	三
" 13.4.1	～	29.3.31	本	間		好
" 29.4.1	～		小	林	和	人

○ 医学部附属実験動物研究施設長 (平成10.3.31 までは実験動物研究施設長)

平成 6.4.1	～	9.9.2	清	水		強
" 9.9.3	～	12.3.31	丸	山	幸	夫
" 12.4.1	～	16.3.31	鈴	木	利	光
" 16.4.1	～	22.3.31	小	林	和	人
" 22.4.1	～	24.3.31	片	平	清	昭
" 24.4.1	～		関	口	美	穂

○ 医学部附属医療制度研究センター長 (平成30.4.1 廃止)

平成23.7.1	～	26.3.31	大	戸		斉
" 26.4.1	～	30.3.31	錫	谷	達	夫

○ 医学部附属死因究明センター長

平成26.4.1	～	27.3.31	錫	谷	達	夫
" 27.4.1	～		黒	田	直	人



○ 医学部附属教育評価室長

平成31.4.1	～	令和 2.3.31	錫	谷	達	夫
令和 2.4.1	～	" 4.3.31	八	木	洋	行
" 4.4.1	～		小	島	祥	敬

○ 医学部附属リハビリテーション研究所長

(平成10.3.31 までは附属リハビリテーション研究所長、平成19.3.31廃止)

昭和44.9.1	～	53.4.30	吉	田	越	夫
" 53.5.19	～	62.3.31	塚	原	進	司
" 62.4.1	～	平成3.3.31	粕	川	禮	海
平成3.4.1	～	5.3.31	児	玉	南	雄
" 5.4.1	～	7.3.31	菊	地	臣	一
" 7.4.1	～	9.3.31	山	本	悌	司
" 9.4.1	～	11.3.31	茂	田	士	郎
" 11.4.1	～	13.3.31	丹	羽	真	一
" 13.4.1	～	15.3.31	丸	山	幸	夫
" 15.4.1	～	17.3.31	山	口		脩
" 17.4.1	～	19.3.31	児	玉	南	海

○ 医学部附属看護学校長 (平成10.3.31 までは附属看護学校長、平成13.3.31閉校)

昭和25.4.1	～	27.9.14	丸	井	琢	次	郎
" 27.9.15	～	30.4.30	若	林	俊	一	司
" 30.5.1	～	31.5.14	九	嶋	勝	男	雄
" 31.5.15	～	34.4.30	楠		信	武	而
" 34.5.1	～	36.4.30	梶	浦	睦	左	明
" 36.5.1	～	38.4.30	栗	野	亥	寛	徳
" 38.5.1	～	40.4.30	貴	家	徳		明
" 40.5.1	～	42.4.30	大	原		徳	明
" 42.5.1	～	42.11.10	松	川	亥	佐	武
" 42.11.11	～	44.5.10	大	原		辰	一
" 44.5.11	～	46.3.31	栗	野			郎
" 46.4.1	～	48.3.31	松	川			進
" 48.4.1	～	49.9.9	遠	藤			仁
" 49.9.10	～	51.9.9	飯	島			児
" 51.9.10	～	53.9.9	大	内	憲		進
" 53.9.10	～	55.9.9	本	多			直
" 55.9.10	～	56.3.31	塚	原			晟
" 56.4.1	～	57.3.31	黒	田			夫
" 57.4.1	～	59.3.31	奥	秋	丈		也
" 59.4.1	～	60.3.31	大	崎	久		永
" 60.4.1	～	61.3.31	中	村			夫
" 63.4.1	～	63.3.31	熊	代			衛
" 63.4.1	～	平成2.3.31	白	岩	康		逸
平成 2.4.1	～	4.3.31	木	村	和		一
" 4.4.1	～	6.3.31	福	地	総		巖
" 6.4.1	～	8.3.31	元	木	良		章
" 8.4.1	～	10.3.31	大	谷			
" 10.4.1	～	13.3.31	佐	藤			

○ 事務局長

昭和25.4.1	～	25.6.17 (事務取扱)	渡	部	浩	(総務部庶務課長)
" 25.6.17	～	26.9.1 ( " )	八	島	喜	右工門 ( " )
" 26.9.1	～	28.6.30 (心得)	柳	沼	重	三
" 28.7.1	～	28.8.2	柳	沼	重	三
" 28.8.3	～	28.9.2 (兼務)	穴	沢	栄	(総務部地方課長)
" 28.9.3	～	30.8.31 (事務取扱)	八	島	喜	右工門 (総務部長)
" 30.9.1	～	33.3.1	坪	井	寅	寿

昭和 33.4.1	～	39.7.14	佐	藤	七	門
〃 39.7.15	～	44.3.31	新	城	文	武
〃 44.4.1	～	46.7.14	岡	田	宗	治
〃 46.7.15	～	47.5.31	富	田	善	郎
〃 47.6.1	～	49.3.31	吉	成	一	三
〃 49.4.1	～	50.12.31	黒	沢	敬	郎
〃 51.1.1	～	51.5.31	横	田	三	郎
〃 51.6.1	～	54.3.31	小	野	謙	一
〃 54.4.1	～	55.3.31	佐	藤	静	茂
〃 55.4.1	～	56.3.31	高	木	健	雄
〃 56.4.1	～	58.7.15	奥	山	健	博
〃 58.7.16	～	61.3.31	菅	井	丈	一
〃 61.4.1	～	63.3.31	古	川	丈	旭
〃 63.4.1	～	平成元.3.31	小	宅	貞	孫
平成 元.4.1	～	3.4.21	高	橋	雅	厚
〃 3.4.22	～	5.3.31	岡	田	家	夫
〃 5.4.1	～	7.3.31	佐	藤	正	光
〃 7.4.1	～	9.3.31	宍	戸	俊	治
〃 9.4.1	～	11.3.31	井	上	正	照
〃 11.4.1	～	13.3.31	大	谷	孝	郎
〃 13.4.1	～	15.3.31	鈴	木	泰	洋
平成 15.4.1	～	16.3.31	鈴	木	俊	雄
〃 16.4.1	～	19.3.31	遠	藤	洋	博
〃 19.4.1	～	22.3.31	野	崎	初	一
〃 22.4.1	～	26.3.31	藤	島	孝	男
〃 26.4.1	～	28.3.31	井	出	宏	利
〃 28.4.1	～	30.3.31	佐	藤	光	隆
〃 30.4.1	～	31.3.31	戸	田	和	昭
〃 31.4.1	～	令和3.3.31	伊	藤	和	剛
令和 3.4.1	～		齋	野		則

○ 会津医療センター長（平成25.5.11までは会津医療センター準備室長）

平成22.4.1	～	24.3.31	棟	方		充
〃 24.4.1	～	令和4.3.24	高	久	史	磨

○ ふくしま国際医療科学センター長

平成24.11.20	～	28.3.31	菊	地	臣	一
〃 28.4.1	～	31.3.31	谷	川	攻	一
〃 31.4.1	～	令和3.3.31	齋	藤		清
令和 3.4.1	～		挾	間	章	博

○ 放射線医学県民健康管理センター長

平成23.9.1	～	25.3.31	山	下	俊	一
〃 25.4.1	～	28.11.1	阿	部	正	文
〃 28.11.2	～		神	谷	研	二

○ 先端臨床研究センター長

平成24.11.20	～	29.3.31	竹	之	誠	一
------------	---	---------	---	---	---	---

○ 医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター長

平成24.11.20	～	28.3.31	和	栗		聡
〃 28.4.1	～		渡	辺	慎	哉

○ 医療研究推進センター長

平成28.4.1	～	30.8.31	南	川	一	夫
〃 30.9.1	～	31.3.31	鈴	木	弘	行
〃 31.4.1	～		鈴	木	義	行

## 4 施 設 の 概 要

### (1) 名称及び所在地

福島県立医科大学医学部	福島市光が丘1番地
福島県立医科大学看護学部	//
福島県立医科大学保健科学部	福島県福島市栄町10番6号
福島県立医科大学附属病院	福島市光が丘1番地
ふくしま国際医療科学センター	//
福島県立医科大学医学部附属研究所・研究施設	//
福島県立医科大学附属学術情報センター	//
福島県立医科大学医療研修センター	//
福島県立医科大学会津医療センター	会津若松市河東町谷沢字前田21番地2

### (2) 校 地

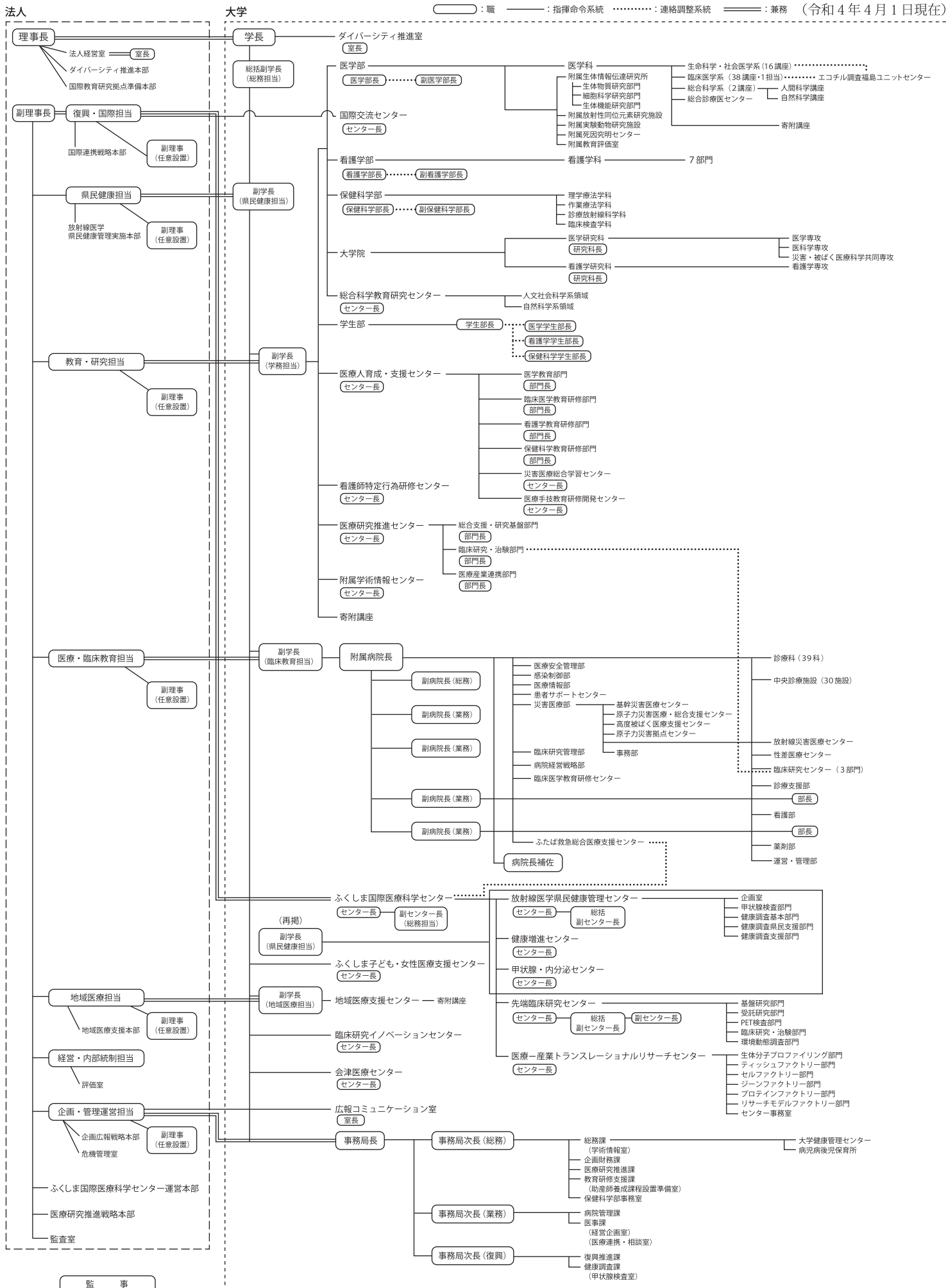
学部、校舎	45,366㎡
講堂	1,486 //
体育館・武道館・プール、洋弓場、和弓場	12,700 //
グラウンド	19,633 //
野球場・テニスコート	13,864 //
学生寮	1,551 //
艇庫	495 //
附属病院	75,455 //
9号館（医療研修センター）	3,047 //
10号館（附属研究所・研究施設）	4,839 //
駐車場・汚水処理場・その他	277,248 //
会津医療センター	50,121 //
福島駅前キャンパス	3,000 //
合 計	508,805 //

### (3) 校舎等建物

1号館（管理棟） 鉄筋コンクリート造・3階建	2,556㎡
2号館（臨床医学系研究棟）鉄骨、鉄筋コンクリート造・地上5階地下1階建	8,614 //
3号館（生命科学・社会医学系研究棟） // ・5階建	6,563 //
4号館（総合科学系研究棟） // ・地上5階地下1階建	7,197 //
5号館（実習棟） // ・2階建	1,261 //
//（講義棟） 鉄筋コンクリート造・2階建	1,306 //
//（福利厚生棟） // ・ //	1,373 //
6号館（新講義棟） // ・ //	1,256 //
7号館（光が丘会館） // ・ //	783 //
8号館（看護学部棟） 鉄骨、鉄筋コンクリート造・地上・6階地下1階建	13,205 //

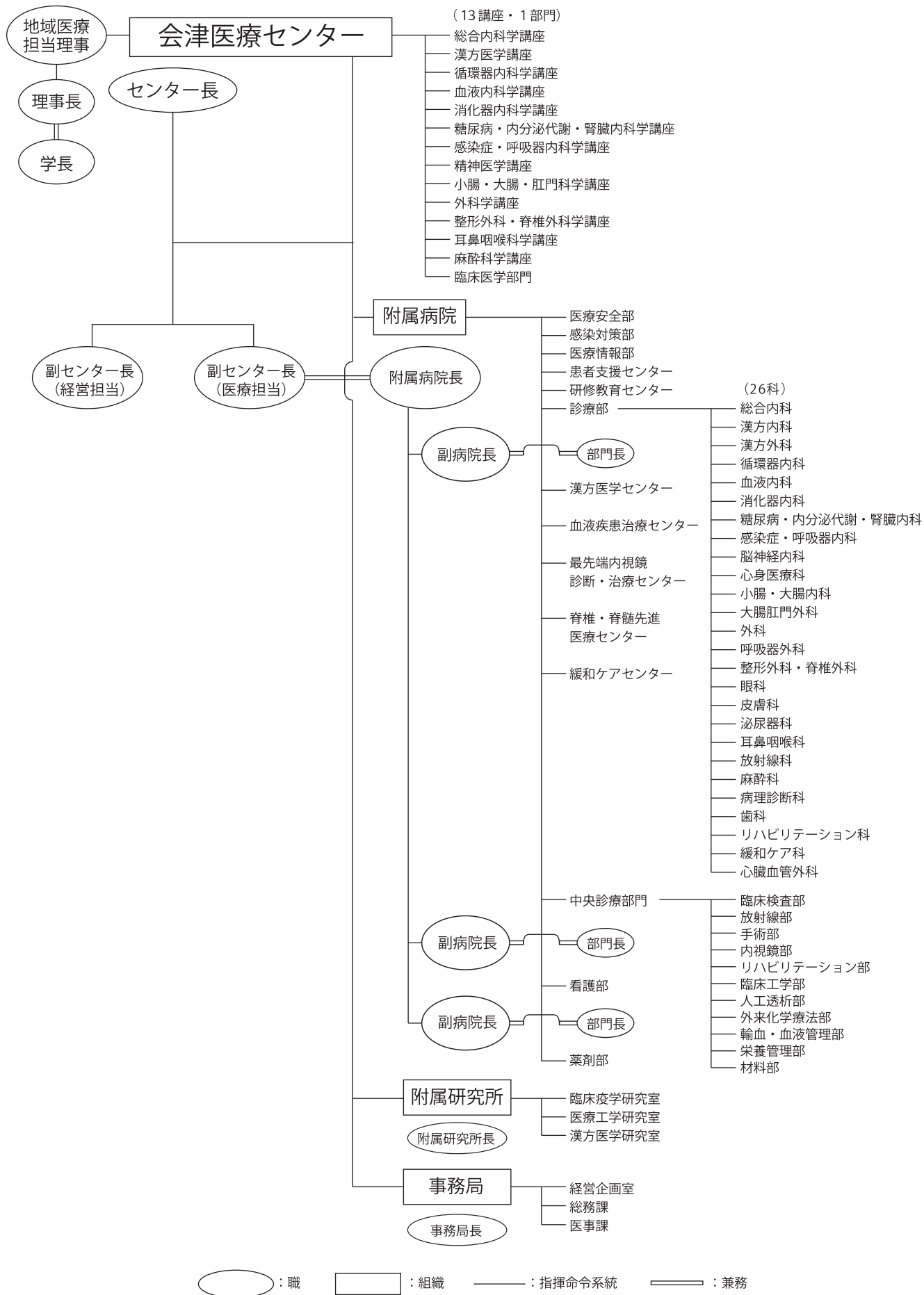
9号館（医療研修センター）	鉄筋コンクリート造	・4階建	2,639㎡
10号館（附属研究所・研究施設）	〃	・5階建	9,386〃
11号館（臨床講義棟）	〃	・2階建	1,107〃
12号館	〃	・4階建	2,602〃
講堂	〃	・2階建	1,750〃
附属学術情報センター	鉄筋コンクリート造	・2階建	4,101〃
体育館・武道館	〃（一部鉄骨造）	・3階建	4,554〃
和弓場	鉄骨造	・平屋建	113〃
附属病院	鉄骨、鉄筋コンクリート造	・地上10階地下1階建	56,635〃
北外来棟（カンファランス棟）	鉄筋コンクリート造	・3階建	1,834〃
心身医療科病棟	〃	・2階建	1,547〃
MR I棟・ハイエネルギー棟	〃	・平屋建	2,026〃
手術室棟	〃	・3階建	1,880〃
原子力災害第2次緊急医療施設	〃	・平屋建	351〃
看護師宿舎	〃	・5階建	2,955〃
託児所	〃	・平屋建	480〃
学生寮	〃	・3階建	2,096〃
汚水処理棟	〃	・平屋建	1,304〃
冷凍機械室棟	〃	・2階建（一部3階建）	374〃
洗濯場	鉄骨造	・平屋建	118〃
救命救急機械室	鉄筋コンクリート造	・2階建	171〃
ドクターヘリ格納庫	鉄骨造	・平屋建	324〃
多目的医療用ヘリ格納庫	鉄骨造	・平屋建	237〃
リハビリテーションセンター		2階建	334〃
その他附属施設			1,346〃
会津医療センター	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）	・6階建	24,280〃
環境動態解析センター棟	鉄筋コンクリート造	・2階建	864〃
先端臨床研究センター棟	〃	・地上3階地下1階建	5,487〃
災害医学・医療産業棟	鉄骨造	・地上8階地下1階建	10,023〃
ふくしまいのちと未来のメディカルセンター棟	〃	・地上7階地下1階建	23,896〃
受電施設棟	鉄筋コンクリート造	・2階建	874〃
福島駅前キャンパス（校舎棟）	鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）	地上8階（一部9階）地下1階	18,323〃
合 計			228,125〃

# 5 組織機構図



# 公立大学法人福島県立医科大学 会津医療センター組織機構図

(令和4年4月1日現在)



## 6 役 職 員

(令和4年6月1日現在)

### □ 法 人 ○ 役 員 会

理 事 長 竹之下誠一  
副理事長 (復興・国際担当) 挾間 章博  
理 事 (県民健康担当) 安村 誠司  
" (医療・臨床教育担当) 竹石 恭知  
" (教育・研究担当) 鈴木 弘行  
" (地域医療担当) 河野 浩二  
" (経営・内部統制担当) 菊地 健一  
" (企画・管理運営担当) 齋野 和則  
監 事 菅野 浩司  
" 鈴木 和郎

### ○ 法人経営室

室 長 (兼)藤島 初男

### ○ 企画広報戦略本部

本 部 長 (兼)齋野 和則

### ○ 医療研究推進戦略本部

本 部 長 (兼)大戸 斉

### ○ 放射線医学県民健康管理実施本部

本 部 長 (兼)安村 誠司

### ○ ダイバーシティ推進本部

本 部 長 (兼)竹之下誠一

### ○ 評 価 室

室 長 (兼)菊地 健一

### ○ 地域医療支援本部

本 部 長 (兼)河野 浩二

### ○ 危機管理室

室 長 (兼)齋野 和則

### ○ ふくしま国際医療科学センター運営本部

本 部 長 (兼)挾間 章博

### ○ 国際連携戦略本部

本 部 長 (兼)挾間 章博

### ○ 国際教育研究拠点準備本部

本 部 長 (兼)齋野 和則

### ○ 監 査 室

室 長 (兼)千葉 英樹

### ○ 経営審議会

議 長 竹之下誠一  
委 員 挾間 章博

" 菊地 健一

" 鈴木 弘行

" 齋野 和則

外 部 委 員 玄侑 宗久

" 林 由美子

" 前原 和平

" 吉川 惠章

" 渡辺 健壽

### ○ 教育研究審議会

議 長 竹之下誠一  
委 員 大戸 斉

" 錫谷 達夫

" 竹石 恭知

" 坂本 祐子

" 鈴木 弘行

" 藤森 敬也

" 高橋 香子

" 河野 浩二

" 矢吹 省司

" 挾間 章博

" 安村 誠司

" 齋野 和則

" 大谷 晃司

" 松岡 有樹

" 永福 智志

外 部 委 員 跡見 裕

" 前田 邦彦

## □ 大 学

学 長	(兼) 竹之下誠一
総括副学長(総務担当)	〃 大戸 齊
副 学 長(県民健康担当)	〃 安村 誠司
〃 (学務担当)	〃 鈴木 弘行
〃 (臨床教育担当)	〃 竹石 恭知
〃 (地域医療担当)	〃 河野 浩二
〃 (医産連携担当)	〃 錫谷 達夫
〃 (国際担当)	山下 俊一
〃 (業務担当)	神谷 研二
〃 (医師確保・健康長寿担当)	福原 俊一
〃 (業務担当)	吉村 泰典

## ○ 医 学 部

学部長	教授 (兼) 藤森 敬也
副学部長	〃 〃 関根 英治
内科学部門長	〃 〃 島袋 充生
外科学部門長	〃 〃 鈴木 弘行

### 〔生命科学・社会医学系(16講座)〕

神経解剖・発生学講座	主任 教授	八木沼洋行
解剖・組織学講座	〃 〃	和栗 聡
細胞統合生理学講座	〃 〃	挾間 章博
システム神経科学講座	〃 〃	永福 智志
生化学講座	〃 〃	西田 満
免疫学講座	〃 〃	関根 英治
病態制御薬理医学講座	〃 〃	下村 健寿
微生物学講座	〃 〃	錫谷 達夫
基礎病理学講座	〃 〃	千葉 英樹
衛生学・予防医学講座	〃 〃	福島 哲仁
公衆衛生学講座	〃 〃	安村 誠司
法医学講座	〃 〃	黒田 直人
放射線生命科学講座	〃 〃	坂井 晃
疫学講座	〃 〃	大平 哲也
放射線物理化学講座	〃 〃	石川 徹夫
健康リスクコミュニケーション学講座	〃 〃	田巻 倫明

### 〔臨床医学系(38講座)〕

循環器内科学講座	主任事務取扱 教授(兼)	大平 弘正
血液内科学講座	主任 〃	池添 隆之
消化器内科学講座	〃 〃	大平 弘正

### リウマチ膠原病内科学講座

主任 教授	右田 清志
腎臓高血圧内科学講座	〃 〃 風間順一郎
糖尿病内分泌代謝内科学講座	〃 〃
〃 〃	島袋 充生
脳神経内科学講座	〃 〃 金井 数明
呼吸器内科学講座	〃 〃 柴田 陽光
消化管外科学講座	〃 〃 河野 浩二
肝胆膵・移植外科学講座	〃 〃 丸橋 繁
呼吸器外科学講座	〃 〃 鈴木 弘行
乳腺外科学講座	〃 〃 大竹 徹
心臓血管外科学講座	〃 〃 横山 齊
脳神経外科学講座	〃 〃 藤井 正純
整形外科科学講座	〃 〃 紺野 慎一
形成外科学講座	〃 〃 小山 明彦
産科婦人科学講座	〃 〃 藤森 敬也
小児科学講座	〃 〃 細矢 光亮
眼科学講座	〃 〃 石龍 鉄樹
皮膚科学講座	〃 〃 山本 俊幸
泌尿器科学講座	〃 〃 小島 祥敬
耳鼻咽喉科学講座	〃 〃 室野 重之
神経精神医学講座	〃 〃 矢部 博興
放射線医学講座	〃 〃 伊藤 浩
麻酔科学講座	〃 〃 井上 聡己
救急医療学講座	〃 〃 伊関 憲
病理病態診断学講座	〃 〃 橋本 優子
臨床検査医学講座	〃 〃 志村 浩己
感染制御学講座	〃 〃 金光 敬二
輸血・移植免疫学講座	〃 〃 池田 和彦
地域・家庭医療学講座	〃 〃 葛西 龍樹
放射線健康管理学講座	〃 〃 坪倉 正治
甲状腺内分泌学講座	〃 〃 古屋 文彦
災害こころの医学講座	〃 〃 前田 正治
放射線腫瘍学講座	〃 〃 鈴木 義行
腫瘍内科学講座	〃 〃 佐治 重衡
放射線災害医療学講座	〃 〃 長谷川有史
リハビリテーション医学講座	〃 〃 大井 直往

### 〔総合科学系(2講座)〕

人間科学講座	主任事務取扱 教授(兼)	藤森 敬也
自然科学講座	主任 〃	松岡 有樹



〔寄附講座(28講座)〕

低侵襲腫瘍制御学講座	主任	教授 (兼)	紺野 慎一
ヒト神経生理学講座	"	"	宇川 義一
周産期・小児地域医療支援講座	"	"	(兼) 紺野 光亮
災害医療支援講座	"	"	" 紺野 慎一
地域救急医療支援講座	"	"	" 紺野 慎一
地域産婦人科支援講座	"	"	" 藤森 敬也
疼痛医学講座	"	"	" 矢吹 省司
スポーツ医学講座	"	"	沼崎 広法
白河総合診療アカデミー	"	"	(兼) 福原 俊一
東白川整形外科アカデミー	"	"	" 紺野 慎一
手外科・四肢機能再建学講座	"	"	" 紺野 慎一
外傷学講座	"	"	寺本 司
心臓調律制御医学講座	"	"	(兼) 石田 隆史
多発性硬化症治療学講座	"	"	" 金井 数明
生体機能イメージング講座	"	"	松田 博史
外傷再建学講座	"	"	(兼) 紺野 慎一
運動器骨代謝学講座	"	"	" 紺野 慎一
総合内科・臨床感染症学講座	"	"	" 濱口 杉大
地域包括的癌診療研究講座	"	"	柴田 昌彦
先端地域生活習慣病治療学講座	"	"	(兼) 風間順一郎
周産期間葉系幹細胞研究講座	"	"	(兼) 下村 健寿
癌集学的治療地域支援講座	"	"	(兼) 河野 浩二
エピゲノム分子医学研究講座	"	"	(兼) 千葉 英樹
アスタチン核種治療研究講座	"	"	(兼) 鈴木 義行
甲状腺治療学講座	"	"	鈴木 眞一
救急・生体侵襲制御学講座	"	"	(兼) 伊関 憲
地域婦人科腫瘍学講座	"	"	(兼) 添田 周
地域支援視機能再建学講座	"	"	(兼) 石龍 鉄樹

○ 総合診療医センター

センター長 教授 (兼) 山中 克郎

○ 医学部附属生体情報伝達研究所

所長 教授 (兼) 和田 郁夫

生体物質研究部門 主任事務取扱 教授 和田 郁夫

細胞科学研究部門 研究主任 " 和田 郁夫

生体機能研究部門 " " 小林 和人

○ 医学部附属放射性同位元素研究施設

施設長 教授 (兼) 小林 和人

○ 医学部附属実験動物研究施設

施設長 教授 関口 美穂

○ 医学部附属死因究明センター

センター長 教授 (兼) 黒田 直人

○ 医学部附属教育評価室

室長 教授 (兼) 小島 祥敬

○ 看護学部

学部長 教授 (兼) 坂本 祐子

副学部長 " " 高橋 香子

総合科学部門長 " 中山 仁

生命科学部門長 " 太田昌一郎

基礎看護学部門長 " 黒田 るみ

成人・老年看護学部門長 " 坂本 祐子

小児・精神看護学部門長 " 和田久美子

地域・公衆衛生看護学部門長 " 高橋 香子

母性看護・助産学部門長 " 篠原 好江

○ 保健科学部

学部長 教授 (兼) 矢吹 省司

副学部長 " " 小川 一英

理学療法学科長 " 神先 秀人

作業療法学科長 " 五百川和明

診療放射線科学科長 " 久保 均

臨床検査学科長 " 小川 一英

## ○ 大 学 院

医学研究科長	教授 (兼) 鈴木 弘行
医学専攻長	教授 (兼) 下村 健寿
医科学専攻長	“ “ 坪倉 正治
災害・被ばく医療科学共同専攻長	教授 (兼) 長谷川有史
看護学研究科長	“ “ 高橋 香子

## ○ 総合科学教育研究センター

センター長	教授 (兼) 松岡 有樹
人文社会科学系領域長	教授 (兼) 松岡 有樹
自然科学系領域長	“ “ 開 康一

## ○ 事 務 局

事務局長	(兼) 齋野 和則
事務局次長(総務担当)	渡邊 重勝
“ (業務担当)	菅野 達也
“ (復興担当)	三塚 淳
総務課長	松山 政行
学術情報室長	(兼) 松山 政行
企画財務課長	坂本 桂一
医療研究推進課長	中原 智弘
教育研修支援課長	後藤 雅樹
助産師養成課程設置準備室長	太田 操
保健科学部事務室長	吾妻 正明
大学健康管理センター所長	板垣俊太郎
病児病後児保育所長	講師 (兼) 佐藤 晶論
病院管理課長	木下 貴道
医事課長	椎名 勉
経営企画室長	江澤 淑子
医療連携・相談室長	五十嵐 睦
復興推進課長	石井 毅
健康調査課長	菅野 義
甲状腺検査室長	大島 康範

## ○ 学 生 部

学生部長	教授 (兼) 亀岡 弥生
医学学生部長	“ “ 永福 智志
看護学学生部長	“ “ 太田昌一郎
保健科学学生部長	“ “ 林 博史

## ○ 医療人育成・支援センター

センター長	教授 大谷 晃司
医学教育部門長	“ 亀岡 弥生
臨床医学教育研修部門長	“ (兼) 大谷 晃司
看護学教育研修部門長	“ “ 高瀬 佳苗
災害医療総合学習センター長	“ “ 長谷川有史
医療手技教育研修開発センター長	“ “ 木村 隆

## ○ 看護師特定行為研修センター

センター長	教授 見城 明
-------	---------

## ○ 附 属 病 院

病院長	(兼) 竹石 恭知
副病院長(総務・企画・経営担当)	教授 “ 大竹 徹
“ (業務担当統括・医療安全・災害医療・地域連携担当)	“ “ 鈴木 義行
“ (教育・研修・臨床研究・治験担当)	“ “ 濱口 杉大
“ (中央診療施設機能強化・感染制御・医療情報担当)	“ “ 室野 重之
“ (医療連携・患者サービス・病院機能改善担当)	“ 渡邊美恵子
病院長補佐	“ “ 島田 二郎
医療安全管理部長	准教授 大塚 幹夫
感染制御部長	教授 (兼) 金光 敬二
医療情報部長	准教授 門馬 智之
患者サポートセンター部長 教授	(兼) 鈴木 義行
災害医療部長	“ “ 長谷川有史
ふたば救急総合医療支援センター長	教授 “ 河野 浩二
循環器内科部長	准教授 “ 八巻 尚洋
血液内科部長	“ “ 池添 隆之
消化器内科部長	“ “ 大平 弘正
リウマチ・膠原病内科部長	“ “ 右田 清志
腎臓・高血圧内科部長	“ “ 風間順一郎
糖尿病・内分泌代謝内科部長	“ “ 島袋 充生
脳神経内科部長	“ “ 金井 数明
呼吸器内科部長	“ “ 柴田 陽光

漢方内科部長	教授 (兼) 小宮ひろみ	地域・家庭医療部長	〃 〃 葛西 龍樹
腫瘍内科部長	〃 〃 佐治 重衡	内視鏡診療部長	准教授 引地 拓人
総合内科部長	〃 濱口 杉大	リハビリテーションセンター部長	
呼吸器外科部長	〃 (兼) 鈴木 弘行		教授 (兼) 大井 直往
消化管外科部長	〃 〃 河野 浩二	救命救急センター部長	〃 〃 伊関 憲
肝胆膵・移植外科部長	〃 〃 丸橋 繁	臨床腫瘍センター長	〃 〃 佐治 重衡
乳腺外科部長	〃 〃 大竹 徹	臨床工学センター部長	〃 〃 横山 斉
小児外科部長	〃 田中 秀明	人工透析センター部長	准教授 〃 田中 健一
甲状腺・内分泌内科部長	〃 〃 古屋 文彦	甲状腺・内分泌診療センター部長	
甲状腺・内分泌外科部長	〃 〃 鈴木 弘行		特命教授 (兼) 横谷 進
心臓血管外科部長	〃 〃 横山 斉	人工関節センター部長	教授 〃 紺野 慎一
脳神経外科部長	〃 〃 藤井 正純	遺伝診療部長	准教授 〃 渡邊 尚文
整形外科部長	〃 〃 紺野 慎一	こども医療センター部長	教授 〃 細矢 光亮
形成外科部長	〃 〃 小山 明彦	脳疾患センター部長	〃 〃 矢部 博興
産科部長	〃 〃 藤森 敬也	移植医療部長	〃 〃 田中 秀明
婦人科部長	〃 〃 添田 周	心臓血管センター部長	講師 〃 國井 浩行
小児科部長	〃 〃 細矢 光亮	小児・AYAがん長期支援センター部長	
小児腫瘍内科部長	〃 佐野 秀樹		教授 〃 佐野 秀樹
眼科部長	〃 (兼) 石龍 鉄樹	がんゲノム医療診療部長	〃 〃 佐治 重衡
皮膚科部長	〃 〃 山本 俊幸	生殖医療センター部長	講師 〃 菅沼 亮太
泌尿器科・副腎内分泌外科部長		先端的低侵襲手術センター部長	
	〃 〃 小島 祥敬		准教授 〃 門馬 智之
耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長		呼吸器センター部長	〃 〃 谷野 功典
	〃 〃 室野 重之	栄養管理部長	教授 〃 鈴木 義行
心身医療科部長	〃 〃 矢部 博興	材料部長	〃 〃 見城 明
放射線科部長	〃 〃 伊藤 浩	臨床研究教育推進部長	
放射線治療科部長	〃 〃 鈴木 義行		特任教授 栗田 宜明
核医学科部長	〃 〃 織内 昇	臨床研究管理部長	講師 (兼) 齋藤 純平
麻酔・疼痛緩和科部長	〃 〃 井上 聡己	病院経営戦略部長	教授 〃 鈴木 弘行
病理診断科部長	〃 〃 橋本 優子	臨床医学教育研修センター長	
歯科口腔外科部長	講師 金子 哲治		〃 〃 伊関 憲
救急科部長	教授 (兼) 伊関 憲	性差医療センター部長	〃 小宮ひろみ
リハビリテーション科部長	〃 〃 大井 直往	臨床研究センター長	〃 (兼) 佐治 重衡
検査部長	〃 〃 志村 浩己	診療支援部長	〃 〃 鈴木 義行
放射線部長	〃 〃 鈴木 義行	看護部長	副病院長 〃 渡邊美恵子
手術部長	〃 〃 黒澤 伸	薬剤部長	黒田 純子
集中治療部長	准教授 五十州 剛		
総合周産期母子医療センター部長			
	教授 (兼) 細矢 光亮		
病理部長	〃 〃 橋本 優子		
輸血・移植免疫部長	〃 〃 池田 和彦		

### ○附属学術情報センター

センター長 教授 (兼) 矢部 博興

○ **会津医療センター**

センター長  
副センター長(経営担当)  
" (医療担当) 教授 大田 雅嗣  
附属病院長 " (兼) 大田 雅嗣  
附属副病院長(総務) " " 鶴谷 善夫  
附属副病院長(業務) " " 村山 隆紀  
附属副病院長(業務) 兼看護部長 山田香代子  
附属研究所長  
事務局長 安藤 靖雄  
総合内科学講座 教授 山中 克郎  
漢方医学講座 " 三瀨 忠道  
循環器内科学講座 " 鶴谷 善夫  
血液内科学講座 " (兼) 大田 雅嗣  
消化器内科学講座 " 澁川 悟朗  
糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座  
" 橋本 重厚  
感染症・呼吸器内科学講座 " 久米 裕昭  
精神医学講座 " 川勝 忍  
小腸・大腸・肛門科学講座 " 富樫 一智  
外科学講座 " 齋藤 拓朗  
整形外科・脊椎外科学講座 " 白土 修  
耳鼻咽喉科学講座 " 小川 洋  
麻酔科学講座 " 村山 隆紀  
臨床医学部門長 " 歌野 健一

○ **ふくしま国際医療科学センター**

センター長 (兼) 挾間 章博  
副センター長 (兼) 藤島 初男

[放射線医学県民健康管理センター]

センター長 (兼) 神谷 研二  
総括副センター長 " 大戸 斉  
甲状腺検査部門長 教授 " 志村 浩己  
健康調査基本部門長 " 大戸 斉  
健康調査県民支援部門長 教授 " 前田 正治  
健康調査支援部門長 教授 " 大平 哲也

[健康増進センター]

センター長 教授 (兼) 細矢 光亮  
副センター長 " " 大平 哲也

[甲状腺・内分泌センター]

センター長 特命教授 横谷 進

[先端臨床研究センター]

センター長  
総括副センター長 (兼) 藤島 初男  
副センター長 教授 " 伊藤 浩  
" " " 鈴木 義行  
基盤研究部門長 " 高橋 和弘  
受託研究部門長 " 趙 松吉  
PET検査部門長 講師 右近 直之  
臨床研究・治験部門長 教授 志賀 哲  
環境動態調査部門長 " (兼) 石川 徹夫

[医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター]

センター長 教授 渡辺 慎哉  
副センター長 " 家村俊一郎  
" (兼) 藤島 初男

○ **臨床研究イノベーションセンター**

センター長 理事長付特命教授 (兼) 福原 俊一

○ **医療研究推進センター**

センター長 教授 (兼) 鈴木 義行

○ **ダイバーシティ推進室**

室 長 教授 (兼) 小宮ひろみ

○ **広報コミュニケーション室**

室 長 特命教授 持田 謙介

○ **国際交流センター**

センター長 教授 (兼) 山下 俊一

○ **地域医療支援センター**

センター長 教授 (兼) 河野 浩二  
副センター長 " " 大平 弘正  
" " " 大竹 徹

○ **ふくしま子ども・女性医療支援センター**

センター長 教授 高橋 俊文

## 7 名 譽 教 授

(令和4年6月1日現在)

名誉教授	池	田	龍	一	※	名誉教授	白	岩	康	夫
"	大	里	俊	吾	※	"	竹	川	佳	壽
"	若	林	俊	一	※	"	若	狹	治	毅
"	武	藤	完	雄	※	"	奥	秋		晟
"	山	本	寛	一	※	"	稻	村	力	裕
"	丸	井	琢	次	郎	"	阿	部	弘	哉
"	栗	野	亥	佐	武	"	中	西	祐	則
"	藤	原	留		造	"	高	久	匡	治
"	楠		信		男	"	福	島	禮	昭
"	横	山	正		松	"	粕	川	俊	司
"	梶	浦	睦		雄	"	星	野	良	一
"	大	原	徳		明	"	元	木	岳	一
"	鶴	見	膠		一	"	引	地	正	雄
"	辻		義		人	"	田	中	桂	敏
"	鈴	木	武		彦	"	加	藤	一	郎
"	黒	田			直	"	清	水		強
"	遠	藤	辰	一	郎	"	大	谷		巖
"	大	内			仁	"	茂	田	士	郎
"	大	崎	丈		夫	"	菅	井	尚	則
"	松	川			明	"	山	本	悌	司
"	塚	原			進	"	鈴	木		仁
"	飯	島			進	"	金	子	史	男
"	中	村	久		也	"	吉	田		浩
"	長	井			靖	"	大	波	哲	雄
"	南	條	善		治	"	丸	山	幸	夫
"	森				一	"	児	玉	南	海
"	刈	米	重		夫	"	高	地	英	夫
"	小	島			瑞	"	鈴	木	利	光
"	松	本			淳	"	佐	藤		章
"	熊	代			永	"	落	合	威	彦
"	芳	賀			馨	"	香	山	雪	彦
"	伊	藤			司	"	藤	田	禎	三
"	星	島	啓	一	郎	"	山	口		脩
"	木	村	和		衛	"	丹	羽	真	一
"	福	地	総		逸	"	清	水	研	明



名誉教授	中	山	洋	子
〃	荒	川	唱	子
〃	平	岩	幸	一
〃	志	賀	令	明
〃	渡	辺		毅
〃	宍	戸	文	男
〃	小	林	恒	夫
〃	林		正	幸
〃	木	村	純	子
〃	後	藤	満	一
〃	竹	之	誠	一
〃	真	下	玲	子
〃	阿	壁	正	文
〃	菊	部	臣	一
〃	棟	地		充
〃	上	方	和	毅
〃	大	田		斉
〃	鈴	戸	順	造
〃	宇	木	義	一
〃	橋	川	康	弘
〃	亀	本	政	則
〃	村	田	雅	洋
〃	本	川	た	か
〃	齋	多		し
〃	岡	藤	達	清
〃	本	田		也
〃	藤	間	美	好
〃	鈴	野	眞	都
〃		木		子
				一

(発令順 ※は故人)

# 8 運 営 概 況

## (1) 所属別職員数

(令和4年6月1日現在)

所属	職	学長	副学長	教員					事務・技術系職員					合計		
				教授	准教授	講師	助教	助手	小計	事務職員	技術職員	技能職員	労務職員		小計	
学長		1													0	1
副学長			10												0	10
医学部				63	39	56	131	131	420	4	52	4	1	61	481	
生命科学・社会医学系				15	10	14	27	2	68		20	3		23	91	
臨床医学系				44	20	37	97	128	326	3	26	1		30	356	
総合科学系				1	5	3			9					0	9	
附属生体情報伝達研究所				2	3	1	5	1	12		3			3	15	
附属放射性同位元素研究施設					1				1		1			1	2	
附属実験動物研究施設									3		1		1	2	5	
附属死因究明センター				1		1	1		0		1			1	1	
附属教育評価室							1		1	1				1	2	
看護学部				11	8	10	10	7	46						0	46
保健科学部				19	11	11	14	1	56						0	56
寄附講座				27	12	6	5	30	80						0	80
大学院				2(90)	(58)	(76)			2(224)						0	2(224)
総合科学教育研究センター				8	3	3			14						0	14
医療人育成・支援センター				2			3	4	10						0	10
看護師特定行為研修センター				1					1		1				1	2
医療研究推進センター				1	1				2						0	2
広報コミュニケーション室				1					1						0	1
地域医療支援センター				1					1	1					1	2
ふくしま子ども・女性医療支援センター				3	1			1	5	1					1	6
事務局				2	1	2	2	2	9	235	68	14	0	317	326	
局長・次長									0	5					5	5
総務課									0	26	13				39	39
学術情報室									0	1	8				9	9
企画財務課									0	16					16	16
医療研究推進課									0	26					26	26
教育研修支援課(助産師養成課程設置準備室)				2		2	2	1	7	31					31	38
保健科学部事務室									0	14	2				16	16
大学健康管理センター					1			1	2		1				1	3
病院管理課									0	14					14	14
医事課(医療連携・相談室、経営企画室)									0	22	27	14			63	63
復興推進課									0	8					8	8
健康調査課(甲状腺検査室)									0	72	17				89	89
附属病院				6	8	9	12	22	57	12	1,122	1	0	1,135	1,192	
病院長				1					1						0	1
医療安全管理部					1				1	2	2				4	5
感染制御部									0		2				2	2
医療情報部								1	1						0	1
患者サポートセンター					1				1		12				12	13
災害医療部									0	3	2				5	5
臨床研究管理部									0	2					2	2
ふたば救急総合医療支援センター				1	3			2	6						0	6
診療部				3		3	6	5	17		4				4	21
検査部								1	1		45				45	46
放射線部									0		46				46	46
手術部					1				1						0	1
集中治療部					1	1	1	2	5						0	5
総合周産期母子医療センター						3	2	4	9						0	9
病理部									0		9				9	9
輸血・移植免疫部									0		13				13	13
内視鏡診療部					1		2	2	5		3				3	8
リハビリテーションセンター									0		25				25	25
救命救急センター									0	1					1	1
臨床腫瘍センター							1	1	2		1				1	3
臨床工学センター									0		19				19	19
脳疾患センター						1			1						0	1
生殖医療センター								3	3		4				4	7
材料部									0			1			1	1
臨床研究教育推進部						1			1			1			0	1
性差医療センター				1				1	2						0	2
臨床研究センター									0	2	6				8	8
看護部									0	1	880				881	881
薬剤部									0	1	49				50	50
ふくしま国際医療科学センター				1					1						0	1
放射線医学県民健康管理センター				3	2	4	1	2	12						0	12
健康増進センター					2	1		2	5	3	2				5	10
甲状腺・内分泌センター				1					1						0	1
先端臨床研究センター				4	1	2	1	2	10		6				6	16
医療-産業トランスレショナルリサーチセンター				3	2	2	7	2	16	1					1	17
臨床研究イノベーションセンター								2	2						0	2
会津医療センター				18	5	18	11	8	60	18	295	5			318	378
合 計		1	10	177	96	125	197	216	811	275	1,546	24	1	1,846	2,658	

## (2) 医学部・看護学部・保健科学部の主な研究題目

### ア 医学部

生 命 科 学 ・ 社 会 医 学 系	神経解剖・発生学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経分化と神経細胞死</li> <li>・神経伝導路の形成メカニズム</li> <li>・発生過程の神経系への遺伝子導入法の開発</li> <li>・脳形成過程での細胞移動と層構築機構の研究</li> <li>・小脳内領域の形成機序と機能に関する研究</li> <li>・光遺伝学を用いた脳機能解析</li> <li>・形態形成物質のシグナリング機構についての細胞生物学的研究</li> <li>・膵臓形成に関与するシグナリング分子の解明</li> <li>・脊髄神経走行様式の肉眼解剖学</li> <li>・膝の靭帯に関する肉眼解剖学</li> </ul>
	解剖・組織学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞内分解システム</li> <li>・オートファジー（自食作用）の形態学と生理機能</li> <li>・細胞内メンブレントラフィック</li> <li>・神経組織と腫瘍細胞におけるクラスリンアダプターの機能解析</li> <li>・電子顕微鏡による細胞内微細構造解析</li> </ul>
	細胞統合生理学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンチャネル・トランスポータの分子細胞生理学</li> <li>・上皮間葉移行におけるイオン環境の影響についての研究</li> <li>・iPS細胞、脂肪由来幹細胞を用いた細胞分化の研究</li> <li>・循環生理学</li> <li>・生理学の知識を広く一般に広める方法についての研究</li> </ul>
	システム神経科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的認知（顔認知・個体関係認知）・社会行動の神経機構に関する神経生理学的・認知神経科学的研究</li> <li>・視知覚・視覚認知・視覚記憶の神経機構に関する神経生理学的・認知神経科学的研究</li> <li>・大脳辺縁系、前頭皮質、側頭皮質の機能的連関に関する神経生理学的・行動薬理学的研究</li> <li>・動物モデルを用いた統合失調症をはじめとする精神疾患の病態解明の研究</li> <li>・睡眠・覚醒調節の神経機構に関する神経生理学的・行動薬理学的研究</li> </ul>
	生化学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの進展におけるWntシグナルの機能解析</li> <li>・がんの悪性化におけるハイブリッドEMTの役割とその制御メカニズム解明</li> <li>・がん細胞の浸潤・転移における細胞膜と核膜の動態制御機構の解明</li> <li>・集団的がん細胞浸潤を司る細胞内および細胞間のシグナリング解析</li> <li>・インテグリンシグナルを介したがん細胞の動態制御</li> </ul>
	免疫学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補体系におけるセリンプロテアーゼMASP-1/3の作用機構の解明</li> <li>・加齢黄斑変性とSLEの病態形成におけるMASP-1/3の役割</li> <li>・セリンプロテアーゼMASP-3の活性化機構の解明</li> <li>・セリンプロテアーゼMASP-1/3を標的とする抗補体薬の開発</li> <li>・SLEモデルマウスにおける自己反応性B細胞の形成機構の解明</li> </ul>
	病態制御薬理医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満・生活習慣病の病態制御ならびに治療法の研究</li> <li>・KATPチャネル異常に基づく新生児糖尿病/DEND症候群の病態機序と治療法の研究</li> <li>・インスリン分泌機序に基づく糖尿病の病態研究</li> <li>・脳・全身連関に基づく糖尿病・肥満研究</li> <li>・薬物トランスポーターを介する医薬品食品相互作用の研究</li> </ul>
	微生物学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルペスウイルスの分子レベルでの発症病理の解明</li> <li>・正常細菌叢の解析</li> <li>・ゲノムを用いた微生物同定法の開発</li> <li>・抗菌・抗ウイルス活性を持つ物質の検索</li> <li>・プレバイオティクス・プロバイオティクスの研究</li> </ul>

生 命 科 学 ・ 社 会 医 学 系	基礎病理学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞接着—核内受容体シグナル伝達経路による多彩な生命現象制御</li> <li>がんの悪性形質を左右する核内受容体の新規活性制御機構</li> <li>細胞間接着分子に着目した新規がん診断マーカーの開発</li> <li>がん特異的な細胞間接着シグナルに着目した分子標的療法の開発</li> <li>幹細胞ニッチシグナルを利用した組織再生新戦略</li> <li>タイト結合分子の機能解析</li> <li>腎糸球体疾患の新規診断マーカーと治療標的の探索</li> <li>神経血管ユニットによる新たな血液脳関門制御機構と脳疾患</li> <li>カエル原腸胚表皮細胞を用いた生体バリアの高感度ライブイメージング</li> <li>幹細胞の上皮分化を制御する普遍的エンハンサーの同定</li> </ul>
	衛生学・予防医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働者の健康問題に関する研究</li> <li>健康診査・保健指導と受療行動・医療費に関する研究</li> <li>循環器疾患の発症要因の解明</li> <li>喫煙量、飲酒量の指標の検討およびその定量化方法の確立</li> <li>中毒学/トキシコロジー</li> <li>熱中症の予防と実践に関する研究</li> <li>高齢者の日常生活動作、及び健康寿命に関する研究</li> <li>地域における難病患者のQOL (quality of life) に関する質的研究</li> <li>コラボレーションを通じて学ぶ参加型・問題解決型医学教育手法の開発</li> <li>疾患マーカーの探索</li> </ul>
	公衆衛生学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病の（臨床）疫学と予防</li> <li>老年学（転倒・骨折、閉じこもりの（臨床）疫学、認知加齢）</li> <li>災害の疫学（県民健康調査、市町村支援他）</li> <li>精神保健（被災地等におけるこころの健康づくり）</li> <li>政策科学（介護保険・医療保険制度の見直し）</li> <li>地域保健（母子・成人保健、人材育成）</li> <li>予防理学療法・健康増進に関する研究</li> </ul>
	法医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>向精神薬の中毒学的研究</li> <li>白質損傷を伴う脳外傷の組織学的検討</li> <li>甲状腺ラテント癌の病理・疫学的研究</li> <li>死後変化を考慮した死後画像診断に関する基礎的研究</li> <li>死体試料を用いた生化学的検査に関する研究</li> </ul>
	放射線生命科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>低線量被ばく（医療被ばく）における染色体解析を用いた生物学的線量評価方法の確立</li> <li>ヒト正常Bリンパ球由来iPS細胞を用いたBリンパ球系（多発性骨髄腫）がん幹細胞研究</li> <li>福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた染色体解析による生物学的線量評価</li> <li>東電原発作業員の染色体解析を用いた生物学的線量評価</li> </ul>
	疫学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中、虚血性心疾患、心臓突然死、心房細動等の循環器疾患の発症・予防に関する疫学研究</li> <li>生活習慣病と心理社会的因子との関連についての疫学研究</li> <li>肥満、高血圧、糖尿病、介護予防に対する介入研究</li> <li>うつ予防のための生活習慣・ストレス対処行動に関する疫学研究</li> <li>福島県における循環器疾患の動態に関する研究</li> <li>震災が生活習慣及び生活習慣病に及ぼす影響とその対策についての疫学研究</li> <li>笑い和生活習慣病・認知症との関連についての疫学研究</li> </ul>
	放射線物理化学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発事故後の外部・内部被ばく線量評価</li> <li>原発事故で放出された放射性物質の環境動態調査</li> <li>自然放射線（ラドン・大地ガンマ線）による被ばく線量の評価</li> </ul>
	健康リスク コミュニケーション 学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全や健康に関するリスク評価、リスク管理</li> <li>リスク認知およびリスク受容とリスクコミュニケーション</li> <li>リスク対策に向けたレギュラトリーサイエンスの構築</li> <li>主観的/社会的幸福度向上のためのリスク学の確立</li> </ul>

臨床医学系	循環器内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>心不全の分子病態解明と治療学的研究</li> <li>動脈硬化の分子病態解明と治療法の開発</li> <li>冠動脈疾患の病態解明と予防的治療法の確立</li> <li>末梢動脈疾患の病態解明と治療法の確立</li> <li>不整脈の病態解明と治療法の確立</li> <li>肺高血圧症の病態解明と治療法の確立</li> <li>成人先天性心疾患の治療に関する研究</li> <li>睡眠呼吸障害の病態解明と心血管疾患に関連した治療法の確立</li> <li>循環器疾患における危険因子を考慮した疫学的研究</li> <li>PET/MRIを用いた心血管画像診断</li> <li>DNA損傷と心血管機能</li> <li>Cardio-oncology</li> </ul>
	血液内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>造血細胞移植後に発症する内皮症候群の病態解明と予防方法の開発</li> <li>造血細胞移植後の免疫異常の病態解明とその制御方法の開発</li> <li>急性白血球の新規治療標的分子の探索</li> <li>骨髄不全症候群及び急性白血球の病態解明と治療への応用</li> <li>造血異常クローンの増殖機序に関する研究</li> <li>骨髄増殖性疾患の発症及び進展に関わる遺伝子異常の解明</li> </ul>
	消化器内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>消化管癌の内視鏡的治療法の確立</li> <li>胆道疾患の内視鏡治療法の開発</li> <li>超音波内視鏡を用いた胆膵疾患の診断に関する臨床研究</li> <li>炎症性腸疾患の診断と治療、炎症性腸疾患モデルを用いた病態解析</li> <li>自己免疫性肝疾患の病態と治療に関する臨床的および基礎的研究</li> <li>肝疾患における自己抗体に関する臨床的および基礎的研究</li> <li>ウイルス性肝炎の病態と治療に関する臨床的および基礎的研究</li> <li>肝細胞癌の病態と治療に関する臨床的および基礎的研究</li> </ul>
	リウマチ膠原病内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己炎症疾患の病因、病態におけるシグナル伝達、及びバイオマーカーに関する研究</li> <li>IgG4関連疾患の病態における、補体システムの関与に関する研究</li> <li>全身性エリテマトーデスの病態における、転写因子Flt-1の関与に関する研究</li> <li>神経精神ループスの病態における自己抗体・バイオマーカーについての研究</li> <li>高齢者におけるANCA関連血管炎の治療について</li> <li>全身性エリテマトーデスの疾患レジストリ構築～LUNA study～</li> <li>ループス腎炎の予後因子の解析</li> <li>炎症性筋疾患の自己抗体に関する検討</li> <li>実臨床におけるリウマチ性疾患における関節エコーの有用性</li> </ul>
	腎臓高血圧内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>IgA腎症の成因と予後に関する臨床研究</li> <li>進行性腎障害の病態と治療に関する臨床的研究</li> <li>腎障害進展ならびに腎不全合併症における生体内レドックス調節異常に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>腎障害進展における成長因子・オートコイドの意義</li> <li>腎障害進展における脂質とその核内受容体の役割</li> <li>慢性腎臓病（CKD）とその背景因子（生活習慣病、メタボリックシンドローム）の疫学</li> <li>慢性腎臓病（CKD）医療連携システムの制度設計</li> <li>食塩感受性高血圧の成因に関する分子生物学的研究</li> <li>高血圧治療の脳血行動態・認知機能への影響</li> <li>腹膜透析の腹膜障害抑制に関する研究</li> <li>水素の抗炎症効果の臨床応用に関する研究</li> <li>骨の材質特性に関する研究</li> <li>尿毒症性骨粗鬆症の病態生理に関する研究</li> <li>脆弱性骨折予防のための多職種連携プログラムの作成</li> </ul>
	糖尿病内分泌代謝内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>副腎腫瘍および原発性アルドステロン症の診断病態治療</li> <li>Pre-Cushing Syndrome（副腎偶発腫瘍）の診断・病態・治療</li> <li>インスリン抵抗性の病態の解明と予後に関する基礎的および臨床的研究</li> <li>糖尿病性血管合併症の発症・進展機序の解明に関する基礎的および臨床的研究</li> <li>脂質異常症と動脈硬化進展機序に関する研究</li> <li>異所性脂肪および心臓脂肪に関する基礎的および臨床的検討</li> </ul>



臨床医学系	脳神経内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい反復磁気刺激法の開発と確立</li> <li>・ヒト運動野内調節機構の解明</li> <li>・PET、MRIによる脳機能分析</li> <li>・パーキンソン症候群の疾患バイオマーカーの探索と新規治療法開発の研究</li> <li>・不随意運動の発生機序に関する研究</li> <li>・パーキンソン病における認知機能の心理学的研究</li> <li>・筋緊張性ジストロフィーにおける社会認知機能に関する研究</li> <li>・チャンネル病のチャンネル機能解析と遺伝子解析</li> <li>・神経興奮性異常が神経疾患の病態生理に及ぼす影響に関する研究</li> <li>・神経軸索興奮特性検査の神経疾患バイオマーカーとしての応用の研究</li> <li>・筋興奮特性検査の神経筋疾患バイオマーカーとしての応用の研究</li> <li>・筋萎縮性側索硬化症の疾患バイオマーカーの探索と新規治療法開発の研究</li> </ul>
	呼吸器内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19重症化予測因子に関する研究</li> <li>・喘息ならびにCOPDの新しい診断治療法の開発</li> <li>・喘息ならびにCOPDの遺伝薬理学 (Pharmacogenetics)</li> <li>・間質性肺疾患の発症および病態に関する研究</li> <li>・呼気を用いた呼吸器疾患診断法の開発</li> <li>・自然免疫と肺疾患に関する研究</li> <li>・肺癌の新しい診断法の開発</li> <li>・肺癌の新しい化学療法の開発</li> <li>・気管支鏡を用いた新しい診断治療法の開発</li> <li>・抗結核薬の薬理学</li> <li>・喘息気道炎症マーカーの探索</li> <li>・喘息治療における抗体療法</li> <li>・糖鎖と肺疾患に関する研究</li> <li>・急性肺障害の病態に関する研究</li> </ul>
	消化管外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胃がん、食道癌、大腸癌に対する低侵襲手術（鏡視下手術、ロボット手術）の開発</li> <li>・胃がん、食道癌、大腸癌に対する癌免疫療法の臨床開発と先進医療</li> <li>・Stage II, III大腸癌の網羅的遺伝子解析によるバイオマーカーの同定</li> <li>・放射線照射+免疫チェックポイント阻害剤による新規がん免疫療法の臨床試験</li> <li>・WT1, surviving, MAGE-4を抗原とした樹状細胞ワクチンの開発</li> <li>・消化器癌におけるPD-L1の発現調節機構の解明</li> <li>・術前化学放射線療法における血中遊離癌細胞の臨床的意義の検討</li> <li>・炎症性腸疾患における外科介入の臨床的検討</li> <li>・触覚センサー付き鉗子の産学共同開発</li> </ul>
	肝胆膵・移植外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腫瘍免疫療法に関する基礎的研究とその臨床応用</li> <li>・臓器再生誘導に関する研究</li> <li>・肝再生および肝虚血再灌流障害の機構解析とその臨床応用</li> <li>・膵島移植実験およびその臨床応用</li> <li>・肝・膵切除に対する低侵襲手術（腹腔鏡手術、ロボット手術）の開発</li> <li>・自己膵島移植に関する研究</li> <li>・拒絶反応の制御に関する研究</li> <li>・消化器癌における微小転移と肝細胞に関する研究</li> <li>・消化器癌に対する化学療法、化学放射線療法の効果予測法の確立</li> <li>・消化器癌の遺伝子解析による分子生物学的研究</li> <li>・肝胆膵領域疾患に対する手術法の研究と集学的治療法の開発</li> </ul>
	呼吸器外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腫瘍免疫に関する基礎的研究とその臨床応用</li> <li>・肺癌の分子生物学および予後因子の研究</li> <li>・AIを用いた新たな画像解析システムの開発</li> <li>・肺癌に対する低侵襲手術の開発（胸腔鏡手術、ロボット支援手術）</li> <li>・肺癌に対する免疫療法の開発</li> <li>・胸部領域手術における先端的医療機器の開発</li> </ul>

臨床医学系	呼吸器外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腫瘍免疫に関する基礎的研究とその臨床応用</li> <li>・肺癌の分子生物学および予後因子の研究</li> <li>・AIを用いた新たな画像解析システムの開発</li> <li>・肺癌に対する低侵襲手術の開発（胸腔鏡手術、ロボット支援手術）</li> <li>・肺癌に対する免疫療法の開発</li> <li>・胸部領域手術における先端的医療機器の開発</li> </ul>
	乳腺外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整容性と根治性を考慮した乳癌の次世代診断治療法の開発</li> <li>・乳房・腋窩領域手術における先端的医療機器開発</li> <li>・次世代画像診断による至適な乳房温存手術の適応と臨床応用</li> <li>・次世代高度ナビゲーション技術を応用したセンチネルリンパ節生検の臨床応用</li> <li>・乳癌サブタイプ別診断に関する新規遺伝子セットの基礎および臨床研究</li> <li>・乳癌の長期予後と関連する新規遺伝子セットの基礎および臨床研究</li> <li>・乳癌薬物療法の治療効果予測分子マーカーの開発及び臨床応用</li> <li>・乳癌における新規腫瘍マーカーの臨床的意義と機能解析</li> <li>・家族性乳癌の分子生物学的研究および新規治療法の開発</li> </ul>
	心臓血管外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心拍動下手術に関する研究</li> <li>・ステントグラフトの改良、臨床応用に関する研究</li> <li>・弓部大動脈手術時の脳保護に関する研究</li> <li>・急性大動脈解離手術におけるステントグラフト治療の開発</li> <li>・手術シミュレーション及び評価法の開発</li> <li>・ハートシートを用いた心不全治療</li> <li>・弁膜症における心機能と心筋細胞障害の研究</li> <li>・大動脈粥腫遊離防止に関する研究</li> </ul>
	脳神経外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳神経外科手術の開発</li> <li>・神経内視鏡手術の開発</li> <li>・脳、脳神経、脊髄の誘発電位に関する電気生理学的研究とその臨床応用</li> <li>・蛍光脳血管撮影とレーザー光源の開発と臨床応用</li> <li>・脳腫瘍の新規診断・治療分子の探索</li> <li>・神経線維腫症2型の新規治療開発</li> <li>・言語及び高次脳機能に関わる脳内ネットワークの解明</li> <li>・先進的な画像誘導手術の開発</li> </ul>
	整形外科科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰部脊柱管狭窄に対する病態解明の研究</li> <li>・腰椎椎間板ヘルニアによる神経根障害のメカニズムと治療に関する研究</li> <li>・腰部神経根性疼痛に対する薬剤治療効果に関する研究</li> <li>・慢性痛の病態解明、特にリエゾン精神医学との関与についての研究</li> <li>・慢性腰痛の病態解明と治療法の開発（再生医療を含む）</li> <li>・スポーツ障害の疫学研究</li> <li>・骨粗鬆症の疫学的研究</li> </ul>
	形成外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先天異常に対する初期手術および成人に至るまでのトータルケアの研究</li> <li>・微小血管外科を用いた遊離組織移植の研究</li> <li>・顔面神経麻痺に対する形成外科的手術の研究</li> <li>・皮弁移植のシミュレーション外科の研究</li> <li>・端側神経縫合の研究</li> <li>・創傷治癒機転の解析</li> <li>・リンパ浮腫に対する外科的治療の研究</li> <li>・乳房再建法の研究</li> </ul>
	産科婦人科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性羊胎仔動物実験モデルを用いた、胎児低酸素血症下における胎児内分泌学的動態・循環動態の研究</li> <li>・子宮内膜症における性ステロイド環境の解明と新しい治療法に関する研究</li> <li>・ヒト射出精子の受精能の評価をヒト精子核蛋白の異種性、卵管上皮との相互作用の面から研究</li> <li>・未成熟精子の受精能、受精のメカニズムを顕微授精のテクニックを用いて研究</li> <li>・卵巣癌が癌性腹膜炎に至る機序をマウス癌性腹膜炎モデルにより分子生物学的、病理学的に研究</li> <li>・婦人科悪性腫瘍内に出現する腫瘍関連マクロファージについての病理学的・分子生物学的研究</li> </ul>

臨床医学系	小児科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ脳症の病態解明と治療法開発に関する研究</li> <li>・亜急性硬化性全脳炎（SSPE）の病態解明と有効な治療法開発に関する研究</li> <li>・メカニカルストレスが胎児マウス肺に与える影響についての分子生物学的検討</li> <li>・RSウイルスワクチン開発を目指した基礎的研究</li> <li>・腎糸球体の再生過程における糸球体内皮細胞の役割に関する検討</li> <li>・グルココルチコイドの血管透過性調整に関わるマイクロRNAの同定と臨床応用への検討</li> <li>・川崎病の病態解明と治療抵抗性に関する研究</li> <li>・新生児慢性肺障害の発症機序の解明と新たな治療法の開発</li> <li>・急性・慢性腎障害および難治性中枢神経感染症の発症・進展過程におけるDAMPsの役割とその制御システムの検討</li> <li>・溶血性尿毒症性症候群の発症病態と腎修復過程の解明および新規治療薬開発</li> <li>・急性呼吸器ウイルス感染症の重症化メカニズムの解明</li> <li>・母乳低温殺菌装置の殺菌効果並びに栄養成分に及ぼす影響についての研究</li> <li>・心臓発生初期にある胎児の心行動態に関する研究</li> <li>・小児における抗インフルエンザ薬低感受性ウイルス出現の監視と制御</li> <li>・超早産児に対するカフェイン治療の安全性・有効性に関する研究</li> <li>・急性呼吸器感染症の分子疫学研究</li> </ul>
	眼科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢黄斑変性の治療に関する臨床的・基礎的研究</li> <li>・網膜疾患の画像診断（形態と機能の関連）</li> <li>・糖尿病網膜症の分子生物学的研究</li> <li>・脈絡膜新生血管の発症機序解明と薬物治療</li> <li>・斜視、弱視に関する臨床的・基礎的研究</li> <li>・網膜硝子体疾患の手術治療に関する臨床的・基礎的研究</li> <li>・眼部腫瘍の臨床的研究</li> <li>・視神経疾患に対する新規治療法の研究</li> </ul>
	皮膚科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚の免疫・アレルギー性疾患の発症機序と治療</li> <li>・自己免疫性水疱症の発症機序</li> <li>・皮膚硬化の発症機構の解析</li> <li>・乾癬の病因・病態に関する研究</li> <li>・アトピー性皮膚炎の発症機序に関する研究</li> <li>・アレルギー性接触皮膚炎の解析</li> <li>・皮膚悪性リンパ腫の発症機序に関する研究</li> <li>・メラノーマの臨床研究</li> <li>・膠原病の皮膚病変の成立機序の検討</li> </ul>
	泌尿器科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット支援手術・腹腔鏡手術の術式の開発</li> <li>・小児膀胱尿管逆流に対する腹腔鏡下手術</li> <li>・前立腺肥大症・過活動膀胱などの下部尿路機能障害の病態解明と治療の応用</li> <li>・腎移植における拒絶反応の病態解明</li> <li>・男子不妊症の病態解明と新規治療法の開発</li> <li>・膀胱癌転移に関する病態解明</li> <li>・腎細胞癌における免疫チェックポイント阻害剤・分子標的薬に対する耐性機序の解明</li> <li>・前立腺癌細胞におけるアンドロゲンレセプター発現抑制機序の解明</li> <li>・非免疫学的機序による移植腎機能低下機序の解明</li> <li>・尿流動態検査を用いた低活動膀胱発症機序の解明</li> <li>・女性骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下手術</li> <li>・尿路生殖器癌における新規放射線内用療法の開発</li> </ul>
	耳鼻咽喉科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭頸部癌（特にウイルス関連癌）の転移能と発癌メカニズム・上皮間葉転換に関する研究</li> <li>・頭頸部癌のバイオマーカーに関する研究</li> <li>・センチネルリンパ節における腫瘍免疫応答</li> <li>・頭頸部悪性腫瘍に対する新しい診断・治療技術（経口腔的手術を含む）の開発</li> <li>・嚥下障害の重症度診断と早期発見に関する研究</li> <li>・好酸球性副鼻腔炎および副鼻腔真菌症の免疫応答に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>・難聴の遺伝子解析と人工聴覚器に関する臨床的研究</li> </ul>

臨 床 医 学 系	神経精神医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障がい者の社会精神医学的研究</li> <li>・東日本大震災後の心理社会的調査研究</li> <li>・精神疾患の認知生理学的研究</li> <li>・精神疾患のモダリティ統合によるバイオマーカー研究</li> <li>・児童・思春期・成人の発達障害研究</li> <li>・臨床精神薬理遺伝学的研究</li> <li>・認知行動療法研究</li> <li>・精神力動的療法研究</li> <li>・精神疾患死後脳の分子生物学的研究</li> <li>・依存症集団療法研究</li> <li>・認知症の神経画像および生理学的研究</li> </ul>
	放射線医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PET/CT、PET/MRによるがん診断に関する研究</li> <li>・脳神経疾患・循環器疾患のマルチモダリティイメージングに関する研究</li> <li>・CT、MRI、PET、SPECTによる画像診断に関する研究</li> <li>・インターベンショナルラジオロジーに関する研究</li> <li>・核医学治療に関する研究</li> </ul>
	麻酔科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身麻酔薬と脳内神経伝達物質に関する研究</li> <li>・麻酔薬の薬物動態・力学に関する研究</li> <li>・周術期の免疫能に関する研究</li> <li>・福島県における緩和ケアシステム構築に関する研究</li> <li>・手術中モニターに関する研究</li> <li>・脳虚血に関する研究</li> </ul>
	救急医療学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療の質の向上に関する研究</li> <li>・心肺蘇生法の研究</li> <li>・救急搬送システムの解析・ITC化の推進</li> <li>・重症患者における管理</li> <li>・災害時の救急医療・病院避難の検討</li> <li>・原子力災害医療と緊急被ばく医療</li> <li>・僻地救急医療の問題と対策</li> <li>・緊急気道確保法の研究</li> <li>・ドクターヘリ救急自動通報システム（D-Call Net）の研究</li> </ul>
	病理病態診断学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リンパ球の分化・成熟、機能に関する研究</li> <li>・反応性リンパ節疾患の病理</li> <li>・悪性リンパ腫の生物学的特性に関する病理学的・分子生物学的研究</li> <li>・小児腫瘍の病理学的・遺伝子学的研究</li> </ul>
	臨床検査医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床検査に関する臨床研究</li> <li>・超音波診断に関する臨床研究</li> <li>・小児・若年者甲状腺疾患に関する研究</li> <li>・甲状腺癌の分化・脱分化機構の解明とバイオマーカーの探索</li> <li>・臨床検査にて同定される微生物に関する研究</li> </ul>
	感染制御学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床検体からの原因微生物の核酸検出による感染症診断</li> <li>・病原体の伝播経路や環境衛生の研究</li> <li>・急性感染症の早期に働く自然免疫細胞の役割</li> </ul>
	輸血・移植免疫学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造血幹細胞に関する研究</li> <li>・輸血と移植に伴う同種免疫反応と免疫寛容</li> <li>・母子不適合妊娠（赤血球型、血小板型）の診断等と治療</li> <li>・治療的造血前駆細胞と免疫細胞の分離と培養</li> <li>・造血細胞の血管病変への関与</li> </ul>
	地域・家庭医療学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を基盤としたコモン・プロブレムの診断・治療・予防に関する研究</li> <li>・生活習慣病の予防的介入の効果に関する研究</li> <li>・患者中心の医療、家族志向ケアの教育効果及び臨床効果に関する研究</li> <li>・地域の保健・医療・介護・福祉・教育を包括した取り組みの評価に関する研究</li> <li>・医療政策学、医療経済学、地域看護学、医療IT学などを含む学際的研究</li> <li>・プライマリ・ヘルス・ケア政策導入の国際比較に関する研究</li> <li>・医学生・研修医・専攻医のアイデンティティ形成に関する研究</li> <li>・メディカル・ジェネラリズムの文化人類学的研究</li> </ul>

臨床 医学 系	放射線健康管理学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原発事故に伴う住民の線量評価に関する研究</li> <li>・原発事故後の被ばく防護措置に関する研究</li> <li>・原発事故直後の避難に伴う住民への健康影響に関する研究</li> <li>・放射性ヨウ素被ばく低減のための安定ヨウ素剤に関する研究</li> <li>・放射線災害に伴う二次的な健康影響に関する研究</li> <li>・原発事故後のコミュニケーション、放射線不安、およびそれに対する放射線教育に関する研究</li> </ul>
	甲状腺内分泌学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲノム編集による甲状腺腫瘍の発癌に関する研究</li> <li>・甲状腺癌の発癌機構に関する研究</li> <li>・甲状腺ホルモン輸送と作用に関する研究</li> <li>・甲状腺未分化癌における遺伝子治療の開発</li> <li>・内分泌領域（甲状腺・副甲状腺・副腎）の内視鏡手術の開発と臨床応用</li> <li>・多発性内分泌腺腫症の分子生物学的解明と治療法の研究</li> <li>・内分泌腫瘍における骨・カルシウム代謝の研究</li> <li>・低線量被曝の甲状腺に与える影響の研究</li> <li>・甲状腺超音波診断</li> <li>・組織弾性イメージング</li> <li>・小児甲状腺癌の診断と治療</li> <li>・ヨード摂取と甲状腺疾患について</li> <li>・内分泌腫瘍に関するiPS細胞樹立とその応用</li> <li>・甲状腺癌と免疫調節機構について</li> </ul>
	災害こころの医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害、とくに原子力災害が及ぼす精神保健上の問題に関する研究</li> <li>・被災地住民への有効な介入技法の検討</li> <li>・支援者の精神保健に関する調査研究およびその介入</li> <li>・トラウマやPTSD等に関する、被災地での心理教育技法の確立</li> <li>・原子力災害におけるスティグマ発生に関するメカニズムとその予防に関する検討</li> <li>・新型コロナ感染症が及ぼすメンタルヘルスへの影響とそのケア</li> </ul>
	放射線腫瘍学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線による抗腫瘍免疫の活性化に関する基礎・トランスレーショナル研究</li> <li>・免疫療法同時併用放射線療法（免疫放射線療法）に関する臨床研究</li> <li>・腫瘍の低酸素状態と放射線治療効果、および、その修飾に関する研究</li> <li>・高精度放射線治療（強度変調放射線療法、定位放射線療法）に関する臨床研究</li> </ul>
	腫瘍内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳癌を中心とした分子標的治療薬の臨床開発研究</li> <li>・がん薬物療法の有害事象に関する研究</li> <li>・乳癌のエストロゲン受容体に関連した分子生物学的研究</li> </ul>
	放射線災害医療学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力災害時における医療機関等の事業継続や避難に関する研究</li> <li>・原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案</li> <li>・放射線被ばく不安に関連した潜在的要因の解析によるオーダーメイドな放射線リスクコミュニケーションの開発</li> <li>・東京電力福島第一原子力発電事故における住民の線量評価に関する包括研究</li> <li>・高線量被ばくによる臓器障害に関する治療法の研究</li> <li>・新開発シャツ型心電計の生理学的指標変動による原子力災害対応者の精神的負荷要因調査</li> <li>・CBRNE災害時の業務対応意志調査</li> <li>・災害訓練シミュレーションソフトウェアの開発</li> </ul>
	リハビリテーション 医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高齢者における脊柱の矢状面での変形がADL・QOLに及ぼす影響の調査研究</li> <li>・円背防止の新たな運動療法の開発</li> <li>・FDG-PETによるさまざまな身体活動時における筋活動量の計測</li> <li>・変形性股関節症の術後患者に対する身体的評価、ADL、QOLの経時的変化の調査研究</li> <li>・脳卒中片麻痺患者の上肢麻痺に対する末梢神経電気刺激の効果に関する研究</li> <li>・リハビリテーションロボットによる機能障害の改善効果に関する研究</li> <li>・高齢者の膝内反変形の原因の解明と予防体操の開発</li> <li>・再生医療とリハビリテーションのハイブリッド治療の開発</li> <li>・スポーツによる腱障害発生の解明と治療の開発</li> <li>・障害者スポーツによる障害者の健康やQOLに対する影響の調査研究</li> <li>・がん患者の廃用症候群に対する効果的な運動療法の開発</li> <li>・地域リハビリテーションによる高齢者・障害者の健康増進、生きがい感への効果に関する研究</li> <li>・超音波検査を利用した手部腱断裂のリハビリテーションプログラムの開発</li> <li>・高次脳機能障害患者に対する生活のしづらさの調査研究</li> <li>・術後疼痛に影響を与える予測因子の検討</li> <li>・静止立位における機能的左右差の検討</li> </ul>



総合科学系	人間科学講座	生命倫理学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の近代医学・医療史に関する研究</li> <li>カント倫理学をはじめとする西欧の倫理学研究</li> <li>日本およびフランスの憲法・社会保障法・生命倫理法研究</li> </ul>
		言語学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語現象にかかわる人間の認知能力と運用能力の研究</li> </ul>
	自然科学講座	数理情報学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>数理ファイナンスにおける金融派生証券の価格付けと最適投資問題の研究</li> <li>意思決定理論における決定基準モデル化の研究</li> <li>Pin(2)モノポール方程式のBauer-Furuta理論に関する研究</li> <li>4次元多様体をファイバーとするファイバー束の群作用の滑らかさについての研究</li> </ul>
		先端化学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属ナノ粒子の精密合成と機能開発</li> <li>金属を介した核酸塩基対の構造/物性解析</li> <li>遷移金属錯体における構造と磁性の研究</li> </ul>
		分子細胞生物学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘムタンパク質の構造と機能</li> <li>グロビン属タンパク質における結合酸素の安定化機構</li> <li>ゾウリムシの核分化に伴うゲノム再構成機構</li> <li>X線結晶構造解析によるタンパク質の立体構造決定</li> </ul>
		数理物質科学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>分子性物質の伝導性と磁性のNMR研究</li> <li>観測的宇宙論における重力レンズ効果の理論的研究</li> <li>パワースペクトル密度と傾きヒストグラムを用いた表面物性評価に関する研究</li> <li>自然放射線の測定と解析</li> </ul>
生体情報伝達研究所		生体物質研究部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>疾患要因や癌予後と関連する分子機能の解明</li> <li>新規シグナル分子標的薬剤の開発</li> <li>細胞周期特異的なシグナル分子基盤に関する研究</li> </ul>
		細胞科学研究部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞内でのタンパク質の品質管理・動態制御・運命決定機構の解明</li> <li>受精における膜融合機構の解明</li> <li>生細胞での分子ダイナミクス解析のための新たなバイオイメーjing技術の開発</li> </ul>
		生体機能研究部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>哺乳動物の脳神経系における情報処理の機構</li> <li>行動選択、切り替え基盤となる神経回路ネットワークの機構</li> <li>脳神経疾患モデル動物の開発</li> </ul>
		放射性同位元素研究施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気中および降雨・降雪中の放射性物質濃度の測定と解析</li> <li>放射性同位元素をトレーサーとしたタンパク質の機能解析</li> <li>細胞機能におけるエピジェネティクス調節機構の解明</li> </ul>
		実験動物研究施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>病態/疾患モデルの開発</li> <li>疼痛関連行動の解析</li> <li>実験動物飼育技術の改良と開発</li> <li>動物実験倫理の教育</li> </ul>
		死因究明センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>死後CT画像撮影に関する技術的検討</li> <li>死後経過時間による死後CT画像所見に与える影響に関する基礎的研究</li> <li>剖検による死後CT画像所見の検討</li> </ul>
		教育評価室	<ul style="list-style-type: none"> <li>医学教育の評価方法に関する研究</li> </ul>

## イ 看護学部

総合科学部門	言語学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の意味論・語用論</li> </ul>
	行動科学分野 (社会学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本を中心に東アジアの農耕文化、社会に関する研究</li> <li>子育て・子育て支援に関する実践的な研究</li> </ul>
	行動科学分野 (心理学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理学的支援方法の研究</li> <li>家族療法、ブリーフ・セラピー、リフレクティング・プロセス、ナラティブ・セラピーの 応用</li> </ul>
	保健情報学・疫学分野 (医療統計学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠、出産、育児に関する疫学</li> <li>人材育成プログラムの開発と評価</li> <li>ヘルスリテラシーに関する研究</li> </ul>
生命科学部門	形態機能学	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん支持療法の開発</li> <li>唾液腺細胞の初代培養の構築と分化機構の研究</li> <li>分泌の分子メカニズムの解明</li> </ul>
	病態機能学	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒトの検体を用いたがんの診断治療に寄与する新しいバイオマーカーの探索</li> <li>新薬の薬効および副作用の臨床的評価</li> </ul>

基礎看護学部門	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護技術の教育方法に関する研究</li> <li>糖尿病看護に関する研究</li> <li>看護教育学に関する研究</li> <li>口唇裂口蓋裂患者への看護に関する研究</li> <li>F.ナイチンゲールの思考の特徴に関する研究</li> <li>看護実践能力とその育成に関する研究</li> <li>在宅療養に関する研究</li> </ul>
	看護管理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護管理学に関する研究</li> <li>看護管理者のコンピテンシーと成果に関する研究</li> </ul>
成人・老年看護学部門	成人看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん看護外来に関する研究</li> <li>造血管腫瘍患者の感染対処に関する研究</li> <li>がん経験者の就労に関する研究</li> <li>膀胱がん患者のQOLを高める支援に関する研究</li> <li>婦人科がん術後患者のQOLに関する研究</li> <li>がん患者の心身緊張緩和に関する研究</li> <li>がん患者のターミナルケアに関する研究</li> <li>より良い看取りにつながる死後処置に関する研究</li> <li>救急クリティカルケア看護に関する研究</li> <li>災害急性期における看護実践シミュレーション教育に関する研究</li> <li>肺切除患者のリハビリテーションに関する研究</li> </ul>
	老年看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の転倒予防に関する研究</li> <li>高齢者の周手術期看護に関する研究</li> <li>高齢者の排泄ケアに関する研究</li> <li>高齢者の退院支援に関する研究</li> <li>高齢糖尿病患者の在宅療養生活継続に関する研究</li> <li>高齢者の睡眠に関しての研究</li> <li>高齢者の服薬管理に関する研究</li> <li>心不全患者と家族の療養支援に関する研究</li> </ul>
小児・精神看護学部門	小児看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイリスク新生児と家族への支援に関する研究</li> <li>慢性疾患とその家族への支援に関する研究</li> <li>子どもと家族のグリーフケア・サポートに関する研究</li> <li>小児看護学基礎教育に関する研究</li> <li>闘病仲間を失った子どもの支援に関する研究</li> <li>小児看護学基礎教育に関する研究</li> </ul>
	精神看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害のある子どもと家族への支援に関する研究</li> <li>親を亡くした子どもへの支援に関する研究</li> <li>学校ヘルスマメンタルリテラシー教育に関する研究</li> <li>リフレクティングを用いた精神障害者家族に対する支援に関する研究</li> <li>精神科病棟看護師のリハビリ志向を高める研修プログラムに関する研究</li> <li>摂食障害患者に対するケアに関する研究</li> </ul>
地域・公衆衛生看護学部門		<ul style="list-style-type: none"> <li>病院から在宅へ移行する療養の場とケアに関する研究</li> <li>中高年者のヘルスプロモーション行動とその教育に関する研究</li> <li>産業看護、行政看護に関する研究</li> <li>地域保健活動における住民の主体性、社会的行動に関する研究</li> <li>公衆衛生看護活動、保健師の現任教育に関する研究</li> <li>東日本大震災及び福島原子力発電所事故の被災者および支援者に関する研究</li> <li>子どものむし歯予防、5歳児健康診査に関する研究</li> <li>孫育てをしている祖父母に関する研究</li> <li>避難指示解除地域在住高齢者の健康と日常生活支援</li> </ul>
母性看護・助産学部門		<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生を対象にしたいのちの教育に関する研究</li> <li>ウェルネス看護診断に関する研究</li> <li>ケア場面における助産診断の分析</li> <li>育児支援団体の特性に応じてカスタマイズ可能な介入プログラムの開発</li> <li>父親を対象とした育児講座の試行</li> <li>妊産褥婦の喫煙とケアに関する研究</li> <li>母親が母子健康手帳に抱く思い</li> </ul>

## ウ 保健科学部

<p>理学療法学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軽症パーキンソン病当事者が主体となる地域における健康増進活動のフィージビリティ研究</li> <li>・ 運動器慢性痛の病態解明と有効な治療法の開発</li> <li>・ 歩行中の重心移動と機械的効率性の研究</li> <li>・ 呼吸器疾患患者における在宅酸素療法の導入が身体活動性に与える影響に関する研究</li> <li>・ 地域在住高齢者の転倒要因となる足部形態による運動機能の分析</li> <li>・ がんサバイバーの運動療法と生存率の研究</li> <li>・ 脳性麻痺、発達障害児者に対するリハビリテーションの効果検証</li> <li>・ 小児リハビリテーションにおける家族中心のアプローチとShared Decision Making</li> <li>・ 地域在住高齢者における介護予防事業の効果検証</li> <li>・ 脳卒中後の運動機能障害と脳画像所見との関連性についての研究</li> <li>・ 遷延性意識障害例に対する経頭蓋直流電気刺激の効果と脳画像所見との関連についての研究</li> <li>・ 避難区域自治体でのフレイル検査におけるコロナ禍の影響についての検討</li> <li>・ 下肢関節疾患患者における非対称的下肢荷重とその運動療法に関する研究</li> <li>・ 成長期スポーツ選手、障がい者スポーツ選手の障害要因解析と障害予防策の検討</li> <li>・ 脊椎疾患、腰痛、肩こりを中心とした運動器に関する研究</li> </ul>
<p>作業療法学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業療法士による学校コンサルテーションに関する研究</li> <li>・ 脳卒中患者の日常生活活動および手段的日常生活活動に関する研究</li> <li>・ 造血器腫瘍患者の化学療法による上肢・手の機能、日常生活活動及び生活の質に関する調査</li> <li>・ 認知症における神経画像研究</li> <li>・ 要介護発生リスクに関する研究</li> <li>・ 介護老人保健施設におけるリハビリテーション効果に関する研究</li> <li>・ 認知症高齢者のBPSDに対応する家族へのバリデーショを用いた指導方法の開発</li> <li>・ 作業に関するヘルスリテラシー尺度の開発</li> <li>・ 大腿骨近位部骨折患者の家族介護者に対する介護負担感の増加およびQOLの低下に関連する要因の検討</li> <li>・ 自閉症スペクトラムの障害特性の理解の現状とその関連要因の探索</li> <li>・ 回復期病棟入院中の認知機能の低下した高齢者における集団活動の効果</li> <li>・ パルス磁場を用いた骨格筋および末梢神経刺激による神経リハビリテーション開発</li> <li>・ 神経生理学的手法を用いた上肢および手指機能に関する研究</li> <li>・ パーキンソン病患者の認知機能障害に関する神経画像研究</li> <li>・ パーキンソン病患者の上肢手指動作の困難さが社会参加やQOLに与える影響</li> <li>・ 筋強直性ジストロフィー患者の認知機能障害に関する研究</li> <li>・ 通いの場におけるeスポーツ交流事業が地域在住高齢者の認知機能や日常生活活動へ与える影響の解明</li> </ul>
<p>診療放射線科学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医用画像におけるコンピュータ支援診断システムの研究開発</li> <li>・ 心臓血管撮影時の術者被曝防護を目的とした防護具の開発</li> <li>・ マルチモーダルイメージングによる定量的生体機能評価法の開発</li> <li>・ ヒトの機能を評価し機能拡張に繋げるためのイメージング研究</li> <li>・ マンモグラフィ撮影技術の可視化と技術伝承</li> <li>・ 診断・治療を目的とした標識プローブの開発</li> <li>・ PET/CT、SPECT/CTを用いた腫瘍・中枢神経系分子イメージングの定量性および臨床的有用性に関する研究</li> <li>・ 多様な放射線治療モダリティの幾何学的精度を相互比較できる品質管理手法の開発</li> <li>・ 癌治療における免疫療法と放射線治療</li> <li>・ 情報処理技術を応用した医療放射線被ばく管理システムの企画開発</li> <li>・ 原子力災害時の住民の放射線防護と線量評価の研究</li> </ul>

臨床検査学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル動物を用いた認知症の基礎研究</li> <li>・グリオーマ、脱髄疾患の診断・治療薬開発</li> <li>・アルツハイマー関連タンパク質の機能解析</li> <li>・生体糖鎖の疾患生化学</li> <li>・病原微生物の迅速検出法に関する研究</li> <li>・薬剤耐性菌の耐性機序に関する研究</li> <li>・生活習慣病および心血管疾患管理における生理検査およびバイオマーカーの活用</li> <li>・動脈のBeta応答解明と検査法の開発研究</li> <li>・関節リウマチの病理・病態解析</li> <li>・ヒアルロン酸の関節での代謝に関する研究</li> <li>・細胞培養技術を利用した抗がん剤感受性試験の開発</li> <li>・糖転移酵素による病態制御機構の解析</li> <li>・食品由来機能性成分の有効利用に関する研究</li> <li>・プロテオスタシスが破綻する疾患の発症機序の解明とバイオマーカーの検索</li> <li>・代謝機能改善を誘導する機能性食品の創出と疾病予防へのアプローチ</li> <li>・血中IgG4の存在様式の解明</li> <li>・血栓性素因と出血性素因の病態評価法に関する研究</li> </ul>	
総合科学	人文社会科学系領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画の言語「役割語」を用いたプロジェクトベース型英語ライティングの実践</li> <li>・近代日本の優生学史／身体観・生命観を手掛かりとした社会秩序論</li> <li>・技能統合型ライティングにおける形成的評価ルーブリックの開発・妥当性検証</li> </ul>
	自然科学系領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続的過程を基軸とする新規有機合成反応の開発</li> <li>・キラルメタロカルバニオンの求電子置換反応の立体化学</li> <li>・原発事故後の野生動物への放射線影響に関する研究</li> <li>・低線量放射線の幹細胞への影響に関する研究</li> <li>・放射線が誘発する遺伝的不安定性とバイスタンダー効果に関する研究</li> <li>・染色体の異数化および非自己染色体の認識機構に関する研究</li> <li>・健康増進事業に関する統計科学研究</li> </ul>

### (3) 大学学生数（県内県外者別）

（令和4年6月1日現在）

区 分		学 年		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
		県内	県外	計	計	計	計	計	計	計
医 学 部	県内	45 (18)	45 (16)	48 (19)	43 (11)	40 (15)	44 (12)			265 (91)
	県外	92 (27)	87 (28)	94 (26)	91 (28)	92 (32)	78 (28)			534 (169)
	計	137 (45)	132 (44)	142 (45)	134 (39)	132 (47)	122 (40)			799 (260)
看 護 学 部	県内	57 (52)	65 (62)	58 (50)	65 (62)					245 (226)
	県外	28 (24)	22 (20)	22 (20)	21 (20)					93 (84)
	計	85 (76)	87 (82)	80 (70)	86 (82)					338 (310)
保 健 科 学 部	理学療法学科	県内	22 (13)	22 (15)						44 (28)
		県外	18 (4)	18 (6)						36 (10)
		計	40 (17)	40 (21)						80 (38)
	作業療法学科	県内	31 (22)	26 (22)						47 (44)
		県外	9 (8)	12 (8)						21 (16)
		計	40 (30)	38 (30)						78 (60)
	診療放射線学科	県内	15 (6)	16 (10)						31 (16)
		県外	10 (5)	9 (4)						19 (9)
		計	25 (11)	25 (14)						50 (25)
	臨床検査学科	県内	20 (17)	23 (17)						43 (34)
		県外	20 (20)	17 (10)						37 (30)
		計	40 (37)	40 (27)						80 (64)
保健科学部 合計		145 (95)	143 (92)							288 (187)
合 計	県内	190 (128)	197 (142)	106 (69)	108 (73)	40 (15)	44 (12)			685 (439)
	県外	177 (88)	165 (76)	116 (46)	112 (48)	92 (32)	78 (28)			740 (318)
	計	367	362	222	220	132	122			1,425

（注）（ ）は女子数で内数を示す。

### (4) 大学院学生数

（令和4年6月1日現在）

区 分		学 年		1 年	2 年	3 年	4 年	計
		1 年	2 年	3 年	4 年	計		
医 学 研 究 科	医学専攻(博士課程)	19	56	46	98			219
	医科学専攻(修士課程)	7	8					15
	災害・被ばく医療科学共同専攻(修士課程)	5	10					15
	計	31	74	46	98			249
看 護 学 研 究 科	看護学専攻(博士後期課程)	2	-	-				2
	看護学専攻(博士前期課程)	4	16					20
	計	6	16					22
合 計		37	90	46	98			271



## (5) 学位授与者数

### ① 医学博士

#### (ア) 旧 制

総数	年 度	34年度	35年度
217		5	212

#### (イ) 新 制

総数	年度	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
大学院		—	—	—	11	19	20	13	21	15	6	2	1	0	2	4	1	0	5	1	2	2
論 文		2	8	15	13	42	10	14	20	17	12	6	5	9	6	22	28	30	43	41	36	27
計		2	8	15	24	61	30	27	41	32	18	8	6	9	8	26	29	30	48	42	38	29

総数	年度	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
大学院		2	2	1	3	5	8	8	6	14	7	6	12	13	15	3	11	10	6	10	19	12
論 文		18	30	32	26	35	36	50	46	65	23	48	29	88	39	61	31	30	54	32	23	24
計		20	32	33	29	40	44	58	52	79	30	54	41	101	54	64	42	40	60	42	42	36

総数	年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	計
大学院		19	9	16	20	21	21	25	25	22	19	23	19	31	28	26	26	32	29	44	753
論 文		23	16	41	25	15	18	11	11	12	11	12	2	7	8	7	11	7	8	7	1,478
計		42	25	57	45	36	39	36	36	34	30	35	21	38	36	33	37	39	37	51	2,231

### ② 医科学修士

総数	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	計
大学院		6	9	5	6	4	5	7	5	3	10	6	8	5	79

### ③ 看護学修士

総数	年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	計
大学院		5	5	1	5	6	5	8	10	1	18	10	6	8	3	7	7	8	3	7	123

### ④ 災害・被ばく医療科学修士

総数	年度	29	30	元	2	3	計
大学院		7	11	6	5	7	36

(6) 卒業生の状況

< 医学部 >

(令和4年6月1日 現在)

区分	卒業回数	卒業年度	卒業者数	地域別		県内内訳					不明	死亡	
				県外	県内	本学	開業医	公立病院	その他病院	その他			
県立女子医学 専門学校	1	23	107	52	14	—	2	—	2	10	4	37	
	2	24	65	38	6	—	3	—	—	3	4	17	
	3	25	39	17	8	—	3	—	—	5	2	12	
	小計		221	107	28	0	8	0	2	18	10	66	
県立 医 科 大 学 ( 医 学 部 )	旧制	1	28	44	8	10	—	5	—	2	3	—	26
	2	29	49	12	13	—	8	—	—	5	1	—	23
	小計		93	20	23	0	13	0	2	8	1	—	49
	新制	3	30	39	12	10	—	5	—	1	4	2	15
	4	31	43	14	9	—	4	1	2	2	2	2	18
	5	32	47	18	16	—	8	—	2	6	8	8	13
	6	33	50	13	16	—	8	—	2	6	8	8	13
	7	34	41	9	15	—	8	—	5	2	3	3	14
	8	35	42	17	16	—	7	—	1	8	2	7	7
	9	36	42	20	13	—	3	1	4	5	1	8	8
	10	37	40	13	17	—	10	—	3	4	—	10	10
	11	38	39	12	23	—	17	1	1	4	1	3	3
	12	39	41	15	19	—	8	1	5	5	—	7	7
	13	40	43	22	18	—	10	—	4	4	—	3	3
	14	41	44	18	17	1	7	—	4	5	5	4	4
	15	42	52	22	20	—	6	4	5	5	4	6	6
	16	43	65	31	26	—	17	—	7	5	1	7	7
	17	44	56	30	17	—	7	—	7	3	4	5	5
	18	45	58	12	39	1	7	2	21	8	2	5	5
	19	46	59	27	27	—	18	1	5	3	2	3	3
	20	47	82	32	43	2	19	4	15	3	3	4	4
	21	48	67	31	29	—	13	2	10	4	3	4	4
	22	49	59	27	29	1	12	1	11	4	—	3	3
	23	50	72	35	30	1	14	3	9	3	3	4	4
	24	51	64	23	33	3	11	1	12	6	2	6	6
	25	52	70	29	38	1	18	2	10	7	2	1	1
	26	53	80	29	46	1	15	2	21	7	3	2	2
	27	54	56	24	28	—	18	2	8	0	2	2	2
	28	55	84	19	60	3	20	4	29	4	2	3	3
	29	56	77	31	41	—	20	4	14	3	2	3	3
	30	57	80	21	52	4	20	1	19	8	6	1	1
	31	58	73	31	37	3	10	3	18	3	3	2	2
	32	59	83	27	53	1	20	2	24	6	2	1	1
	33	60	88	26	56	4	15	6	26	5	2	4	4
	34	61	91	34	55	8	12	4	22	9	1	1	1
	35	62	77	25	48	4	13	2	21	8	2	2	2
	36	63	92	28	58	3	16	3	29	7	2	4	4
	37	元	83	23	57	11	16	5	19	6	2	1	1
	38	2	95	43	44	6	9	6	16	7	7	1	1
	39	3	86	27	57	12	13	5	24	3	2	—	—
	40	4	91	43	44	9	7	2	21	5	3	1	1
	41	5	72	33	36	6	5	3	18	4	2	1	1
	42	6	86	52	29	7	3	2	13	4	4	1	1
	43	7	81	28	51	20	2	1	18	10	1	1	1
	44	8	88	40	43	15	—	3	22	3	5	—	—
	45	9	72	33	36	16	1	3	10	6	3	—	—
	46	10	90	41	43	12	1	2	18	10	6	—	—
	47	11	84	49	32	14	1	1	12	4	3	—	—
	48	12	78	35	40	23	—	2	14	1	3	—	—
	49	13	73	38	31	16	—	2	13	0	4	—	—
	50	14	77	46	29	18	—	3	6	2	2	—	—
	51	15	85	38	42	16	—	2	17	7	5	—	—
	52	16	73	40	30	16	—	1	12	1	3	—	—
	53	17	79	47	30	13	—	4	11	2	2	—	—
	54	18	82	48	33	12	—	—	19	2	1	—	—
	55	19	79	39	40	11	—	4	23	2	—	—	—
	56	20	79	35	41	23	—	—	15	3	3	—	—
	57	21	79	37	42	16	—	2	24	0	—	—	—
	58	22	84	41	43	12	—	—	31	0	—	—	—
	59	23	74	46	27	8	—	2	17	0	1	—	—
	60	24	80	31	48	15	—	4	29	—	1	—	—
	61	25	90	36	53	13	—	2	38	—	1	—	—
	62	26	102	52	45	5	—	6	34	—	5	—	—
	63	27	101	49	51	10	—	5	36	—	1	—	—
	64	28	110	47	57	7	—	4	46	—	6	—	—
	65	29	99	21	75	19	—	13	43	—	2	—	—
	66	30	143	44	85	18	—	17	50	—	14	—	—
	67	元	126	51	71	13	—	16	42	—	—	—	—
	68	2	123	38	70	8	—	18	44	—	15	—	—
69	3	129	51	69	5	—	19	45	—	9	—	—	
小計			5,069	2,099	2,578	466	475	217	1,179	241	195	192	
合	小計		5,383	2,226	2,624	466	496	217	1,182	267	206	307	

< 看護学部 >

区 分	卒業回数	卒業年度	卒業者数	地 域 別		県 内 内 訳				
				県外	県内	県	市町村	公立病院	その他病院	その他
県立医科大学 (看護学部)	1	13	87	57	30	10	4	1	15	—
	2	14	86	60	26	12	1	2	11	—
	3	15	83	43	40	15	—	3	18	4
	4	16	81	47	34	10	1	2	21	—
	5	17	90	51	39	2	1	14	19	3
	6	18	88	47	41	—	2	21	17	1
	7	19	89	46	43	2	1	25	15	—
	8	20	83	47	36	—	3	17	15	1
	9	21	92	52	40	—	1	13	23	3
	10	22	92	37	55	—	2	27	22	4
	11	23	89	49	40	—	2	22	14	2
	12	24	88	43	45	3	4	20	18	—
	13	25	83	34	49	4	3	21	19	2
	14	26	72	28	44	2	5	29	8	—
	15	27	85	26	59	1	7	40	8	3
	16	28	86	32	54	1	9	33	7	4
	17	29	87	33	54	3	6	31	8	6
	18	30	79	39	40	1	6	27	5	1
	19	元	80	28	52	1	5	35	7	4
	20	2	84	22	62	3	8	40	8	3
	21	3	83	26	57	5	9	36	28	5
合 計			1,787	847	940	75	80	459	306	46

(7) 解剖件数

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
正常解剖	54	57	66	47	41	62	51	49	56	53
病理解剖	(15) 64	(3) 64	(14) 53	(5) 46	(7) 37	(7) 34	(3) 42	(9) 26	(10) 31	(11) 44
法医解剖	184	196	170	198	191	204	170	217	163	149

区 分	30年度	元年度	2年度	3年度
正常解剖	62	59	54	59
病理解剖	(10) 30	(10) 35	(8) 30	(6) 31
法医解剖	137	162	131	143

(注) ( )内は院外件数で内数を示す。病理解剖には外来死亡患者・死産児を含む。

(8) 教員等の海外出張状況

< 医学部 >

区分 年度	職 種 別					計 (人)	目 的 別						
	教授	准教授	講師	助教,助手	その他		学会	医療協力	研究	留学	視察	その他	
昭和41年度	6	1				7	5					1	1
42	6		1	1		8	5		2			1	
43	9	3	1	1		14	7	1	2			4	
44		2	2	2	2	8		5	2	1			
45	5		4	1	1	11	7		2	2			
46	6	3	3	4	2	18	6	5	7				
47	7	4	3	2		16	10	4	2				
48	9	5	3	12	2	31	17	8				6	
49	13	5	4	5	1	28	11	9	2	2			4
50	14	4	5	6	1	30	18	5	2			2	3
51	21	9	8	14		52	19	11	5	4		1	12
52	11	12	7	14		44	22	11	3	3		3	2
53	18	14	14	16		62	24	7	3	6		3	19
54	19	15	3	30		67	42	13	6	1		2	3
55	12	7	8	26		53	32	8	8	3		1	1
56	15	10	6	18		49	33	5	4	5			2
57	13	5	8	17		43	32		1	4		1	5
58	16	9	6	15		46	35	3	1	4		1	2
59	10	8	10	6	1	35	25	3	1	4		2	
60	11	8	5	13		37	27	2	3	2			3
61	12	8	8	10		38	26		6	2		3	1
62	18	8	9	17		52	43		2			5	2
63	21	11	6	20		58	44		11			2	1
平成元年度	24	10	9	25	1	69	59	3	3			2	2
2	25	12	11	29	2	79	67		8				4
3	33	6	14	42	1	96	84	4	2	4			2
4	24	11	18	34	4	91	68	7	12			2	2
5	32	14	21	42		109	89	5	12	3			
6	37	17	27	55		136	108	4	20	3			1
7	35	20	29	39		123	97	2	13	3		3	5
8	46	18	30	52		146	104	3	22	3		6	8
9	46	14	22	46		128	106	4	9	3		2	4
10	35	19	32	48		134	97	2	21	6		3	5
11	26	16	14	30		86	69	4	8	1		1	3
12	30	18	17	22		87	73	1	4	1		3	5
13	22	8	12	22		64	58	3	2				1
14	24	10	19	26		79	64	3	9			2	1
15	21	16	12	22		71	62	4	5				
16	31	21	15	20		78	72	3	3				
17	31	6	20	21		78	73		5				
18	32	8	11	23		74	66		3			5	
19	28	7	12	26		73	55		8			7	3
20	43	12	14	28	1	98	82		4			6	6
21	38	18	16	24	1	97	82		4			6	5
22	44	17	20	31	5	117	95		4	1		7	10
23	31	12	18	35	2	98	80		2	2		13	1
24	21	10	12	24	5	72	63		8			1	
25	28	11	13	22		74	60		6			2	6
26	36	10	19	39	1	105	96		4			1	4
27	24	7	1	30		62	59		2			1	
28	29	10	9	27	1	76	74		2				
29	26	7	10	30		73	66		4				3
30	32	10	9	35		86	77		8	1			
令和元年度	19	5	9	25		58	54					1	3
2						0							
3						0							

< 看護学部 >

区分 年度	職 種 別					計 (人)	目 的 別					
	教授	准教授	講師	助教、助手	その他		学会	医療協力	研究	留学	視察	その他
平成10年度	5		4			9		3	2		4	
11	4					4	1	2		1		
12	6	1	1	8		16	10	1		3	2	
13	1	2	2	1		6	5		1			
14	3		1	4	8	7	1					
15		2	3			5	3		2			
16	4	1	1			6	3				3	
17	5	1		2		8	5				3	
18	4		3	1		8	3		1		4	
19	2		1	1		4	2				2	
20	6		1	2		9	4				1	4
21	2		2			4	4					
22	2		1	1		4	2				2	
23	2	1	1			4	4					
24	1					1			1			
25	1					1	1					
26	2				2	1						1
27		1	2	1		4	2		1			1
28						0						
29		1			1	1						
30	3	2	2		9	6		3				
令和元年度	2	4	1			7	4				2	1
2						0						
3						0						

(注) 平成18年度までは、准教授とある職種は助教授、助教、助手とある職種は助手と読み替える。



(9) 図書館現況

(令和4年3月31日現在)

	単行本 (冊)			雑誌 (種)		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計
光が丘	138,089	93,481	231,570	4,606	3,090	7,696
福島駅前キャンパス	6,291	1,060	7,351	61	1	62
計	144,380	94,541	238,921	4,667	3,091	7,758

電子ジャーナル			電子ブック		
和書	洋書	計	和書	洋書	計
1,461	8,358	9,819	6,818	389	7,207

備考：2キャンパス共有

(10) 令和3年度図書館利用状況

	利用者数 (人)	図書貸出	
		人員 (人)	冊数 (冊)
光が丘	71,094	5,542	12,133
福島駅前キャンパス	2,783	385	663
計	73,877	5,927	12,796

(11) 令和3年度文献相互貸借状況 (光が丘のみ)

貸 (受付) (件)			借 (依頼) (件)			
現物貸出	複写受付	計	現物借受	複写依頼	海外利用 (複写)	計
48	1,609	1,657	63	1,733	0	1,796

## (12) 科学研究費助成事業

(単位：千円)

区 分	令和2年度					令和3年度				
	新規 応募 件数	新規 採択 件数 (a)	継続 件数 (b)	交付 件数 (a+b)	交付金額	新規 応募 件数	新規 採択 件数 (a)	継続 件数 (b)	交付 件数 (a+b)	交付金額
新学術領域研究 (研究領域提案型)	9	2	1	3	7,280	5	0	1	1	3,004
学術変革領域研究(A)	2	0	0	0	0	4	1	0	1	16,380
学術変革領域研究(B)	4	0	0	0	0	4	1	0	1	9,100
基盤研究(S)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
基盤研究(A)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
基盤研究(B)	12	5	12	17	48,522	15	2	11	13	47,725
基盤研究(C)	205	48	104	152	182,802	250	50	114	164	195,693
若手研究(※)	118	35	66	101	129,442	67	17	70	87	110,989
挑戦的研究(開拓)	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0
挑戦的研究(萌芽)	15	3	3	6	11,440	20	0	5	5	12,220
研究活動スタート支援	6	2	5	7	9,490	7	2	4	6	7,959
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(A))	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B))	0	0	1	1	3,432	0	0	1	1	3,926
特別研究員奨励費	0	0	3	3	2,606	0	0	0	0	0
奨励研究	7	0	0	0	0	6	0	0	0	0
研究成果公開促進費	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	381	95	195	290	395,014	384	73	206	279	406,996

※平成29年度に募集が終了した若手研究(B)を含む。

## (13) 厚生労働科学研究費補助金額

(単位：千円)

研 究 事 業 名	令和2年度	令和3年度
	交付金額	交付金額
難治性疾患等政策研究事業	3,580	3,412
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	676	500
がん対策推進総合研究事業	30,471	8,845
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	400	450
慢性の痛み政策研究事業	31,267	24,250
労災疾病臨床研究事業費補助金	316	176
戦略的アウトカム研究(J-DOIT3)	200	0
女性の健康の包括的支援政策研究事業	99	0
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業	1,350	1,480
認知症施策研究事業	3,780	2,600
厚生労働科学特別研究事業	659	1,035
健康安全・危機管理対策総合研究事業	0	400
長寿科学政策研究事業	0	390
計	72,798	43,537

## (14) 医科大学附属病院の状況

### ① 病類別病床数

(令和4年4月1日現在)

病 類	区 分	許 可 床
一 結 精 感 染	般	713
	核	14
	神	49
	症	2
計		778

### ② 等級別病室数病床数室料差額

(令和4年4月1日現在)

等 級	区 分	室 数	病 床 数	室 料 差 額
特 別 室	A	2 (室)	2 (床)	19,800 (円)
〃	B	9	9	6,600
〃	C	49	49	3,080
〃	MS	1	1	57,200
〃	MA	10	10	7,700
〃	MB	36	36	4,950
計		107	107	

### ③ 分娩取扱件数

年 度	件 数
平成14年度	407 (194)
平成15年度	404 (205)
平成16年度	358 (182)
平成17年度	351 (159)
平成18年度	344 (162)
平成19年度	429 (203)
平成20年度	417 (192)
平成21年度	444 (235)
平成22年度	386 (203)
平成23年度	316 (155)
平成24年度	339 (152)
平成25年度	458 (198)
平成26年度	463 (224)
平成27年度	454 (234)
平成28年度	449 (249)
平成29年度	471 (253)
平成30年度	446 (244)
令和元年度	456 (259)
令和2年度	478 (252)
令和3年度	517 (279)

(注) ( )内は異常分娩数で内数を示す。

## ④ 臨床検査件数

年度 検査の種類	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
一般	163,721	169,568	184,455	171,402	183,764
生化学	2,229,219	2,337,553	2,466,111	2,358,255	2,477,317
血液	391,605	406,108	432,808	416,689	451,388
生理学	50,681	55,357	62,080	52,102	55,636
微生物	34,938	41,187	38,578	38,163	49,273
免疫血清	256,293	277,863	299,220	284,178	309,536
緊急	311,441	360,899	389,798	355,420	358,984
計	3,437,898	3,648,535	3,873,050	3,676,209	3,885,898

## ⑤ 病理部検査件数

年度 検査の種類	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
細胞診	7,706	7,784	7,513	7,722	8,068
病理迅速	786	832	782	695	719
病理組織	6,533	6,974	7,325	7,121	8,245
計	15,025	15,590	15,620	15,538	17,032

## ⑥ X線等照射件数

年度 照射の種類	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
撮影・透視 (CT,MRを除く)	88,370	88,970	89,827	85,494	90,770
C T ・ M R	29,241	32,294	32,029	33,049	34,747
放射線治療	17,203	15,767	16,016	15,025	15,488
核医学検査	2,304	2,279	2,483	2,715	2,763
P E T	2,803	3,311	3,290	2,670	2,723
救急撮影	7,925	7,707	8,075	7,159	7,290
計	147,846	150,328	151,720	146,112	153,781

⑦ 手術件数

診療科	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
循環器内科	86	134	159	153	154
血液内科	5	2	4	5	4
消化器内科	83	97	96	84	106
リウマチ・膠原病内科	0				
腎臓・高血圧内科	31	34	26	28	15
糖尿病・内分泌代謝内科	0				
神経内科	0				
呼吸器内科	17	10	9	4	9
腫瘍内科	0				
漢方内科	0				
総合内科	0	0			
呼吸器外科	230	234	206	179	195
消化管外科	468	463	491	411	428
肝胆膵・移植外科	209	248	247	207	222
乳腺・内分泌・甲状腺外科					
乳腺外科	128	160	179	166	188
小児外科	223	232	206	201	200
甲状腺・内分泌内科	0				
甲状腺・内分泌外科	151	209	236	167	182
心臓血管外科	322	333	340	249	265
脳神経外科	246	267	273	268	254
整形外科	1,038	1,090	1,107	851	894
形成外科	203	229	262	207	260
産科婦人科	619	627	639	602	661
小児科	0	0	1	1	0
小児腫瘍内科	4	2	1	0	0
眼科	1,459	1,341	1,357	1,189	1,366
皮膚科	113	118	146	92	116
泌尿器科・副腎内分泌外科	482	532	561	478	469
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	362	394	362	247	276
心身医療科	70	61	33	28	46
放射線科	0				
放射線治療科	0	2	0	0	0
核医学科	0	0			
麻酔・疼痛緩和科	2	7	11	3	4
歯科口腔外科	126	124	141	118	133
救急科	0	0	1	2	2
リハビリテーション科	0	0			
内視鏡					1
計	6,677	6,950	7,094	5,940	6,450



⑧ 調剤薬処方数

(ア) 院 内

区分	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数
外 来 (院内)	枚 (68) 16,637	件 (141) 34,478	枚 (64) 15,636	件 (141) 34,351	枚 (68) 16,229	件 (151) 36,125	枚 (63) 15,275	件 (142) 34,549	枚 (71) 17,228	件 (160) 38,697
入 院	(350) 127,585	(684) 249,718	(383) 139,746	(745) 271,954	(393) 143,685	(768) 280,999	(371) 135,500	(711) 259,570	(396) 144,611	(758) 276,776
合 計	(418) 144,222	(825) 284,196	(447) 155,382	(886) 306,305	(461) 159,914	(919) 317,124	(434) 150,775	(853) 294,119	(467) 161,839	(918) 315,473

(注) ( ) 内は一日平均を示す。

(イ) 院 外

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
院外処方箋枚数	(721) 175,824	(733) 178,892	(761) 182,591	(721) 175,150	(756) 183,042
外来処方箋総数	(789) 192,461	(797) 194,528	(829) 198,820	(784) 190,425	(828) 200,270
発 行 率 (%)	91.4	92.0	92.8	92.0	91.4

(注) ( ) 内は一日平均を示す。

(ウ) 注射薬処方数

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
注射薬処方数	765,443 件	857,795 件	837,801 件	800,972 件	890,258 件

(注) 平成 30 年からはユヤマ社製アンプルピッカーのデータによる処方数

⑨ 薬剤管理指導算定数

年度 病棟	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	通常算定	M/F算定	麻薬加算	通常算定	M/F算定	麻薬加算	通常算定	M/F算定	麻薬加算
心身医療科	117	771	0	100	603	0	112	516	0
2階北病棟	96	53	0	3	6	0	2	0	0
I C U	0	0	0	4	1	0	3	0	0
5階東病棟	1,026	158	91	926	293	77	914	134	23
5階西病棟	943	232	8	1,294	180	5	1,288	208	4
6階東病棟	1,088	39	0	1,247	182	2	1,291	10	0
6階西病棟	717	323	24	558	254	28	583	190	36
7階東病棟	808	133	0	692	297	0	732	259	0
8階東病棟	887	74	0	1,352	318	2	1,291	236	1
8階西病棟	1,031	29	0	1,895	257	0	2,050	222	1
9階東病棟	857	257	14	1,083	266	7	1,147	225	5
9階西病棟	1,374	187	23	1,073	173	1	1,008	163	0
10階東病棟	1,126	531	0	1,330	377	2	1,251	195	0
M棟救命救急病棟	17	28	0	43	45	0	31	12	0
M棟3階東	472	26	0	791	40	0	926	37	0
M棟M F I C U	148	5	0	216	13	0	191	3	0
M棟N I C U	38	0	0	26	0	0	29	0	0
M棟4階東病棟	1,748	140	16	1,415	282	12	1,456	114	1
M棟4階西病棟	669	295	12	795	633	9	1,046	350	3
M棟5階病棟	1,099	105	0	1,108	267	0	1,262	98	0
M棟5階東病棟	/	/	/	/	/	/	/	/	/
M棟5階西病棟	/	/	/	/	/	/	/	/	/
M棟P I C U	0	1	0	2	0	0	1	0	0
合計	14,261	3,387	188	15,953	4,487	145	16,614	2,972	74
総合計	17,648		/	20,440		/	19,586		/

⑩ 病理解剖件数

診療科	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数
循環器内科	26	6	22	0	21	2	22	2	14	4
血液内科	22	1	13	3	26	1	15	1	12	3
消化器内科	19	6	22	4	32	1	26	4	17	2
リウマチ・膠原病内科	6	0	4	1	6	0	5	2	6	1
腎臓・高血圧内科	4	2	5	0	6	2	4	0	3	1
糖尿病・内分泌代謝内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経内科	13	2	4	1	5	3	5	1	5	2
呼吸器内科	26	3	42	5	28	1	25	2	32	4
腫瘍内科	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
漢方内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合内科	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
呼吸器外科	13	0	6	0	9	1	8	0	4	0
消化管外科	24	3	22	1	24	0	13	0	25	1
肝胆膵・移植外科	4	2	6	1	7	1	6	1	4	1
乳腺・内分泌・甲状腺外科										
乳腺外科	2	0	11	0	4	0	4	0	5	0
小児外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲状腺・内分泌外科	2	0	1	0	2	0	2	0	6	0
心臓血管外科	17	2	14	0	18	2	23	0	12	0
脳神経外科	11	0	12	1	7	0	7	0	18	0
整形外科	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0
産科婦人科	27	0	21	0	32	4	22	0	29	0
小児科	9	0	21	1	16	1	12	3	16	0
小児腫瘍内科	9	0	3	0	6	0	3	0	1	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	4	0	6	0	4	0	5	1	2	0
泌尿器科・副腎内分泌外科	11	0	17	0	6	0	9	0	12	0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4	0	8	0	4	0	6	1	6	0
心身医療科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
核医学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔・疼痛緩和科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0
救急科	91	6	107	1	123	6	139	4	124	5
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	347	33	375	20	388	25	363	22	355	25
剖検率	9.5%		5.3%		6.4%		6%		7%	

(注) 外来死亡患者・死産児を含まない。

⑪ 診療科別患者数

(ア) 外来患者

診療科	年度 区分	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
		延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数
循環器内科		20,165	83	19,370	79	19,247	80	17,655	72.7	19,209	79
血液内科		8,048	33	7,766	32	7,443	31	6,842	28.2	7,310	30
消化器内科		22,560	92	23,204	95	23,783	99	23,534	96.8	25,535	106
リウマチ・膠原病内科		8,637	35	8,933	37	9,705	40	9,483	39.0	10,519	43
腎臓・高血圧内科		10,859	45	10,055	41	10,448	44	9,879	40.7	10,081	42
糖尿病・内分泌代謝内科		12,145	50	11,567	47	11,789	49	11,287	46.4	12,160	50
脳神経内科		7,869	32	7,594	31	8,175	34	7,921	32.6	8,446	35
呼吸器内科		14,037	58	14,471	59	14,355	60	13,379	55.1	13,392	55
腫瘍内科		0	0	862	4	898	4	1,053	4.3	1,192	5
漢方内科		0	0	1,111	5	1,224	5	1,266	5.2	1,518	6
総合内科		401	2	528	2	639	3	568	2.3	790	3
呼吸器外科		4,492	18	4,481	18	4,639	19	4,369	18.0	5,200	21
消化管外科		8,286	34	8,591	35	9,128	38	8,933	36.8	9,530	39
肝胆膵・移植外科		4,170	17	4,424	18	4,341	18	4,082	16.8	4,513	19
乳腺・内分泌・甲状腺外科											
乳腺外科		9,320	38	10,844	44	11,165	47	11,231	46.2	12,233	51
小児外科		1,996	8	2,039	8	2,018	8	1,677	6.9	1,954	8
甲状腺・内分泌内科		0	0	3,687	15	3,256	14	2,420	10.0	2,165	9
甲状腺・内分泌外科		5,661	23	6,387	26	6,656	28	5,836	24.0	6,159	25
心臓血管外科		4,868	20	4,952	20	5,026	21	4,665	19.2	4,692	19
脳神経外科		4,788	20	4,619	19	4,946	21	5,007	20.6	5,481	23
整形外科		27,585	113	27,957	115	27,384	114	23,475	96.6	24,867	103
形成外科		3,708	15	3,312	14	4,653	19	4,092	16.8	4,522	19
産科婦人科		25,357	104	27,408	112	31,723	132	31,497	129.6	34,756	144
小児科		10,157	42	10,266	42	10,786	45	10,292	42.4	13,493	56
小児腫瘍内科		2,339	10	2,067	8	2,180	9	2,020	8.3	2,571	11
眼科		35,032	144	33,755	138	33,938	141	32,982	135.7	35,429	146
皮膚科		15,645	64	16,360	67	15,975	67	14,513	59.7	15,400	64
泌尿器科・副腎内分泌外科		15,082	62	15,706	64	17,139	71	17,084	70.3	18,909	78
耳鼻咽喉科・頭頸部外科		11,919	49	12,204	49	12,647	53	9,541	39.3	10,347	43
心身医療科		18,142	74	18,678	77	18,409	77	17,127	70.5	18,277	76
放射線科		136	1	196	1	163	1	141	0.6	240	1
放射線治療科		11,964	49	11,223	46	11,690	49	10,057	41.4	10,692	44
核医学科		769	3	965	4	922	4	704	2.9	689	3
麻酔・疼痛緩和科		7,299	30	7,469	31	7,862	33	6,908	28.4	7,851	32
歯科口腔外科		8,687	36	8,091	33	8,242	34	7,670	31.6	8,584	35
救急科		3,235	13	2,678	11	2,486	10	2,038	8.4	2,189	9
リハビリテーション科		0	0	3,280	13	4,871	20	5,975	24.6	5,086	21
放射線健康相談科		0	0	772	3	670	3	84	0.3	80	0
合計		345,358	1,415	357,642	1,466	370,631	1,544	347,287	1,429	376,061	1,554

(注) 一日平均患者数は、年度内の延患者数を年度内の外来診療日数で除した数である。放射線科には核医学診療室分を含む。

⑪ 診療科別患者数

(イ) 入院患者

診療科	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数
循環器内科	12,498	34	12,366	34	13,040	36	10,711	29	10,618	29
血液内科	11,104	30	11,355	31	11,044	30	10,139	28	10,022	27
消化器内科	12,652	35	12,111	33	12,206	33	11,319	31	11,905	33
リウマチ・膠原病内科	3,605	10	3,540	10	3,943	11	3,336	9	3,275	9
腎臓・高血圧内科	4,526	12	4,094	11	4,417	12	3,910	11	4,672	13
糖尿病・内分泌代謝内科	2,933	8	2,836	8	3,427	9	2,417	7	2,257	6
脳神経内科	6,390	18	5,818	16	6,382	17	5,426	15	5,631	15
呼吸器内科	9,582	26	11,009	30	10,664	29	10,399	28	9,768	27
腫瘍内科	0	0	24	0	30	0	25	0	85	0
漢方内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合内科	752	2	773	2	570	2	513	1	421	1
呼吸器外科	4,620	13	4,677	13	5,085	14	3,504	10	4,272	12
消化管外科	12,112	33	12,809	35	12,892	35	12,352	34	13,673	37
肝胆膵・移植外科	5,370	15	6,481	18	5,851	16	5,040	14	5,760	16
乳腺・内分泌・甲状腺外科										
乳腺外科	2,888	8	3,389	9	3,054	8	3,392	9	3,513	10
小児外科	1,952	5	2,224	6	2,224	6	1,785	5	1,690	5
甲状腺・内分泌内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲状腺・内分泌外科	1,947	5	2,001	5	1,860	5	1,230	3	1,817	5
心臓血管外科	6,282	17	6,687	18	6,835	19	6,076	17	5,604	15
脳神経外科	8,337	23	6,788	19	7,483	20	7,903	22	7,292	20
整形外科	19,720	54	19,833	54	21,140	58	16,816	46	18,387	50
形成外科	2,948	8	2,635	7	2,982	8	2,462	7	2,590	7
産科婦人科	19,932	55	20,534	56	21,674	59	21,040	58	21,425	59
小児科	13,513	37	15,726	43	14,760	40	12,815	35	14,366	39
小児腫瘍内科	7,493	21	8,017	22	6,853	19	7,902	22	7,131	20
眼科	10,154	28	9,568	26	9,483	26	8,283	23	9,623	26
皮膚科	5,653	15	5,465	15	5,626	15	4,876	13	4,779	13
泌尿器科・副腎内分泌外科	10,544	29	9,854	27	11,826	32	9,495	26	11,717	32
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	7,533	21	8,047	22	8,228	22	6,237	17	5,870	16
心身医療科	9,333	26	9,685	27	8,395	23	6,544	18	7,564	21
放射線科	85	0	44	0	54	0	15	0	14	0
放射線治療科	879	2	353	1	86	0	0	0	0	0
核医学科	356	1	774	2	967	3	991	3	926	3
麻酔・疼痛緩和科	365	1	376	1	367	1	370	1	365	1
歯科口腔外科	3,239	9	2,234	6	2,137	6	2,427	7	2,583	7
救急科	3,768	10	4,602	13	4,201	11	4,303	12	4,821	13
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
( I C U )	(3,366)	(9)	(3,489)	(10)	(3,344)	(9)	(2,755)	(8)	(3,077)	(8)
( N I C U )	(7,086)	(19)	(7,397)	(20)	(7,135)	(19)	(6,183)	(17)	(6,562)	(18)
( M F I C U )	(1,263)	(3)	(1,508)	(4)	(1,610)	(4)	(1,399)	(4)	(1,471)	(4)
合計	223,065	611	226,729	621	229,786	628	204,053	559	214,436	587

(注) 一日平均患者数は、年度内の延患者数を暦日数で除した数である。( ) は再掲。放射線科には核医学診療室を含む。

⑫ 診療項目別稼働額

(ア) 外 来

(単位：千円)

検査の種類	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比
初 診 料	47,631	0.7	45,685	0.6	44,738	0.5	37,113	0.4	46,636	0.5
再 診 料	210,621	2.9	214,670	2.8	216,583	2.5	202,449	2.3	225,501	2.3
指 導 料	120,730	1.7	132,874	1.7	139,639	1.6	132,106	1.5	135,083	1.4
在 宅 療 養	399,325	5.6	410,320	5.3	435,747	5.1	484,502	5.6	489,813	5.0
投 薬 料	264,503	3.7	293,166	3.8	322,488	3.8	344,737	4.0	433,068	4.5
注 射 料	3,103,277	43.3	3,495,189	44.8	3,980,537	46.6	4,198,538	48.1	4,485,582	46.2
検 査 料	1,337,697	18.7	1,418,097	18.2	1,492,994	17.5	1,516,191	17.4	1,863,507	19.2
画像診断料	905,174	12.6	995,633	12.8	1,033,657	12.1	976,594	11.2	1,039,327	10.7
理学療法料	387,743	5.4	409,759	5.3	432,448	5.1	428,350	4.9	474,106	4.9
処置・手術料他	383,536	5.4	388,643	5.0	449,673	5.3	402,093	4.6	517,573	5.3
文 書 料	(86,727)	(1.2)	(88,875)	(1.1)	(101,259)	(1.2)	(80,638)	(0.9)	(98,810)	(1.0)
合 計	7,160,237	100.0	7,804,036	100.0	8,548,504	100.0	8,722,674	100.0	9,710,196	100.0
患 者 1 人 1日当り稼働額	20,733 (円)		21,817 (円)		23,069 (円)		25,120 (円)		25,798 (円)	

(注) 患者当り稼働額は入院中他科受診患者を含めない患者数で算出している。  
構成比は四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。( ) は再掲。

(イ) 入 院

(単位：千円)

診療項目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比
初 診 料	10,565	0.1	10,090	0.1	10,327	0.1	9,793	0.1	9,356	0.0
指 導 料	88,444	0.5	102,522	0.6	97,713	0.5	112,354	0.6	113,800	0.6
在 宅 療 養	21,540	0.1	23,235	0.1	22,321	0.1	23,283	0.1	22,181	0.1
投 薬 料	160,620	0.9	164,516	0.9	199,335	1.0	171,952	1.0	186,981	1.0
注 射 料	643,354	3.7	544,775	3.0	734,346	3.9	857,753	4.8	888,031	4.7
処置・手術料	5,987,263	34.7	6,478,047	35.6	6,850,029	35.9	5,985,039	33.5	6,330,865	33.4
輸 血 料	(410,018)	(2.4)	(431,597)	(2.4)	(445,761)	(2.3)	(391,428)	(2.2)	(406,899)	(2.2)
麻 酔 料	(558,546)	(3.2)	(610,233)	(3.4)	(620,857)	(3.3)	(533,371)	(3.0)	(568,040)	(3.0)
検 査 料	219,238	1.3	234,787	1.3	255,599	1.3	283,378	1.6	342,963	1.8
画像診断料	56,006	0.3	64,577	0.4	62,504	0.3	70,974	0.4	86,388	0.5
理学療法料	362,574	2.1	368,373	2.0	380,555	2.0	402,144	2.2	387,560	2.0
入院料他	9,703,071	56.2	10,224,380	56.1	10,451,033	54.8	9,985,185	55.8	10,587,538	55.9
室料差額	(142,864)	(0.8)	(149,342)	(0.8)	(152,360)	(0.8)	(145,854)	(0.8)	(143,948)	(0.8)
分娩介助料	(103,001)	(0.6)	(96,057)	(0.5)	(98,383)	(0.5)	(103,710)	(0.6)	(109,810)	(0.6)
文 書 料	(2,376)	(0.0)	(2,369)	(0.0)	(2,447)	(0.0)	(2,327)	(0.0)	(2,412)	(0.0)
合 計	17,252,674	100.0	18,215,302	100.0	19,063,762	100.0	17,901,853	100.0	18,955,663	100.0
患 者 1 人 1日当り稼働額	77,344 (円)		80,362 (円)		82,941 (円)		87,739 (円)		88,398 (円)	

(注) 構成比は四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。( ) は再掲。



## (15) 会津医療センター附属病院の状況

### ① 病類別病床数

(令和4年4月1日現在)

病 類	区 分	許 可 床
一 結 精 感 染 計	一 般	204 (床)
	核 心	14
	神 症	0
	症	8
	計	226

### ② 等級別病室数病床数室料差額

(令和4年4月1日現在)

等 級	区 分	室 数	病 床 数	室 料 差 額
特別室 A		2 (室)	2 (床)	19,800 (円)
〃 B (一人部屋)		25	25	6,600
	計	27	27	

### ③ 臨床検査件数

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
検査の種類					
一 般	24,780	31,283	33,300	26,773	30,315
生 化 学	619,687	673,757	730,347	634,571	698,800
血 液	118,584	124,108	129,028	99,419	109,995
生 理 学	11,812	12,681	13,034	10,750	12,667
微 生 物	12,785	13,649	13,358	11,319	16,402
免 疫 血 清	63,298	68,297	73,358	55,094	61,949
緊 急	52,835	45,542	59,832	56,275	71,557
計	903,781	969,317	1,052,257	894,201	1,001,685

### ④ 病理部検査件数

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
検査の種類					
細 胞 診	1,041	1,026	847	637	747
病 理 迅 速	133	112	127	129	115
病 理 組 織	2,966	2,805	2,660	2,117	2,402
計	4,140	3,943	3,634	2,883	3,264

⑤ X線等照射件数

照射の種類	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
撮影・透視 (CT,MRを除く)	29,358	30,571	30,505	25,928	29,442
C T ・ M R	10,906	11,337	11,759	10,612	11,261
放射線治療	0	0	0	0	0
核医学検査	186	157	157	83	104
救急撮影	—	—	—	—	—
計	40,450	42,065	42,421	36,623	40,807

(注) 救急撮影は撮影・透視、CT・MRにそれぞれ含む。

⑥ 手術件数

診療科	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
総合内科	21	18	20	23	36
漢方内科	2	0	4	6	0
漢方外科	0	0	0	0	0
循環器内科	183	218	246	208	154
血液内科	42	58	94	57	56
消化器内科	675	584	661	493	438
糖尿病・代謝・腎臓内科	3	7	6	2	7
感染症・呼吸器内科	4	13	2	2	1
神経内科	0	0	0	0	0
心身医療科	0	0	0	0	0
小腸・大腸・肛門科	1,111	1,183	1,254		
小腸・大腸内科				553	599
大腸肛門外科				0	528
外科	594	678	734	504	464
呼吸器外科				0	160
整形外科・脊椎外科	884	968	940	744	746
眼科	32	35	17	12	18
皮膚科	25	26	29	19	54
泌尿器科	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	272	358	347	201	206
放射線科	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0
歯科	123	59	34	45	46
リハビリテーション科	0	0	0	0	0
緩和ケア科	1	0	0	0	0
心臓血管外科	0	0	0	0	0
計	3,972	4,205	4,388	2,869	3,513

(注) 病院全体における手術件数。

⑦ 調剤薬処方数

(ア) 院 内

区分	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数
外 来 (院内)	枚 (65) 15,880	件 (197) 48,177	枚 (67) 16,422	件 (196) 47,903	枚 (70) 17,127	件 (211) 51,295	枚 (65) 15,868	件 (200) 48,678	枚 (64) 15,528	件 (198) 48,008
入 院	枚 (82) 29,961	件 (170) 62,255	枚 (85) 30,964	件 (174) 63,458	枚 (86) 31,509	件 (175) 64,006	枚 (102) 25,012	件 (205) 50,039	枚 (80) 29,147	件 (166) 60,418
合 計	枚 (147) 45,841	件 (367) 110,432	枚 (152) 47,386	件 (370) 111,361	枚 (156) 48,636	件 (386) 115,301	枚 (168) 40,880	件 (406) 98,717	枚 (144) 44,675	件 (364) 108,426

(注) ( ) 内は一日平均を示す。

(イ) 院 外

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
院外処方箋枚数	(292) 71,277	(297) 72,383	(314) 76,347	(272) 66,223	(287) 69,653
外来処方箋総数	(357) 87,157	(363) 88,805	(385) 93,474	(338) 82,091	(351) 85,181
発 行 率 (%)	81.7	81.5	81.7	80.7	81.8

(注) ( ) 内は一日平均を示す。

(ウ) 注射薬処方数

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
注射薬処方数	オーダー件数	オーダー件数	オーダー件数	オーダー件数	オーダー件数
	178,760 件	179,653 件	188,057 件	163,447 件	170,847 件

⑧ 薬剤管理指導算定数

病棟	年度	区分	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
			薬剤管理 指導 2	薬剤管理 指導 3	薬剤管理 指導 2	薬剤管理 指導 3	薬剤管理 指導 2	薬剤管理 指導 3	薬剤管理 指導 2	薬剤管理 指導 3
3 階	南		502	559	535	552	515	417	614	548
4 階	南		267	805	452	525	173	450	194	674
4 階	北		572	68	562	41	682	173	699	296
5 階	南		201	210	244	256	181	190	174	323
5 階	北		133	200	162	213	7	4	0	0
6 階			—	—	—	—	—	—	—	—
合 計			1,675	1,842	1,955	1,587	1,558	1,270	1,681	1,841
総 合 計			3,517		3,542		2,828		3,522	

⑨ 病理解剖件数

診療科	年度 区分	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
		死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数
総合内科		14	0	10	0	12	0	33	0	10	1
漢方内科		0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
漢方外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器内科		4	0	6	0	2	0	7	0	10	1
血液内科		57	1	35	1	34	0	32	0	41	0
消化器内科		20	0	19	0	20	0	9	0	7	0
糖尿病・代謝・腎臓内科		2	0	1	0	3	0	4	0	7	0
感染症・呼吸器内科		10	0	2	0	6	0	10	0	11	0
神経内科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心身医療科		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
小腸・大腸・肛門科		8	1	4	0	4	0	8	0		
小腸・大腸内科										2	0
大腸・肛門外科										10	0
外科		11	2	8	0	8	0	13	0	4	0
呼吸器外科										13	0
整形外科・脊椎外科		0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
眼科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア科		143	0	140	0	168	0	148	0	106	0
心臓血管外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		270	4	225	1	257	0	265	0	230	2
剖検率		1.5%		0.4%		0%		0%		0.8%	

(注) 病院全体における手術件数。

⑩ 診療科別患者数

(ア) 外来患者

診療科	年度 区分	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
		延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数
総合内科		8,459	35	8,284	34	9,262	38	8,462	35	7,794	32
漢方内科		8,612	36	8,221	34	7,918	33	6,984	29	7,949	33
漢方外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器内科		7,975	33	8,258	34	8,037	33	6,923	28	7,784	32
血液内科		9,772	40	9,732	40	9,667	40	9,484	39	10,109	42
消化器内科		10,919	45	9,948	41	10,757	44	9,080	38	9,821	41
糖尿病・代謝・腎臓内科		11,108	47	12,041	49	12,826	53	12,573	52	14,134	58
感染症・呼吸器内科		5,688	23	6,099	25	6,496	27	4,966	20	5,551	23
神経内科		1,241	24	218	6	433	7	475	8	656	10
心身医療科		11,049	30	11,801	49	11,834	51	11,029	46	11,296	48
小腸・大腸・肛門科		7,878	32	8,123	33	8,919	37				
小腸・大腸内科								4,749	20	4,725	20
大腸肛門外科								3,181	16	4,057	17
外科		6,630	27	6,982	29	7,400	31	5,043	21	4,905	20
呼吸器外科								1,809	9	2,480	12
整形外科・脊椎外科		19,829	83	20,471	87	20,749	87	16,471	68	17,005	71
眼科		3,363	24	3,226	24	3,052	22	2,436	24	2,485	24
皮膚科		6,275	26	6,145	26	6,064	25	5,136	21	6,320	26
泌尿器科		1,461	26	1,513	33	1,678	37	1,437	33	1,531	33
耳鼻咽喉科		6,281	26	7,337	30	7,779	32	5,740	24	6,246	26
放射線科		0	0	0	0	0	0	0	0	16	2
麻酔科		709	3	1,133	5	1,116	5	953	4	1,091	5
歯科		2,990	12	942	6	1,424	9	1,478	9	1,455	8
リハビリテーション科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア科		638	3	483	2	554	2	533	3	356	2
心臓血管外科		72	6	69	6	59	5	2	2	67	3
合計		130,949	537	131,026	537	136,024	560	118,944	489	127,833	528

鍼灸部	2,079	9	2,179	9	2,256	9	1,527	6	1,976	8
-----	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

(注) 一日平均患者数は、年度内の延患者数を年度内の外来診療日数で除した数である。

## (イ) 入院患者

診療科	年度 区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数
総合内科		2,785	8	2,537	7	2,286	6	3,583	10	2,464	7
漢方内科		470	1	485	1	777	2	426	1	594	2
漢方外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器内科		2,404	7	2,995	8	2,882	8	2,225	6	2,644	7
血液内科		10,233	28	11,533	32	11,215	31	9,762	27	10,612	29
消化器内科		9,661	26	8,107	22	8,033	22	5,876	16	5,579	15
糖尿病・代謝・腎臓内科		1,394	4	1,563	4	1,668	5	1,325	4	1,535	4
感染症・呼吸器内科		4,075	11	3,227	9	2,466	7	1,492	4	3,877	11
神経内科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心身医療科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小腸・大腸・肛門科		5,568	15	5,431	15	5,681	16				
小腸・大腸内科								1,786	5	1,663	5
大腸肛門外科								2,074	6	2,798	8
外科		7,974	22	8,523	23	8,889	24	5,278	14	4,737	13
呼吸器外科								2,426	7	2,930	8
整形外科・脊椎外科		10,500	29	10,738	29	10,884	30	8,165	22	8,017	22
眼科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科		61	0	99	0	59	1	28	1	44	1
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科		1,083	3	1,710	5	1,769	5	834	2	841	2
放射線科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア科		5,812	16	5,077	14	5,624	15	4,837	13	3,827	10
心臓血管外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		62,020	170	62,025	170	62,233	170	50,117	137	52,162	143

(注) 一日平均患者数は、年度内の延患者数を暦日数で除した数である。



⑪ 診療項目別稼働額

(ア) 外来患者

(単位：千円)

診療項目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比
初 診 料	33,188	1.7	32,905	1.5	31,621	1.4	24,732	1.1	27,462	1.0
再 診 料	75,193	3.8	75,119	3.5	77,952	3.3	68,654	3.0	73,963	2.8
指 導 料	33,833	1.7	37,832	1.8	43,164	1.8	47,056	2.1	50,439	1.9
投 薬 料	461,191	23.1	500,522	23.2	530,780	22.5	516,093	22.5	556,268	21.0
注 射 料	460,706	23.1	561,985	26.0	675,040	28.6	712,613	31.1	888,305	33.5
検 査 料	398,802	20.0	423,085	19.6	438,479	18.6	409,539	17.9	489,949	18.4
画像診断料	209,760	10.5	221,375	10.2	232,352	9.8	203,064	8.9	219,085	8.2
理学療法料	11,315	0.6	11,561	0.5	9,978	0.4	6,513	0.3	6,960	0.3
処置・手術料他	287,721	14.4	274,733	12.7	288,413	12.2	270,782	11.8	306,917	11.6
文 書 料	22,701	1.1	22,701	1.1	33,051	1.4	29,425	1.3	34,361	1.3
合 計	1,994,410	100.0	2,161,818	100.0	2,360,830	100.0	2,288,471	100.0	2,653,709	100.0
患者 1 人 1日当り稼働額	15,230	(円)	16,499	(円)	17,356	(円)	19,240	(円)	20,759	(円)

(注) 患者当り稼働額は入院中他科受診患者を含めない患者数で算出している。  
構成比は四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。( ) は再掲。

(イ) 入 院

(単位：千円)

診療項目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比
投 薬 料	39,687	1.0	40,003	0.9	40,427	0.9	41,555	1.1	56,308	1.5
注 射 料	41,926	1.0	63,871	1.5	70,785	1.6	107,248	2.9	126,196	3.3
処置・手術料	1,404,176	34.6	1,471,192	34.7	1,556,093	35.6	1,247,311	33.4	1,182,672	31.3
輸 血 料	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
麻 酔 料	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
検 査 料	45,806	1.1	43,235	1.0	40,083	0.9	48,179	1.3	75,238	2.0
画像診断料	6,333	0.2	6,335	0.1	5,819	0.1	9,353	0.3	13,737	0.3
理学療法料	48,489	1.2	57,917	1.4	58,108	1.3	57,373	1.5	59,332	1.6
入院料他	2,414,773	59.5	2,501,469	59.0	2,543,316	58.3	2,181,321	58.4	2,220,890	58.8
室料差額	55,385	1.4	55,385	1.3	50,300	1.2	38,221	1.0	42,570	1.1
分娩介助料	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
文 書 料	1,779	0.0	1,779	0.0	2,184	0.1	1,705	0.1	1,863	0.1
合 計	4,058,354	100.0	4,241,186	100.0	4,367,115	100.0	3,732,266	100.0	3,778,806	100.0
患者 1 人 1日当り稼働額	65,436	(円)	68,379	(円)	70,174	(円)	74,471	(円)	72,494	(円)

(注) 構成比は四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。( ) は再掲。

## (16) 公立大学法人福島県立医科大学令和3年度決算に係る貸借対照表及び損益計算書

## 貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位：円)

資産の部			
I 固定資産		71,989,286,237	
II 流動資産		20,949,307,990	
	資 産 合 計		92,938,594,227
負債の部			
I 固定負債		38,383,953,287	
II 流動負債		15,030,713,510	
	負 債 合 計		53,414,666,797
純資産の部			
I 資本金		51,588,723,757	
II 資本剰余金		△17,279,846,789	
III 利益剰余金		5,215,050,462	
	純 資 産 合 計		39,523,927,430
	負債純資産合計		92,938,594,227

## 損益計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円)

経常費用			
業務費		60,507,775,751	
一般管理費		3,068,700,484	
財務費用		50,675,686	
雑損		18,531,655	
	経 常 費 用 合 計		63,645,683,576
経常収益			
運営費交付金収益		12,454,494,036	
授業料収益		781,474,959	
入学金収益		187,624,130	
検定料収益		21,410,604	
講習料収益		12,803,000	
附属病院収益		34,951,183,326	
受託研究等収益		464,172,556	
共同研究収益		80,200,604	
受託事業等収益		4,252,743,959	
寄附金収益		1,356,590,242	
補助金等収益		7,768,715,673	
財源措置予定額収益		369,650,257	
資産見返負債戻入		3,617,659,279	
財務収益		18,327	
雑益		639,160,929	
	経 常 収 益 合 計		66,957,901,881
経常利益			3,312,218,305
臨時損失			
固定資産除却損		47,208,560	
その他臨時損失		341,711	
			47,550,271
臨時利益			
徴収不能引当金戻入		1,488,811	
物品受贈益		63	
固定資産売却益		120,998	
その他臨時収益		19,777,910	
			21,387,782
当期純利益			3,286,055,816
当期総利益			3,286,055,816

(17) 公立大学法人福島県立医科大学予算・決算及び収支計画

(ア) 予算及び決算

(単位：百万円)

科目	年度 区分	令和3年度		令和4年度	
		予算額	決算額	予算額	構成比
収 入					
運営費交付金		13,399	13,388	13,371	20.1%
補助金		6,688	10,030	4,881	7.3%
自己収入		37,478	36,600	38,981	58.5%
授業料及び入学金、 検定料収入		1,058	1,009	1,159	1.7%
附属病院収入		35,455	34,951	36,703	55.1%
財産収入		281	171	335	0.5%
雑収入		684	468	784	1.2%
受託研究等収入及び 寄附金収入等		7,363	7,819	7,444	11.2%
長期借入金収入		1,745	1,275	1,955	2.9%
短期借入金収入		561	-	-	-
目的積立金取崩		-	-	-	-
計		67,234	69,111	66,632	100.0%
支 出					
業務費		57,031	55,842	56,181	84.4%
教育研究経費		10,576	11,330	9,572	14.4%
診療経費		40,130	39,511	40,336	60.6%
一般管理費		6,325	5,001	6,273	9.4%
施設整備費		1,761	1,122	1,881	2.8%
受託研究等経費及び 寄附金事業費等		7,370	6,494	7,430	11.2%
長期借入金償還金		1,072	1,028	1,096	1.6%
計		67,234	64,485	66,588	100.0%

※各予算額及び決算額については百万円未満を、また、構成比については小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。

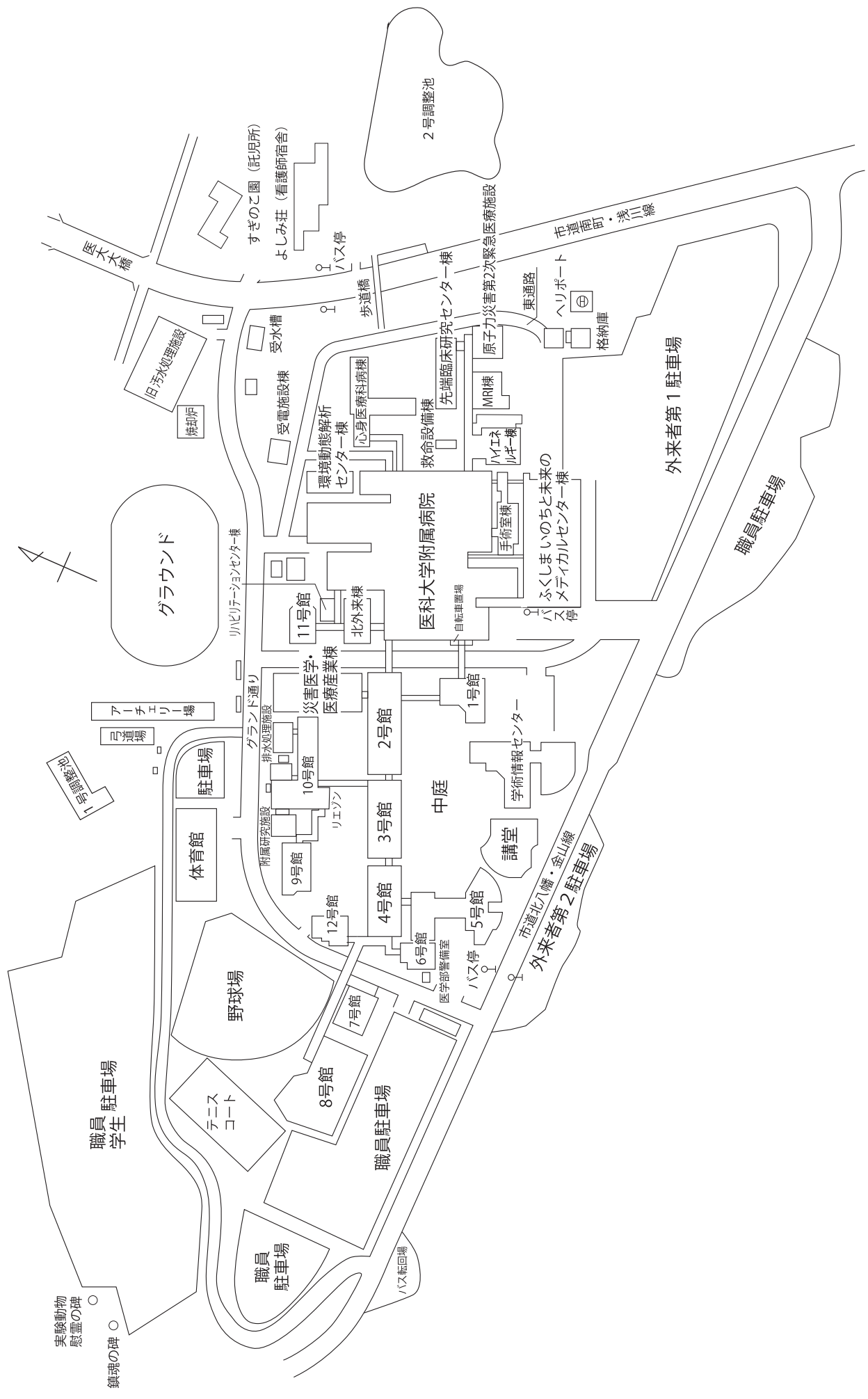
## (イ) 収支計画

(単位：百万円)

科目	年度 区分	令和3年度		令和4年度	
		計画額	実績額	計画額	構成比
費用の部					
経常費用		65,752	63,646	67,199	99.7%
業務費		58,068	56,202	59,924	88.9%
教育研究経費		5,245	4,735	5,474	8.1%
診療経費		21,867	22,018	22,935	34.0%
受託研究費等		5,462	4,269	5,518	8.2%
人件費		25,494	25,180	25,997	38.6%
一般管理費		2,031	1,427	1,575	2.3%
財務費用		58	51	41	0.1%
雑損		4	19	4	0.0%
減価償却費		5,591	5,948	5,655	8.4%
臨時損失		216	48	211	0.3%
計		65,968	63,693	67,410	100.0%
収益の部					
経常収益		65,300	66,958	66,887	99.7%
運営費交付金収益		12,781	12,454	12,837	19.1%
授業料収益		790	781	875	1.3%
入学金収益		184	188	195	0.3%
検定料収益		40	34	41	0.1%
附属病院収益		35,400	34,951	36,702	54.7%
受託研究等収益		5,599	4,797	5,641	8.4%
寄附金収益		1,395	1,357	1,306	1.9%
補助金等収益		4,406	7,769	4,476	6.7%
財源措置予定額収益		504	370	271	0.4%
資産見返負債戻入		3,331	3,618	3,524	5.3%
財務収益		0	0	0	-
雑益		870	639	1,019	1.5%
臨時利益		220	21	221	0.3%
計		65,520	66,979	67,108	100.0%
純利益		△ 448	3,286	△ 302	
目的積立金取崩額		-	-	-	
総利益		△ 448	3,286	△ 302	

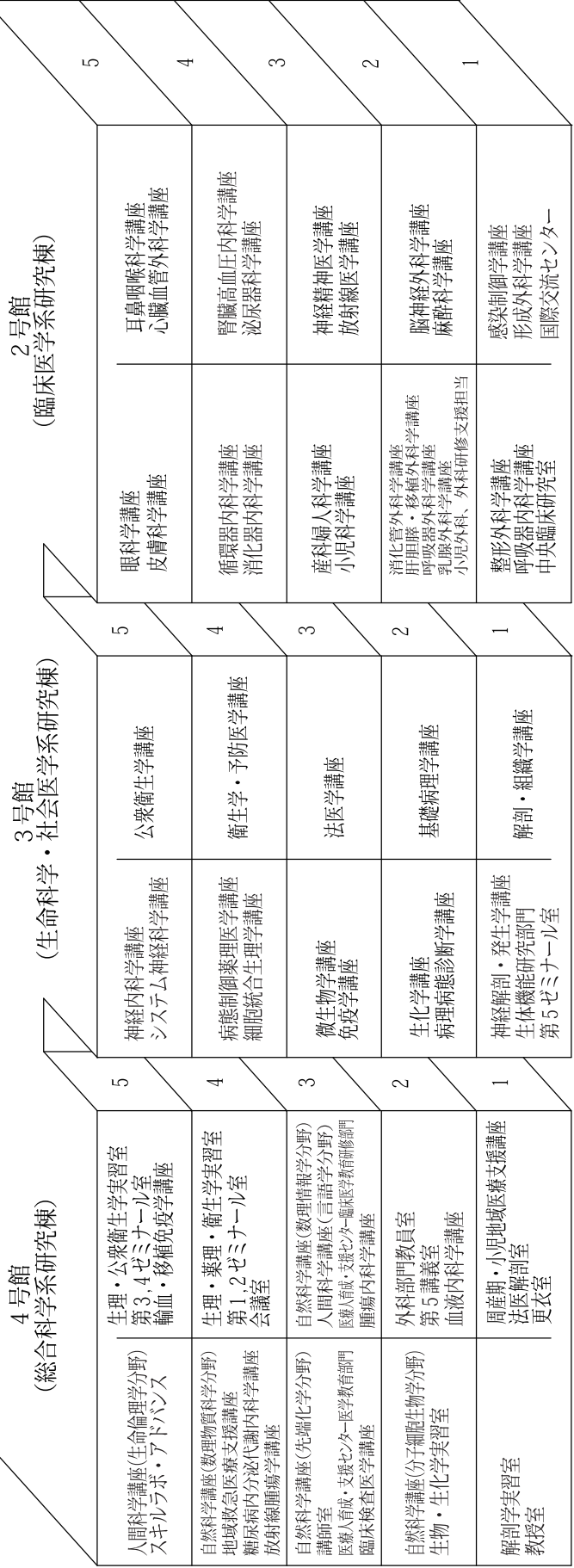
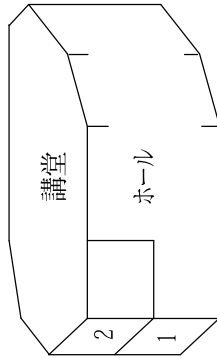
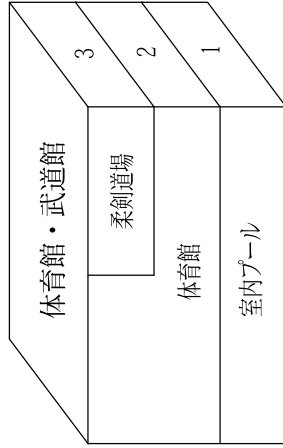
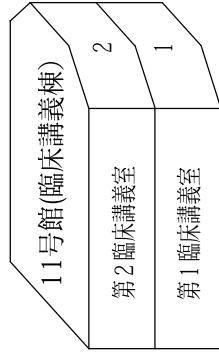
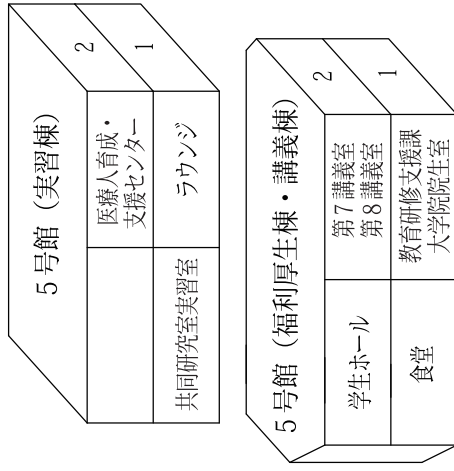
※各予算額及び決算額については百万円未満を、また、構成比については小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。

# 9 配置図

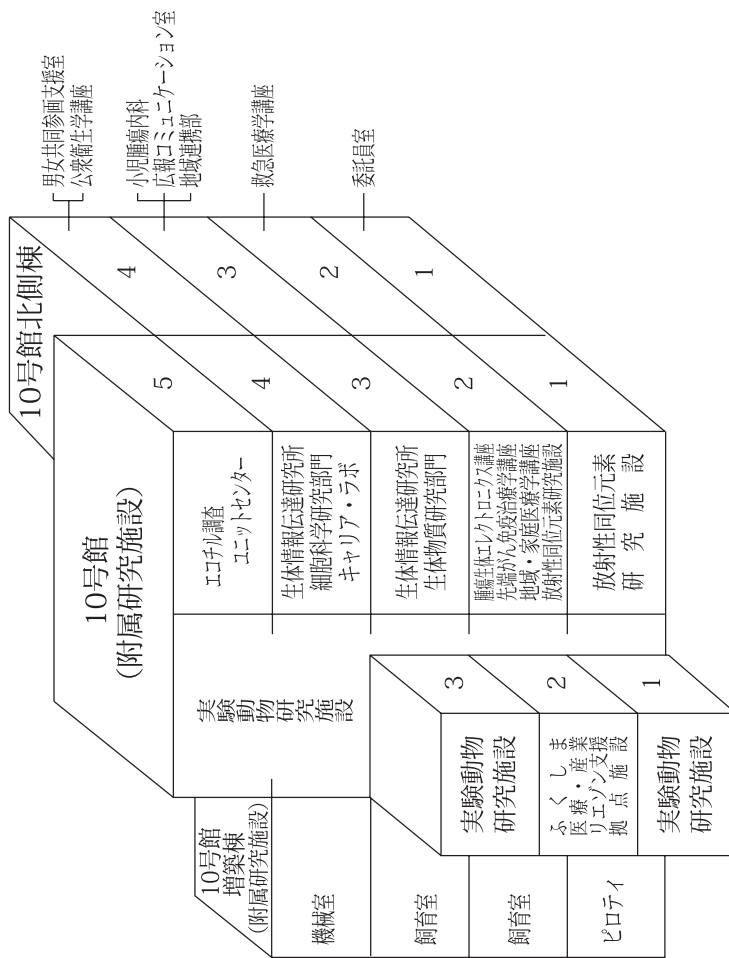
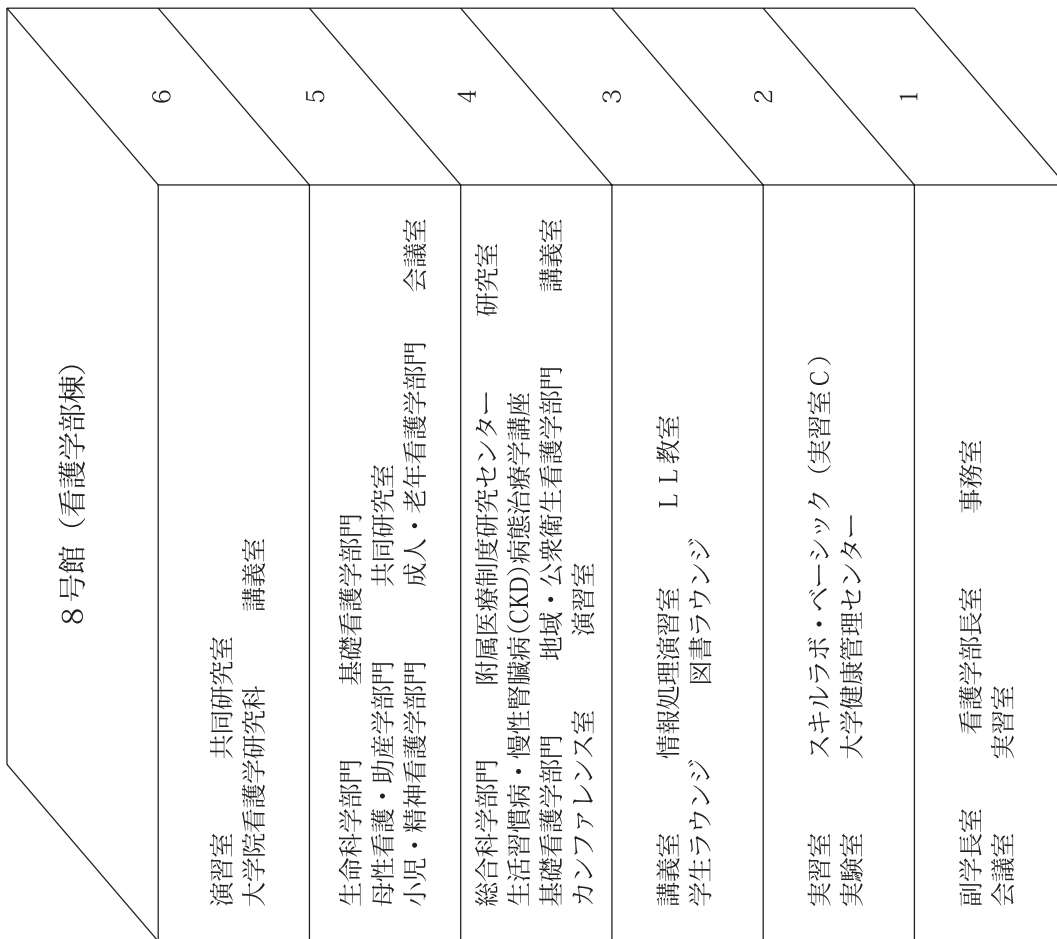
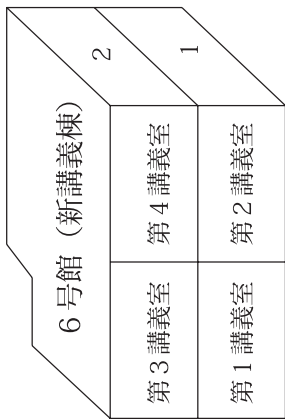
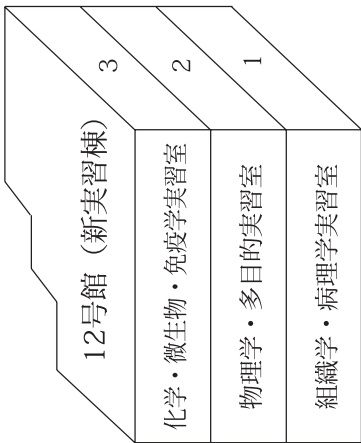


# 10 施設概要

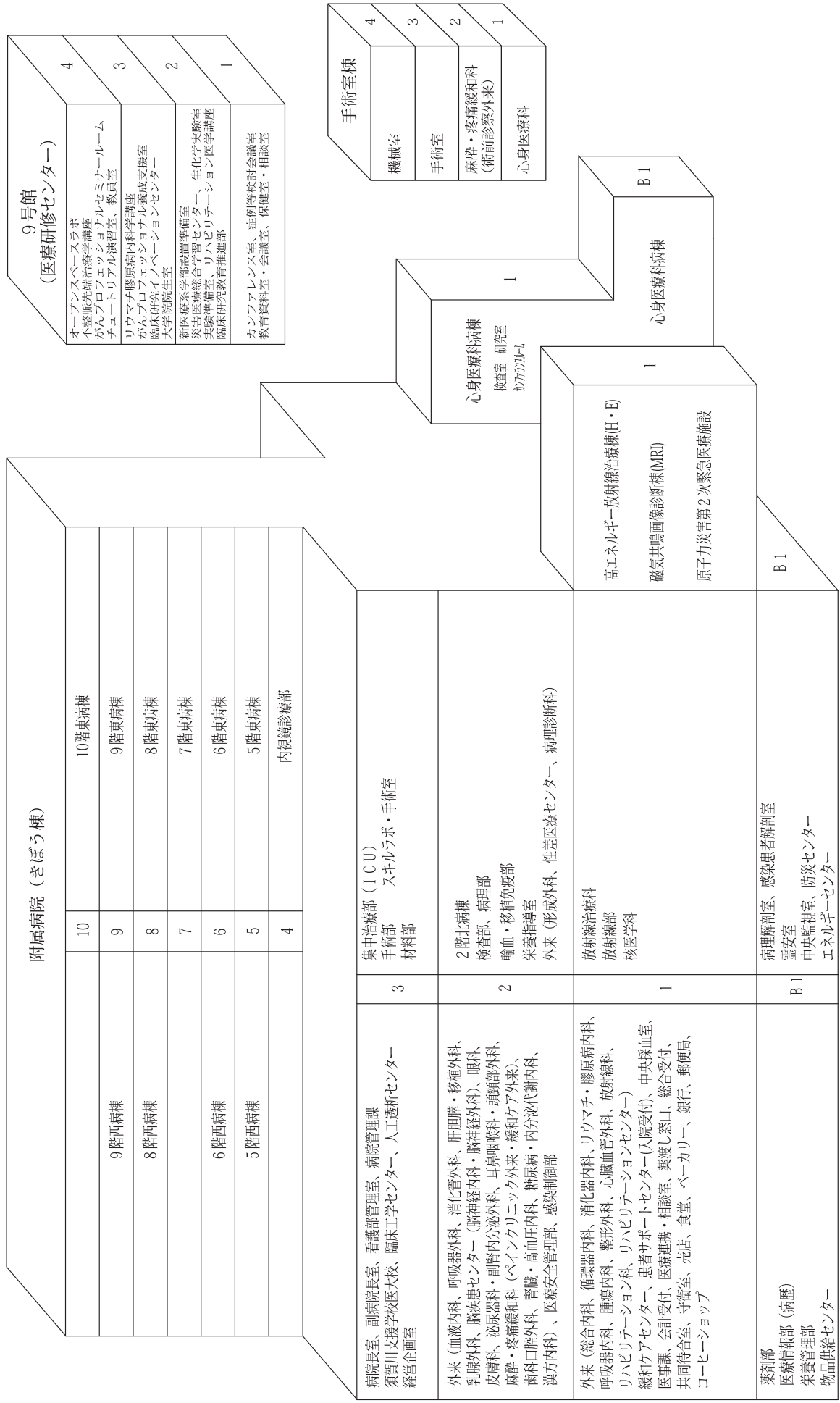
## (1) 学部



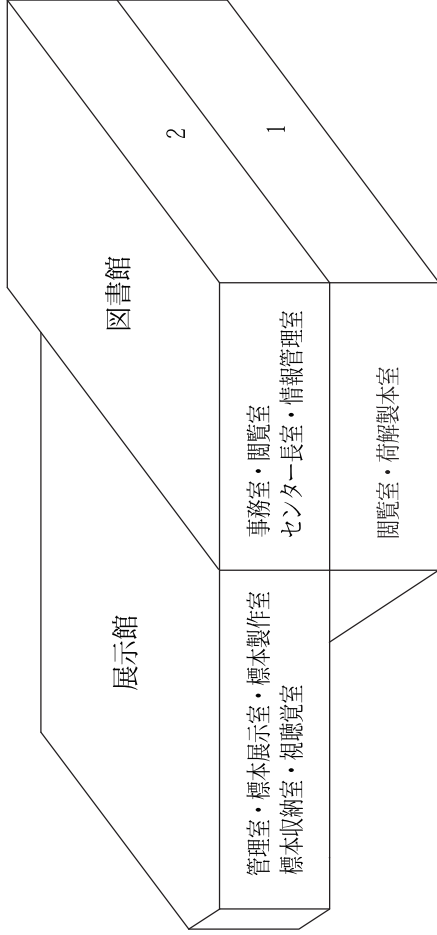




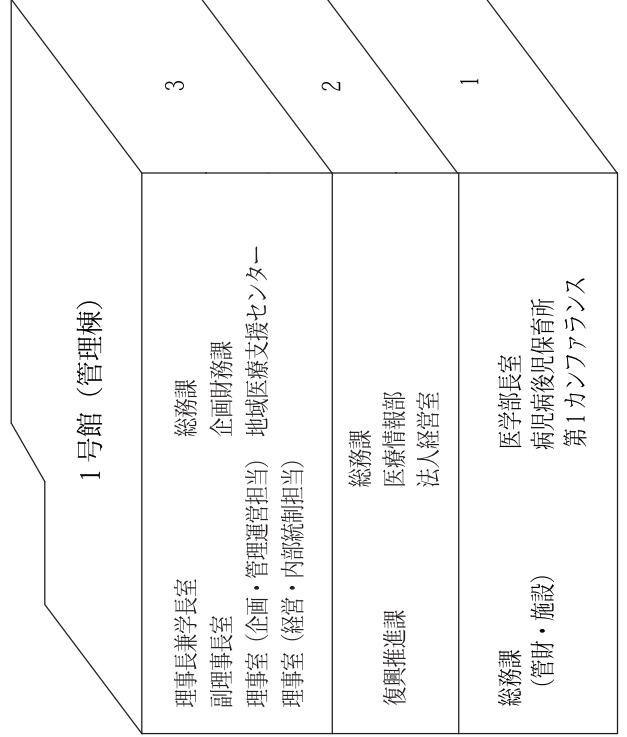
(2) 附属病院



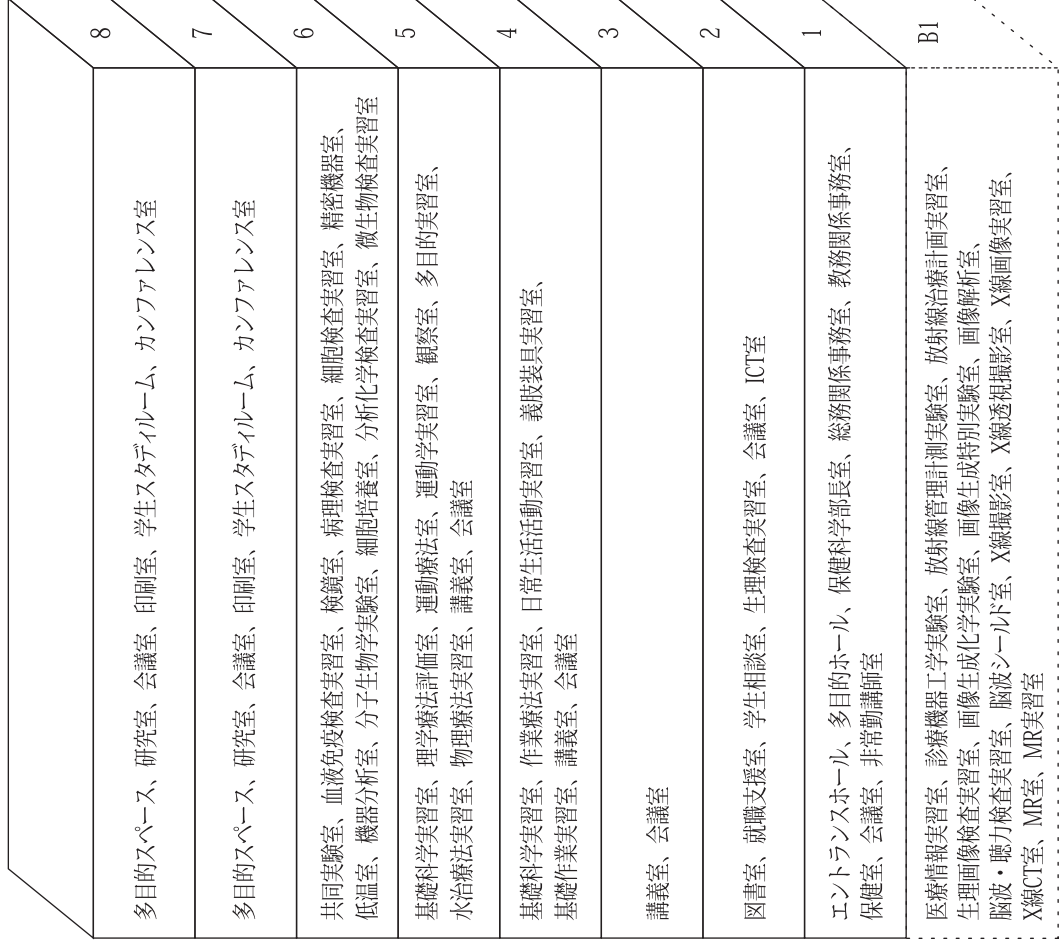
(3) 附属学術情報センター



(4) 事務局



(5) 福島駅前キャンパス



(5) ふくしま国際医療科学センター

災害医学・医療産業棟	
8	大学院修士課程、放射線生命科学講座、健康リスクコミュニケーション学講座
7	災害こころの医学講座、疫学講座、放射線物理化学講座、会議室
6	放射線健康管理学講座、甲状腺内分泌学講座、放射線災害医療学講座
5	医療－産業トランスレーションナリサーチセンター
4	医療－産業トランスレーションナリサーチセンター
3	医療－産業トランスレーションナリサーチセンター
2	医療－産業トランスレーションナリサーチセンター、事務室
1	医療－産業トランスレーションナリサーチセンター
B1	医療－産業トランスレーションナリサーチセンター 動物実験施設、先端臨床研究センター

環境動態解析センター棟 (国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 福島再生支援本部 福島研究分室)	
2	研究室、ガンマ線計測室、環境試料前処理室、環境動態実験室、環境試料保管室
1	質量分析室、クリーン前処理室、環境化学実験室、微量放射能計測室、研究室、事務室・管理室

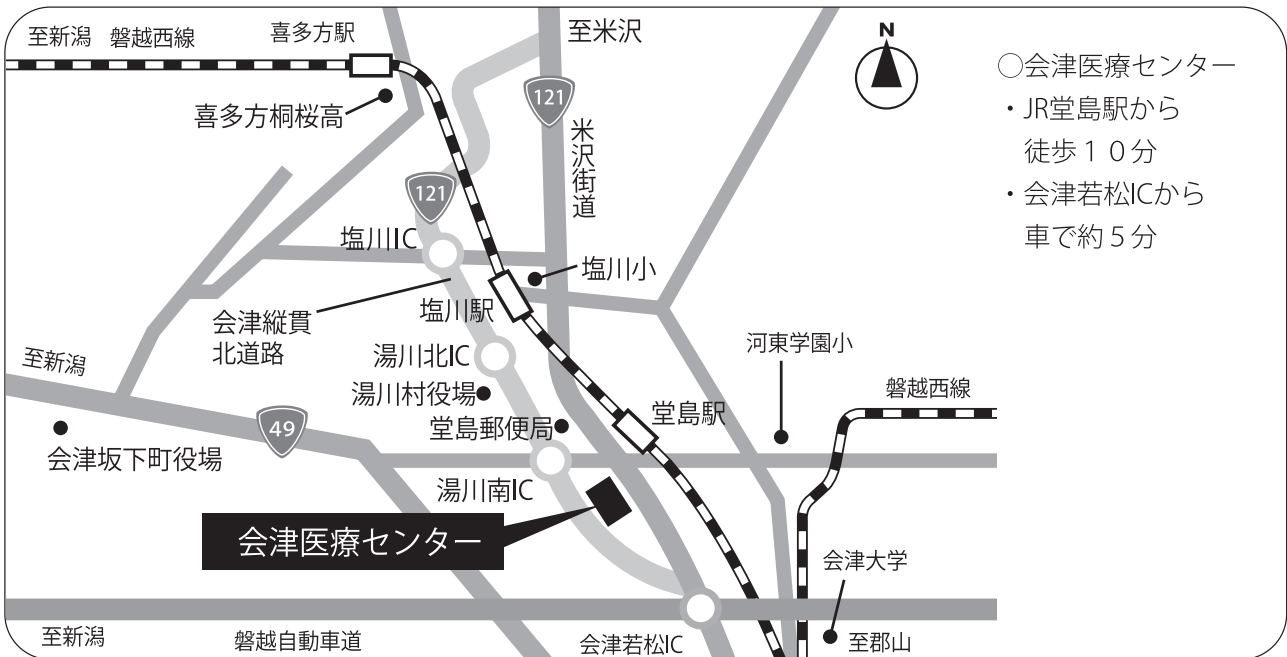
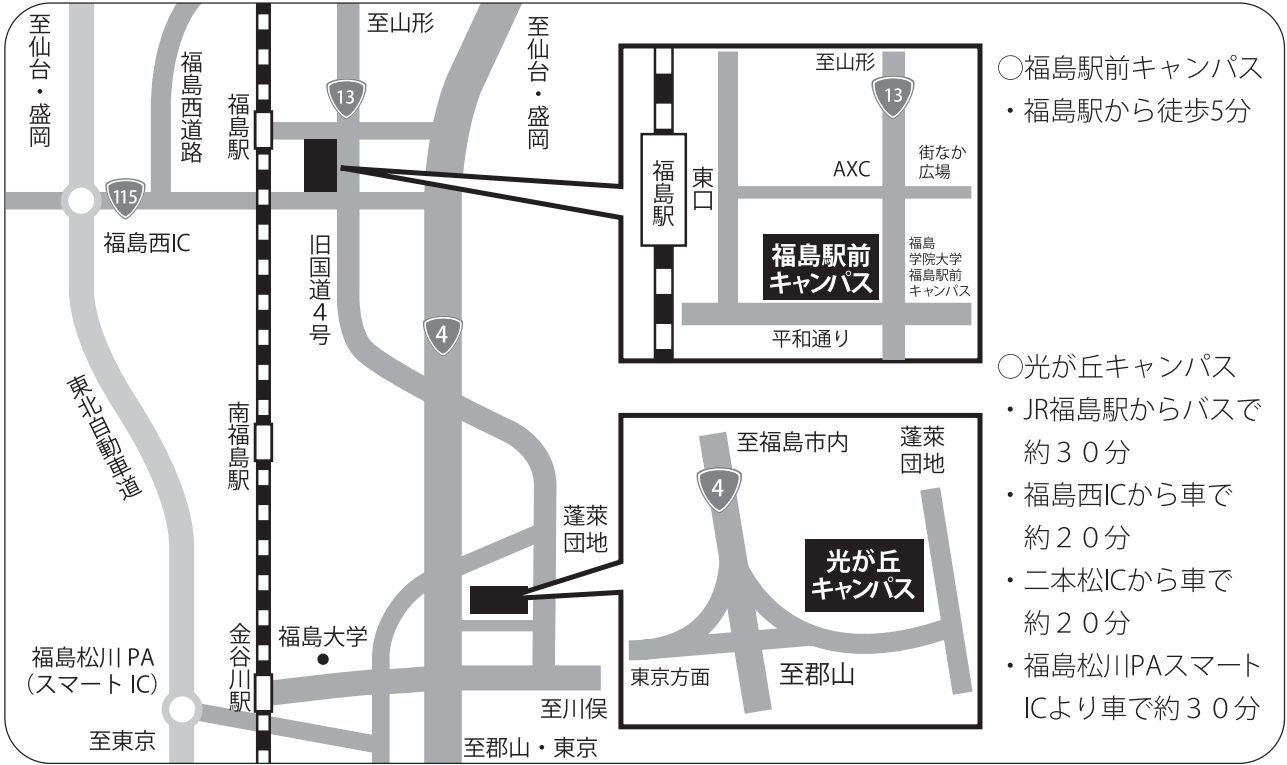
ふくしまのちと未来のメディカルセンター棟 (みらい棟)	
7	ふくしま国際医療科学センター、放射線医学県民健康管理センター、健康調査課、健康増進センター
6	放射線医学県民健康管理センター、健康調査課
5	こども医療センター (P I C U)
4	4階西病棟、R I 治療病棟、4階東病棟 (女性病棟)
3	総合周産期母子医療センター (N I C U、G C U、M F I C U、3階東病棟)
2	外来 (小児科・小児腫瘍内科・小児外科・産科・婦人科・腫瘍内科)、生殖医療センター、甲状腺・内分泌診療センター、外来化学療法センター、臨床研究センター、臨床腫瘍センター、がん相談支援センター、放射線医学県民健康管理センター甲状腺検査部門
1	災害医療・高度救命救急センター、守衛室

先端臨床研究センター棟	
3	先端臨床研究センター長室、大会議室、事務室
2	先端臨床研究センター研究室、会議室、医療研究推進センター長室、医療研究推進課、治験モニタリング室、C R O室、試験薬剤管理室
1	P E T検査室、R I管理室、相談室、カンファレンス室
B1	サイクロترون室、ホットラボ室

(6) 会津医療センター

会津医療センター	
緩和ケア病棟 緩和ケアセンター	6
5階南病棟 5階北病棟 (特殊感染症病棟・結核病棟)	5
4階南病棟 4階北病棟	4
3階南病棟 研究室、教授室、教員室、研修医室、図書室、実験室、セミナールーム、講義室	3
リハビリテーションセンター、透析センター、手術室、医療安全対策室、感染対策室、臨床工学センター、管理部門、研修教育センター、病理、中央材料、手術部、会議室、教員室、BSL室、食堂、託児所	2
外来 (総合内科、漢方内科、漢方外科、循環器内科、血液内科、消化器内科、糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科、感染症・呼吸器内科、神経内科、心身医療科、外科、呼吸器外科、小腸・大腸内科、大腸肛門外科、整形外科・脊椎外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、リハビリテーション科、緩和ケア科、心臓血管外科) 総合案内、総合受付、会計、入院受付、患者支援センター、外来プロトック受付 (A・B・C・D)、血液疾患治療センター、漢方医学センター、脊椎・脊髄先進医療センター、外来化学療法室、看護専門外来、臨床検査部、放射線部、薬剤部、内視鏡室、最先端内視鏡診断・治療センター、感染症専門外来、救急外来、栄養指導室、医療情報ラウンジ、売店、カフェ、ATM	1

# 11 位置図





---

## 令和4年 福島県立医科大学要覧

編集 公立大学法人福島県立医科大学  
事務局企画財務課

郵便番号 960-1295  
福島市光が丘1番地  
電話 (024) 547-1111(代)  
FAX (024) 547-1991

---

